取扱説明書

ビクター地上・BS・110度CS デジタル
ハイビジョンプロジェクションテレビ

型名 **HD-70MH700**
HD-61MH700
HD-56MH700

BIG SCREEN EXE
Powered by D-ILA

お買い上げありがとうございます

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(10〜15ページ)は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

ユーザー登録およびアンケートのお願い

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますとサポート情報のご提供と、ビクターの製品情報や、イベント情報等のメールマガジンご購読等のサービスをご利用できます。

また、今後のよりよい製品の開発に反映させるために、アンケートにもご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www.victor.co.jp/reg/tv/

LCT1947-001A

デジタルテレビを楽しもう

高精細なフルハイビジョン映像を、圧倒的な美しさで迫力ある大画面に再現します。

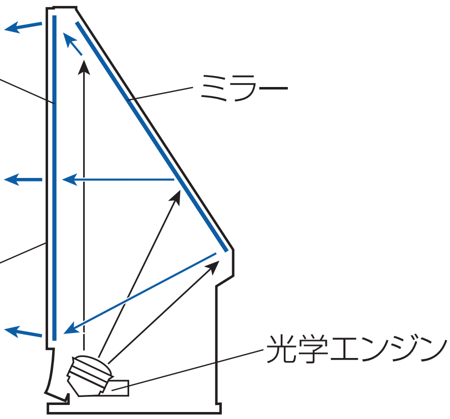
60インチを超える大迫力の映像世界は、テレビを見るというよりその場で体験するという印象を受けるはずです。画面に引き込まれそうになる、その圧倒的な臨場感。

映画やスポーツ、音楽ライブなどを、リビングでご家族みなさんでお楽しみください。

デジタルテレビEXE「エグゼ」では、デジタル放送の魅力を十分に楽しんでいただけます。EXE「エグゼ」が誇る、「感動（Emotional）」の高画質と「心躍る（Exciting）高画質」との「融合（X）」、そして充実の搭載機能でお楽しみください。

プロジェクションテレビの仕組み

光学エンジンから投写される映像を拡大してミラーに反射させ、スクリーンに映し出すシンプルな構造。56V型以上の大画面テレビでもより身近に、従来のブラウン管テレビよりも薄型にすることができました。



D-ILA方式の特長

ビクターが独自に開発したD-ILA方式。リビングで見ても画面のすみずみまで明るく、まるで映画館で見るような滑らかで美しく、奥行感のある映像が楽しめます。

大切なこと　はじめに
- もくじ
- 安全上のご注意

テレビを見るために　準備
- アンテナをつなぐ
- かんたん設置設定

使ってみよう　見る
- テレビを見る
- 使う人にやさしい機能
- 外部入力を見る
- ラジオ放送やデータ放送を楽しむ

番組を探そう、予約しよう　番組表・予約
- 番組表で見たい番組を探す
- ホームメニューを使って番組を検索する
- 録画予約する

かんたん操作で便利な機能　便利な機能
- 画質や音質を変える
- 画面サイズ選択、2画面
- メモリーカードで写真や動画を見る

使いこなす　設定
- お好みの映像や音声に調節
- 画面や使い方にあわせて設定
- 初期設定を変更する

他の機器をつなごう　接続
- 録画機器との接続
- オーディオ機器との接続
- その他の機器との接続

困ったとき　困ったとき
- 故障かな？と思ったら
- こんなメッセージが表示されたら

付録　付録
- ランプの交換
- チャンネル表、保証とアフターサービス
- 各部のなまえ
- 用語解説、索引

耳にやさしい･うれしい「きき楽」機能

TV きき楽（らく）　ビクター聴取補助システム

はっきりトーク（☞30ページ）

声が聞き取りやすいから、音量は控えめに。音量が大きく感じるCMも自然に聞こえる。

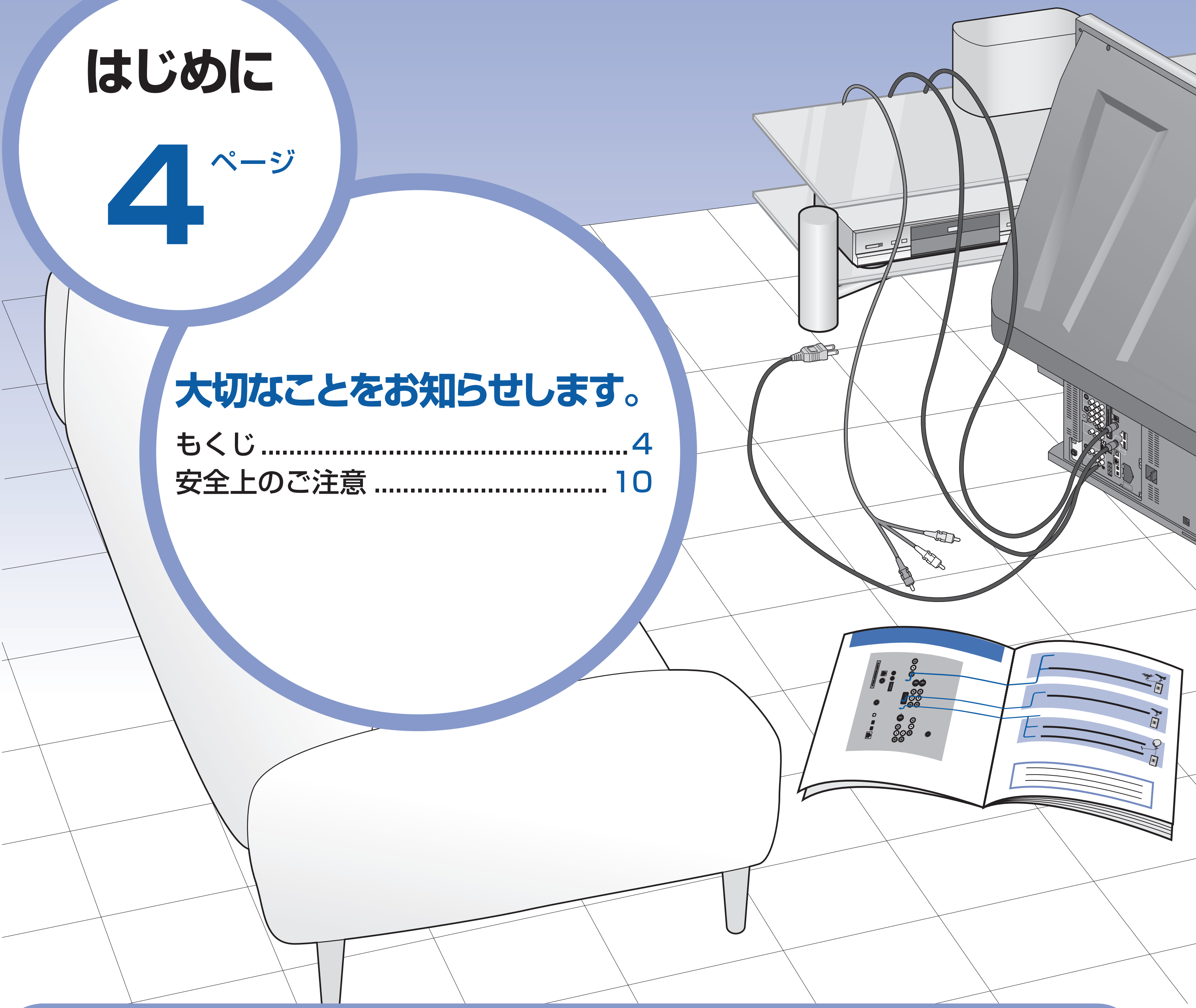
人の声に合わせて音量を調節する必要がなく、CMに変わったときに大きく感じる音量も自然に聞こえます。

ゆっくりトーク（☞30ページ）

ニュースやドラマの会話も、ゆっくり聞き取りやすいから、うれしい。

言葉の速度を調節して、会話を聞きやすくします。自然でゆっくりと聞こえる感覚が得られます。

もくじ



はじめに

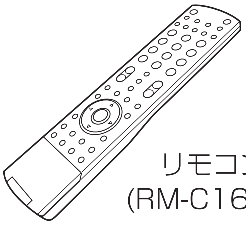
4ページ

大切なことをお知らせします。

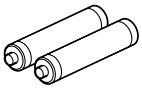
もくじ..4
安全上のご注意.................................10

付属品

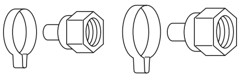
不足しているものがありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店またはビクターサービス窓口までご連絡ください。（☞103、104ページ）



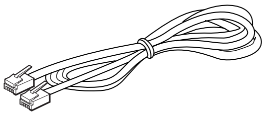
リモコン
(RM-C1670)



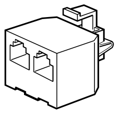
単3形乾電池
(動作確認用)



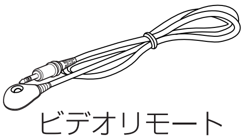
地上アナログアンテナ用
F型接栓
（4Cタイプ/5Cタイプ）



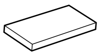
電話線
(モジュラーコード:約10m)



モジュラー分配
コネクター



ビデオリモート
コントローラー
(Irシステム)
(約2m)



両面テープ
(ビデオリモート
コントローラー固定用)

B-CASカード、
局名シール、
取扱説明書、保証書、
その他の印刷物

準備

16ページ

テレビを見る準備をします。

準備をする 16
- アンテナをつなぐ 16
- 電話線をつなぐ 18
- B-CASカードを入れる 19
- 電源を入れる 19

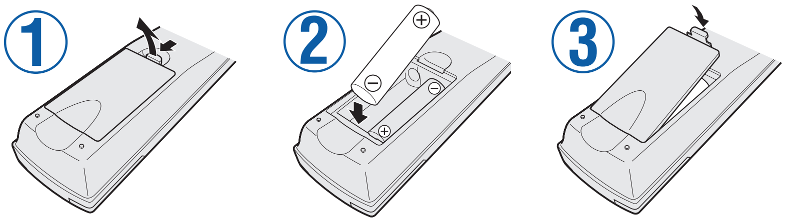
お買い上げ時の初期設定をする 20

個別に受信設定をする 24
- 地上アナログ放送のとき 24
- 地上デジタル放送のとき 26

電池の入れかた

ショートを防ぐため、必ず電池の⊖（マイナス）側を先に入れてください。

① ② ③



- 電池に表示されている注意事項をお読みください。
- 電池は普通の使いかたで、約6か月から1年使えます。
  付属の電池は動作確認用です。

この取扱説明書について

- 主にリモコンのボタンを使って説明しています。
- イラストや画面表示は説明上、強調や省略をされていることがありますので、実際とは多少異なります。
- イラストは主にHD-70MH700のものを使用しています。
- Tナビの操作については、別冊の「Tナビ編」をご覧ください。

リモコンを使うときは

- リモコン受光部（スクリーンの中心付近）やリモコンの発信部に明るい光があたっていたり、途中に障害物があると動作しません。
- ゆっくりと確実に操作してください。

見る

28ページ

テレビ放送やつないだ機器の映像を楽しみます。

テレビを見る **28**
1 電源を入れる、切る 28
2 見たい放送に切り換える 28
3 チャンネルを選ぶ 28
音量を調節する 29
オフタイマー 29
「はっきりトーク」で聞く 30
「ゆっくりトーク」で聞く 30
番組の内容を確認する 31
番組情報を表示する 31
よく見るチャンネルから番組を選ぶ 31
デジタル放送のチャンネルを選ぶ **32**
3ケタのチャンネル番号で選ぶ 32
選局ガイドで選ぶ 33
つないだ機器の映像を見る **34**
入力を切り換える 34
外部入力名を表示する 34
ラジオ放送やデータ放送を楽しむ **35**
ラジオ放送や独立データ放送に切り換える 35
番組に連動したデータ放送を見る 35

番組表・予約

36ページ

番組を探したり予約するには番組表が便利です。

番組表で見たい番組を探す 36

見たい番組を予約する 38

番組を検索する 40

録画予約する（ビデオリモートコントローラー）... 42

録画予約する（i.LINK） 44

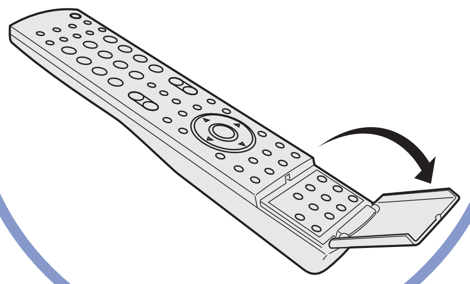
プログラム予約する 46

予約を取り消す/変更する 48

予約についてのご注意 48

予約の詳細設定をする 50

ふたの開けかた

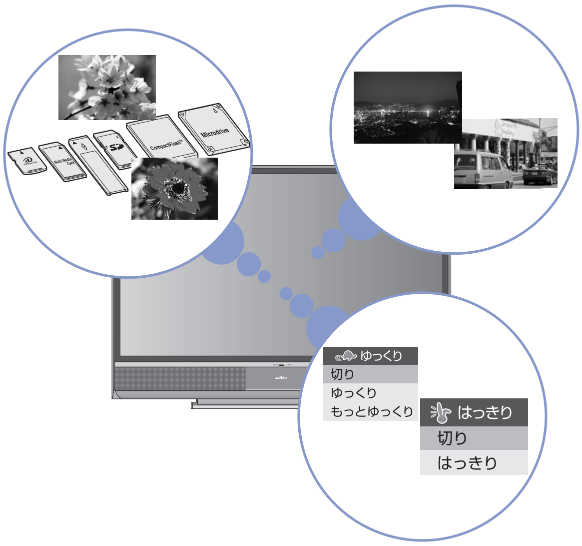


もくじ（つづき）

便利な機能

52ページ

いろいろな機能が楽しめます。



便利な機能を使う 52
画質を選ぶ..52
字幕を表示する..52
信号を切り換える.......................................52
音の効果を選ぶ... 53
臨場感のある音声にする........................... 53
音声を切り換える...................................... 53
画面サイズを変える...................................54
2つの番組を同時に楽しむ...........................55
メモリーカードで写真や動画を見る（HD-70MH700のみ）..................... 56
メモリーカードを使う 56
メモリーカード画面の使いかた 58
ホームメニューで情報を確認する 60

設定

62ページ

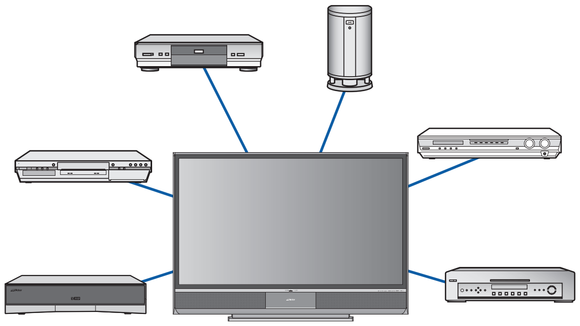
テレビの設定をおこないます。

メニューの設定 62
お好みの映像に調節する 62
お好みの音声に調節する·省エネ設定をする 64
使いかたにあわせて設定をする 66
初期設定を変更する 68

接続

72ページ

他の機器とつないでテレビをさらに楽しみます。



接続できる機器 72
録画機器をつなぐ（ビデオリモートコントローラー）.. 74
ビデオリモートコントローラーを設定する 75
録画機器をつなぐ（i.LINK）.................... 76
i.LINK機器を設定する 77
i.LINK機器と連係する 78
i.LINK機器を操作する 78
ビデオカメラやゲーム機、DVDプレーヤーをつなぐ ... 79
ビデオカメラやゲーム機をつなぐ........... 79
DVDプレーヤーをつなぐ.................... 79
HDMI機器をつなぐ 80
HDMI機器からの入力を設定する 81
オーディオ機器をつなぐ 82
ホームシアターシステムを組む 82
センターチャンネル入力を設定する 83
光デジタル音声の出力信号を設定する.......... 83
AVコンピュリンクでつなぐ 84
AVコンピュリンクを使えるようにする......... 84
パソコンをつなぐ 85

困ったときは

86ページ

トラブルが起きたときは、まずこちらをご覧ください。

?

故障かな？と思ったら 86
操作 87
受信 88
画面、映像、音声 89
その他 90
こんなメッセージが出たら 91

付録

ランプを交換する 92
地域チャンネル表 95
地上デジタルチャンネル表 98
放送局コード（GCN）一覧表 100
Gガイド地域一覧表 101
アイコン一覧 102
保証とアフターサービス 103
サービス窓口案内 104
主な仕様 105
各部のなまえ 106
著作権とご注意 108
用語解説 109
索引 110

安全上のご注意 （必ずお守りください）

ご使用になる方や他の人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

⚠ **警告** 「人が死亡、または重傷を負うことが想定される」内容	⚠ **注意** 「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容

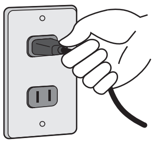
絵表示の説明

注意、警告が必要なこと	禁止されていること	実行して欲しいこと
一般的注意　感電注意　ケガに注意　高温注意　手をはさまれないように注意	禁止　分解禁止　ぬれ手禁止　水場での使用禁止	プラグをコンセントから抜く

⚠ 警告 設置・使用

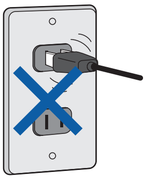
電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む

一般的注意



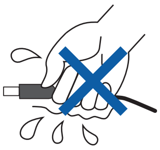
電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない

禁止



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止



電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない

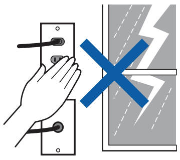
禁止

電源プラグはコードの部分を持って抜かない

禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電注意



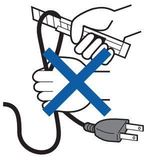
表示された電源電圧(交流100V)以外で使用しない

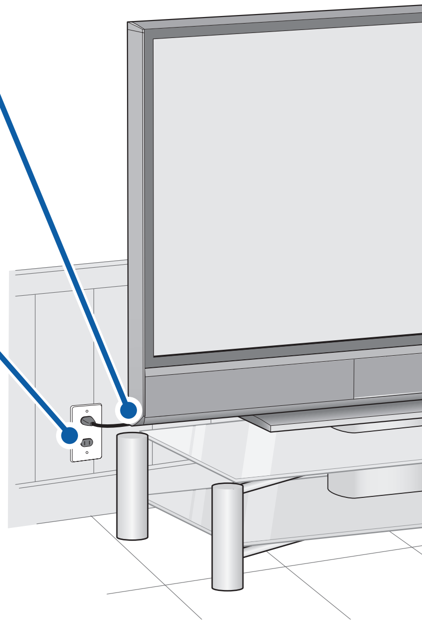
禁止

電源コードを傷つけない

禁止

- 電源コードを加工しない
- 無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしない
- 電源コードの上に機器本体や重い物をのせない
- 電源コードを熱器具に近づけない





万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする。
- 画面が映らない、音が出ない。
- 内部に水や物が入ったとき。
- 落下などにより破損したとき。
- 電源コードが傷んだとき。

→ **電源スイッチを切る。電源プラグをコンセントから抜く。**

→ そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。販売店に修理を依頼してください。

この機器の裏ぶた、カバー、キャビネットは外したり改造しない

分解禁止

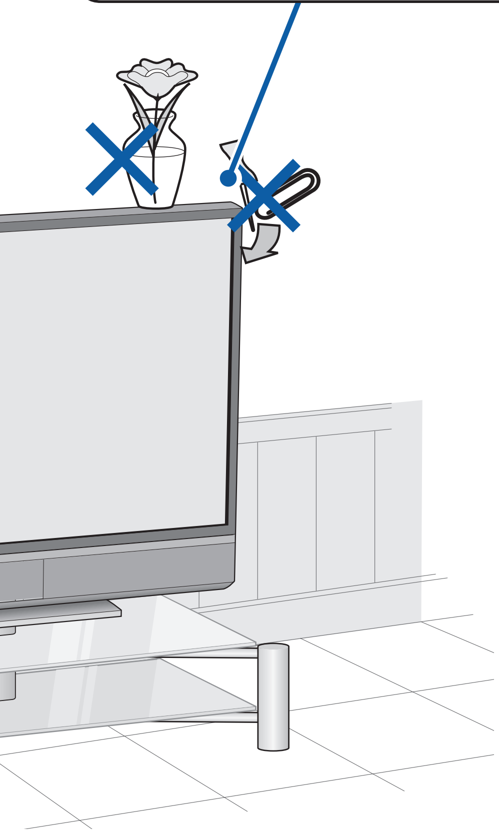
この機器の上に水の入ったものを置かない

禁止

内部に物を入れない

禁止

感電を起こすことがあります。特にお子様には十分注意してください。



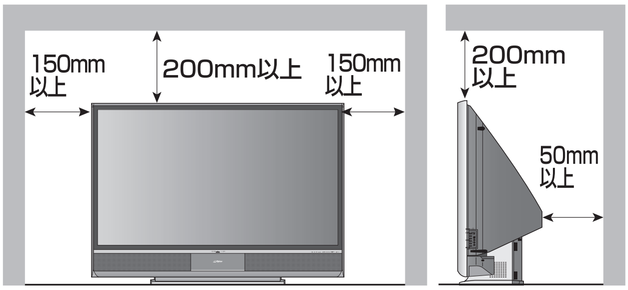
不安定な場所に置かない

禁止

壁や他の機器と間隔をあけて設置する

一般的注意　高温注意

放熱をよくするため、周囲との間に下図の空間距離を保つようにしてください。
本機は若干熱を帯びる構造になっています。過熱防止のため下図の空間距離を保つとともに、取り扱いには十分気をつけてください。



電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける

一般的注意

本機は、電源プラグの抜き差しで、主電源が入り/切りします。本機を設置するときは、できるだけコンセントの近くに設置してください。

風呂場などの水のある場所で使わない

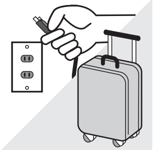
水場での使用禁止

安全上のご注意（つづき）

注意 設置・使用

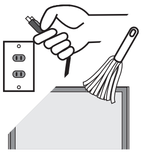
長時間使用しないときは、電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く



お手入れをするときは電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く



移動するときは電源プラグや接続コード類を外す

プラグをコンセントから抜く

長時間、音が歪んだ状態で使わない

禁止

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

一般的注意

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

キャスター付きテレビ台に乗せるときは、キャスターを固定する

一般的注意

キャスターにストッパー機能があるときは、必ずストッパーをロックしてください。

この機器の上に重い物を置かない

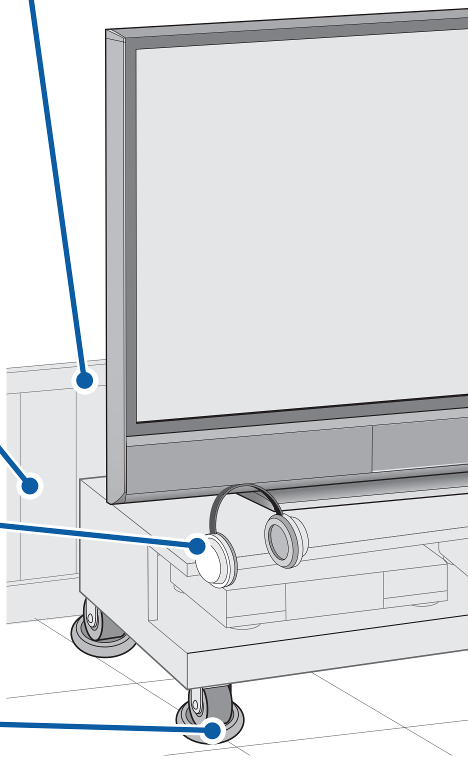
禁止

この機器の上に乗らない、ぶら下がらない

禁止

電源コード、接続ケーブルは引っかからないように本体後面で束ね、壁、床などのすみに配置する

一般的注意



この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない

禁止

取り外したカバー、キャップ、ネジなどは、小さなお子様の手の届くところに置かない

禁止

万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

健康のため、1時間ごとに10分～15分の休憩をとり、目や手を休めてください

一般的注意

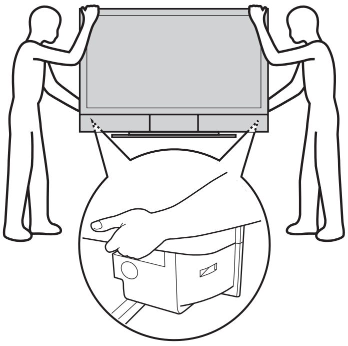
1年に1度は内部の点検を販売店に依頼する

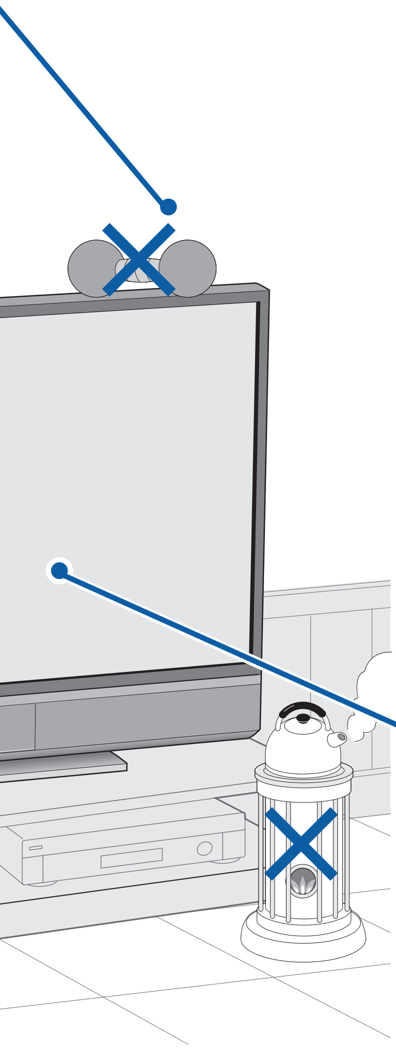
一般的注意

移動するときは正しい位置を持つ

一般的注意

- スクリーンに手を当てるとゆがんだり、傷がつきます。
- スピーカー部分に手をかけると、スピーカーパネルが外れます。
- 安全のため、持ち運びは2人以上でおこなってください。
- 運ぶときは衝撃を与えないでください。
- 運ぶときは、右図以外の持ちかたをしないようにしてください。

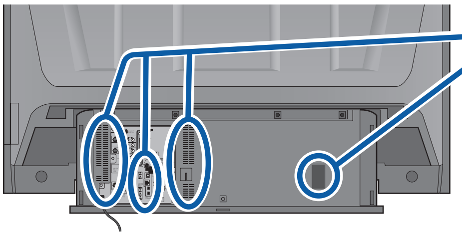




通風孔をふさがない

禁止　高温注意

- 本機はランプを冷却するためにファンで空気を取り込んでいます。通風孔の周辺はあたたかくなっています。
  通風孔をふさぐと内部の熱が排出されませんので、通風孔をふさいだり、紙、布、柔らかいクッションなどを通風孔の近くに置かないでください。



- 押し入れ、本箱などの上に置かない
- じゅうたんや布団などの上に置かない
- テーブルクロスなどを掛けない
- 横倒し、逆さまにしない

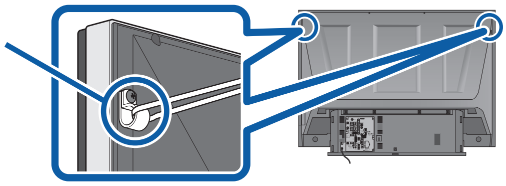
転倒防止の処置をする

一般的注意

地震などでテレビが倒れて、けがの原因となることがあります。スタンドや床、壁などの間に適切な転倒防止の処置をしてください。

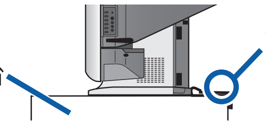
壁または柱などに固定するとき

本体後面のフックに、市販の丈夫なひもなどを結び、壁面や柱など堅牢部に固定してください。



テレビ台に固定するとき

市販のテレビ台に設置するときは、本体スタンドに市販の固定用バンドを通し、固定してください。



※説明図は実際の外観と異なる事があります。

次のような場所に置かない

禁止

- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるところ
- 熱器具の近くなど
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ

安全上のご注意（つづき）

⚠警告 ランプの交換

テレビを使用した直後はランプを交換しない

禁止
高温注意

ランプを交換するときは、必ず1時間以上冷却してください。使用直後はランプが高温になっており、やけどの原因になります。

ランプを落としたり、衝撃を与えない

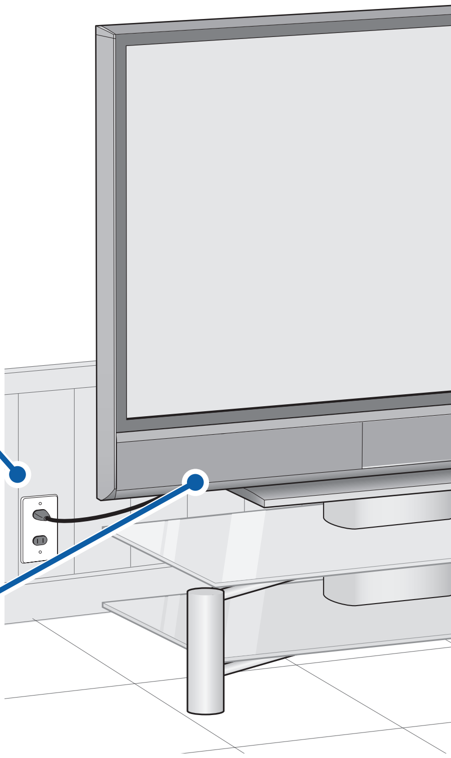
禁止

ランプのガラス面には衝撃を与えないでください。割れたり、けがの原因になります。

ランプを交換するときは、電源コードをコンセントから抜く

プラグをコンセントから抜く

ランプを交換するときは、電源を切り、ランプの冷却が終わってから電源コードをコンセントから抜いてください。
電源コードを差し込んだまま作業すると、けがや感電の原因になります。



⚠注意 ランプの交換

ランプのガラス面には、絶対に素手でさわったり汚したりしない

禁止

ランプのガラス面や金属部分（取っ手やネジを除く）には絶対に素手でさわらないでください。手の汚れがついてランプの寿命が短くなったり、性能が著しく低下したり、ランプが破損して故障の原因となる事があります。

末永くご愛用いただくために

連続して長時間見ない

一般的注意

テレビを24時間以上連続でつけたままにしないでください。ランプの寿命を短くする可能性があります。ランプの寿命は、テレビをご使用になる場所の気温や気圧によって変わります。

電源を「切」にしてすぐに電源を「入」にしない

一般的注意

電源を「切」にして、すぐに「入」にする動作を繰り返すと、ランプの寿命をちぢめる可能性があります。

電源を切らずに電源プラグを抜かない

禁止

プロジェクションテレビは、ランプを使って映像を表示しています。ランプは使用中高温になるためファンを使って冷却しています。電源を切った後も暫くファンが回りランプを冷却します。

電源を切らずに電源プラグを抜くとランプが冷却できません。故障の原因になりますので、必ず電源ボタンを押して電源を切り、ランプを冷ましてから電源プラグを抜いてください。

お手入れのしかた

- スクリーンのよごれは
  スクリーンには静電気防止処理およびコーティング処理がされています。次のことに注意してください。
  - 画面にのりやテープなどを貼らない
  - 画面にペンなどで書き込みをしない
  - 画面を硬いものにぶつけない
  - 画面を結露させない
  - 画面をアルコールなどの溶剤などでふかない
  - 画面を強くこすらない

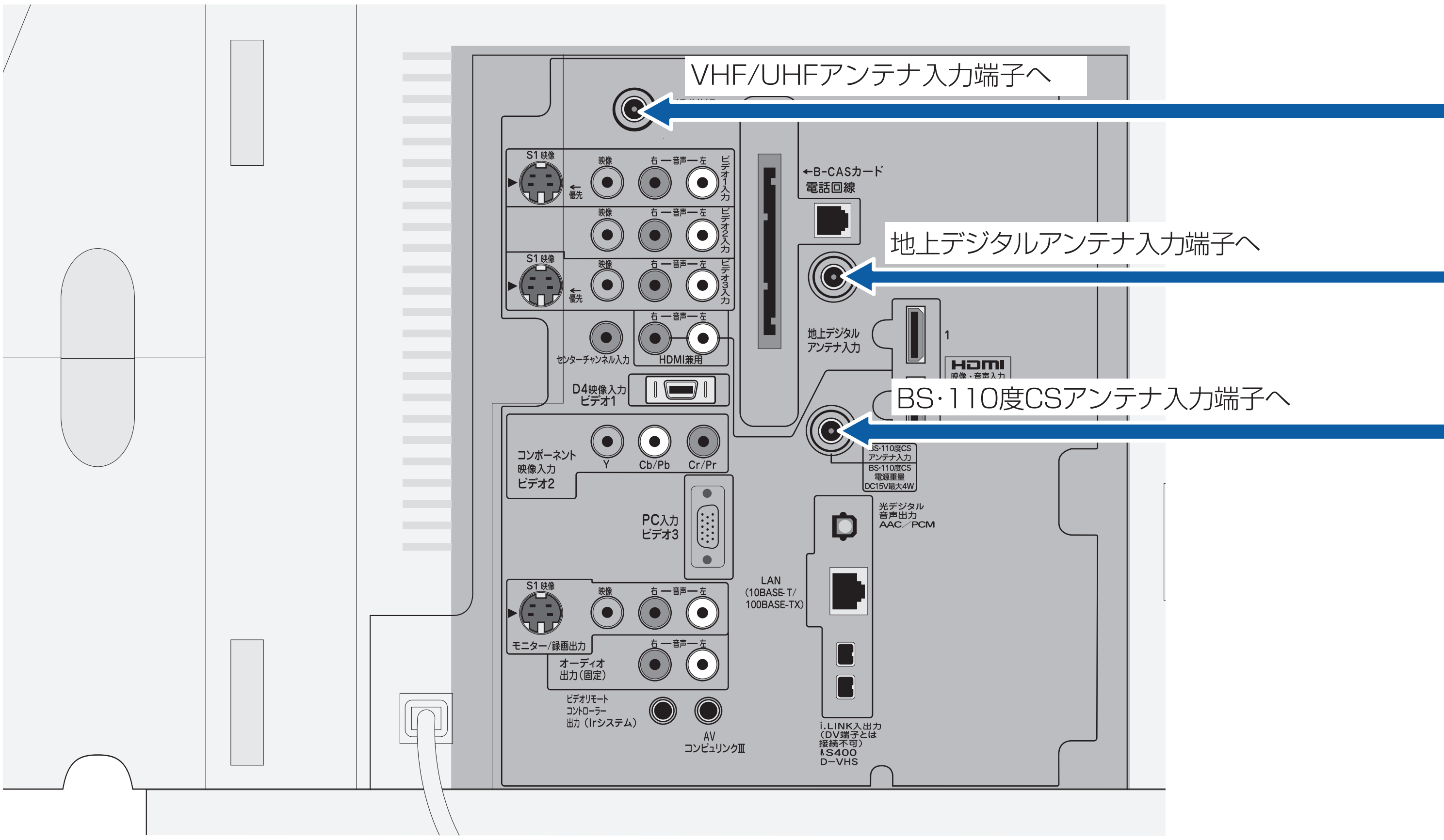
  画面の汚れを取り除く場合には、柔らかい布を使ってからぶき・かたく絞った水ぶき・薄めた中性洗剤でかたく絞った水ぶきを行ってください。アルカリ洗剤、酸性洗剤は使わないでください。

  スクリーンは傷つきやすいので取り扱いに気をつけてください。かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。
- キャビネットのよごれは
  柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。
  キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。
  - シンナーやベンジンでふかない
  - 殺虫剤など揮発性のものをかけない
  - ゴムやビニール製品など長時間接触させたままにしない
  - かたい布でふかない
  - 強くふかない
- 通気孔に付着したほこりは
  本体後面に付着したほこりは、掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときには、布で拭き取ってください。通気孔にほこりが付着したまま放置すると、内部の温度が調節できなくなり、故障の原因となることがあります。

準備をする

アンテナをつなぐ

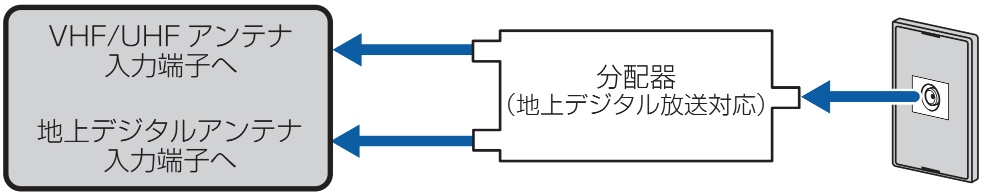
アンテナの設置・接続は、できるだけお買い上げの販売店にご依頼ください。放送の形態によって受信に必要なアンテナは異なります。アンテナをつなぐ前に、お使いのアンテナを確認してください。



集合アンテナで放送が混合されているときは

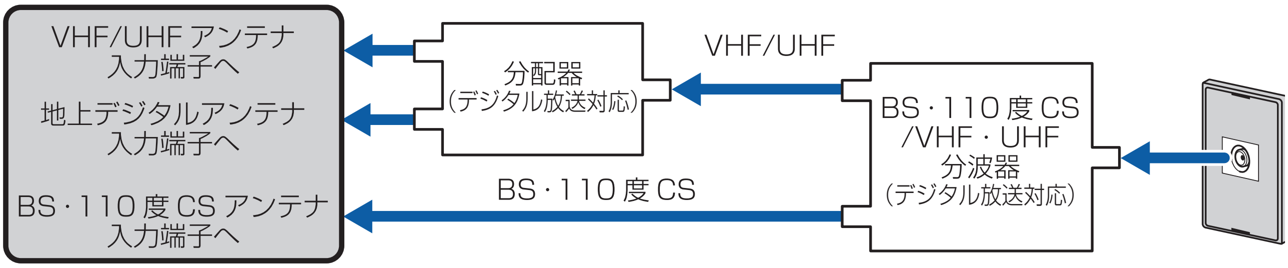
● 地上アナログ放送 (VHF と UHF) と地上デジタル放送のアンテナが混合されているとき

本体後面

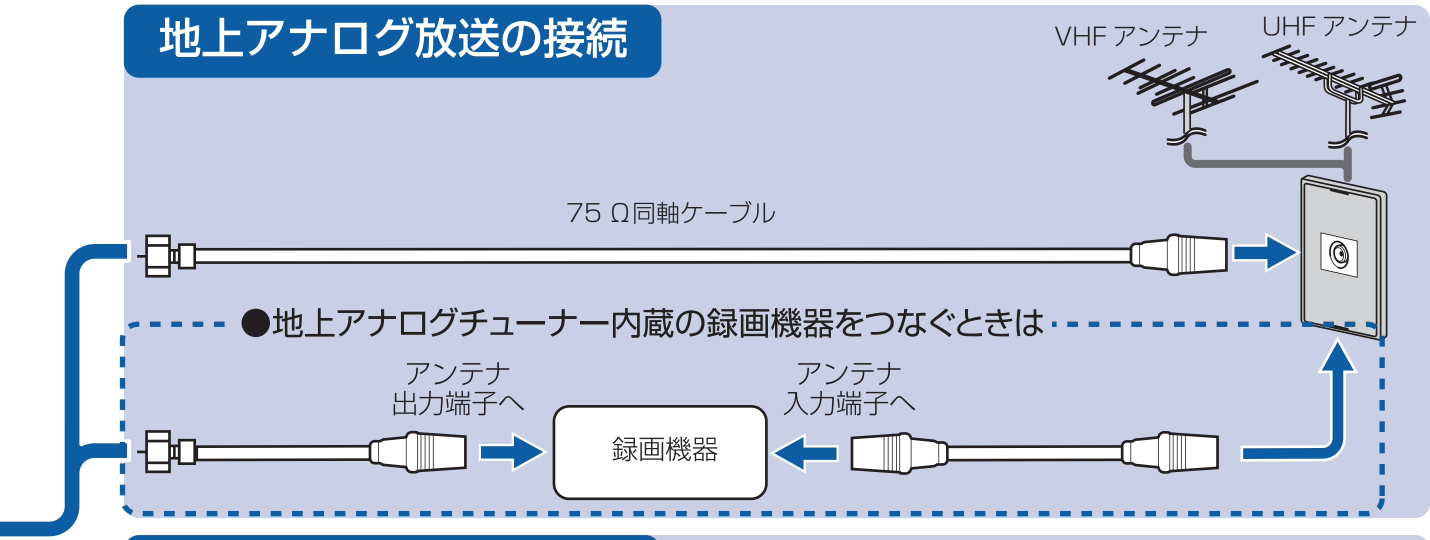


● すべての放送のアンテナが混合されているとき

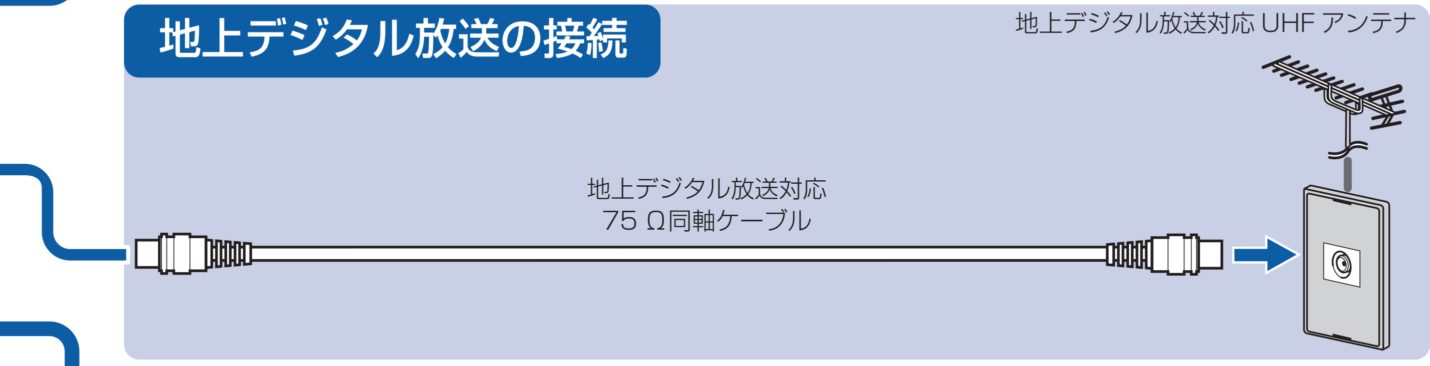
本体後面



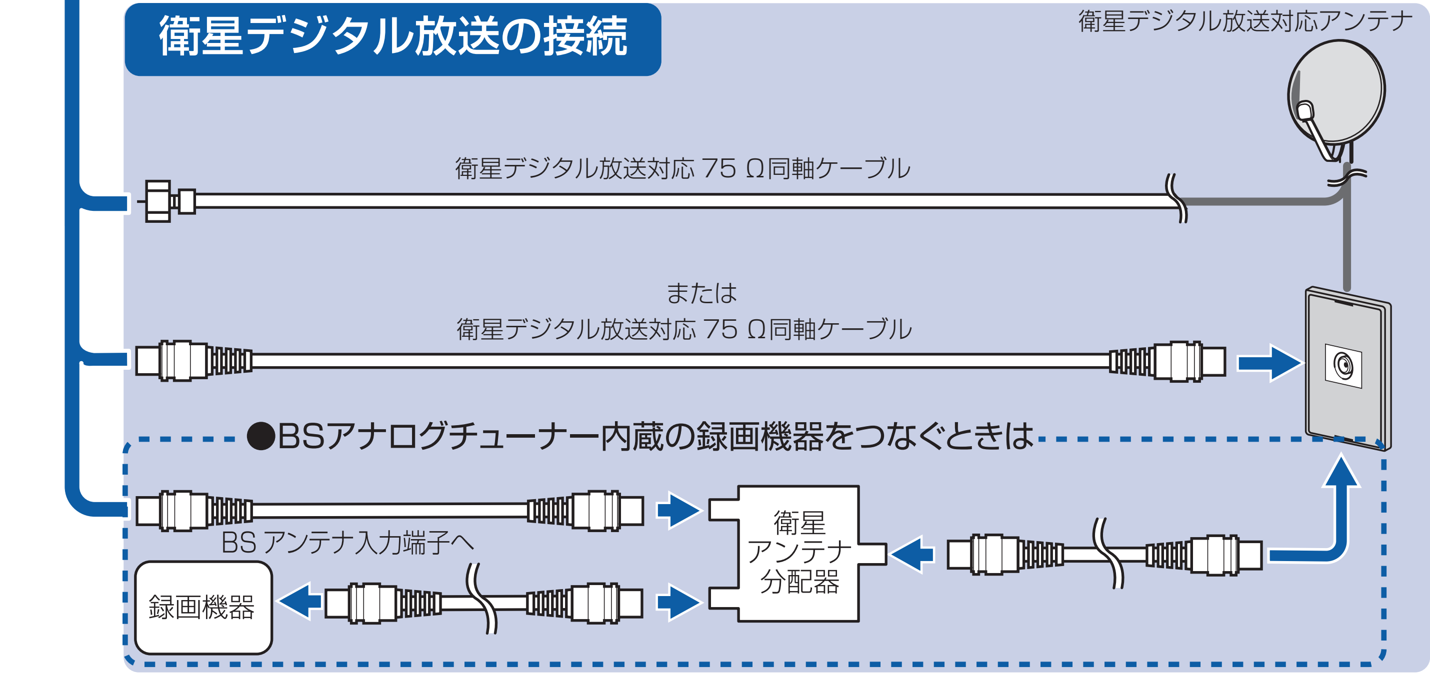
地上アナログ放送の接続



地上デジタル放送の接続



衛星デジタル放送の接続

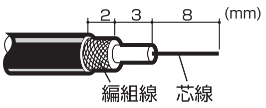


F型接栓(付属)のつなぎかた(地上アナログアンテナ用)

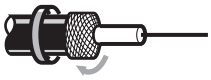
2種類のF型接栓(4C、5C)を付属しています。お使いのときはケーブルの太さに合わせたタイプをご使用ください。

- 平行フィーダー線は妨害を受けやすくなるので、使わないでください。
  またアンテナ線の接続には、付属のF型接栓をお使いください。
- ケーブルの先端を処理するときは、芯線に傷をつけないようにしてください。
- 芯線と編組線が接触しないようにしてください。

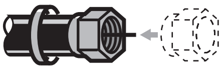
1 ケーブルを加工する



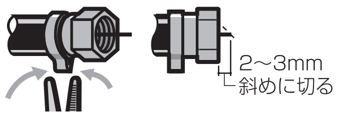
2 リングをとおす



3 コネクターを差し込む

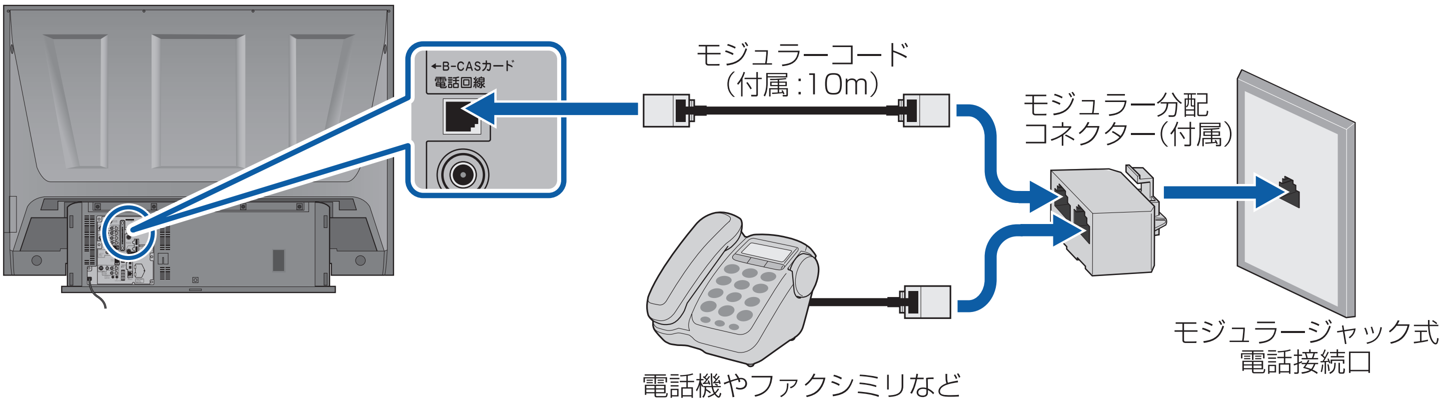


4 リングをペンチで締める



電話線をつなぐ

デジタル放送で、有料番組を購入したり(☞36ページ)、クイズやアンケートの回答、ショッピングの申し込みなどの双方向型の番組に参加するには、電話線を接続してください。

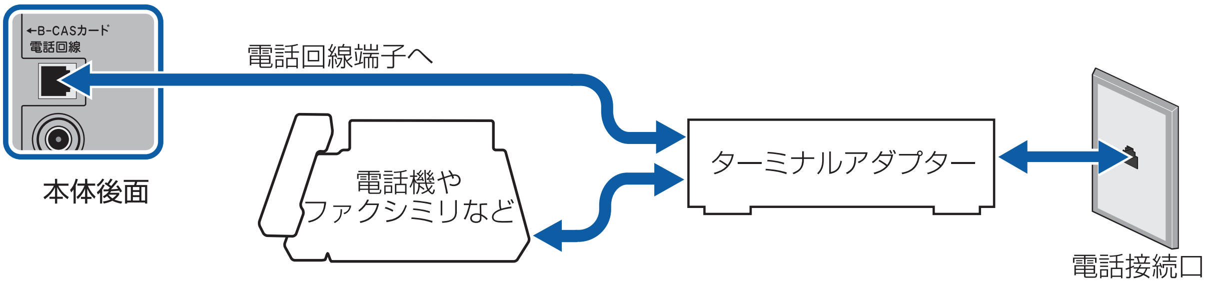


ご注意

- 電話接続口の形状が異なる場合は、お買い上げの販売店またはお近くの電話会社にご相談ください。
- 本機は、専用線、公衆電話、共同電話、携帯電話、PHS、自動車電話、船舶電話、地域集団電話、ホームテレホンには接続できません。また、構内交換機(PBX)には接続できないものがあります。
- 本機が通信中は、同じ電話接続口に接続されている電話機やファクシミリなどは使用できません。また、一部の電話器やファクシミリでは呼び出し音が鳴ることがあります。そのような場合は、電話機やファクシミリのメーカーにご相談ください。

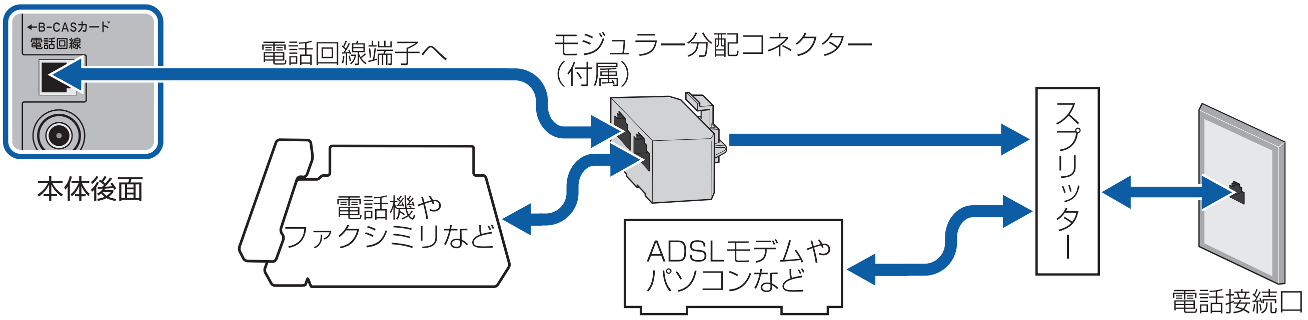
ISDN 回線をお使いのときは

ターミナルアダプター (市販品)が必要です。詳細についてはお買い上げの販売店またはお近くの電話会社にご相談ください。



ADSL 回線をお使いのときは

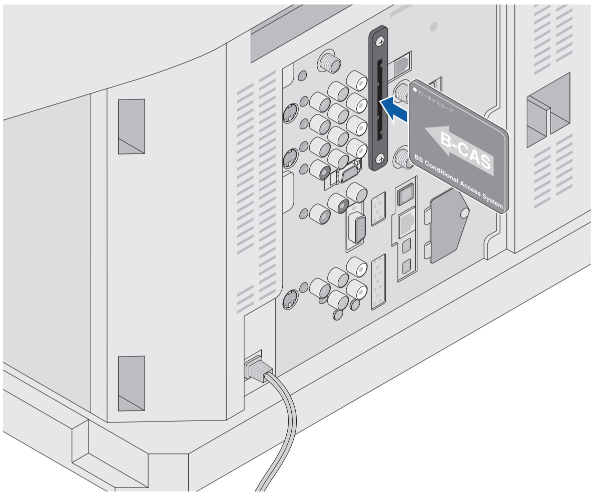
スプリッター (市販品)が必要です。詳細についてはお買い上げの販売店またはお近くの電話会社にご相談ください。



B-CASカードを入れる

デジタル放送を楽しむにはB-CASカードが必要です。B-CASカードが本機に挿入されていないと、デジタル放送を受信できません。B-CASカードを本機に挿入したままでご使用ください。

B-CASカードを台紙から外し、右図のように表(矢印の描かれた面)を本体後面に向けて、本体後面右側のB-CASカード挿入口に差し込みます。



ご注意

- B-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。また、分解加工は行わないでください。
- B-CASカードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- B-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
- B-CASカードのIC(集積回路)部分には手を触れないでください。
- 本機の電源が「入」のときに、B-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

電源を入れる

1. 電源プラグをコンセント(交流100V)に差し込む

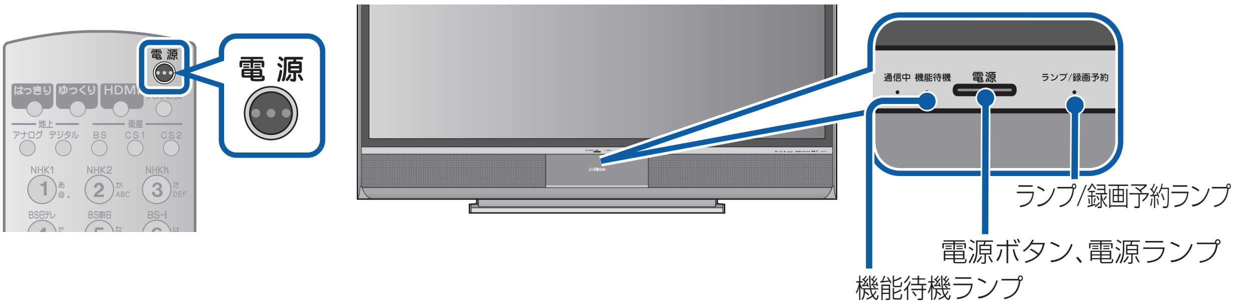
壁のコンセントに直接つないでください。電源を分配したり、周辺機器を経由してつながないでください。

- 電源を「切」にするときに、電源プラグを抜かないでください。
  電源を「切」にせずに電源プラグを抜くと、ランプの冷却ができず、ランプの交換時期を早めたり故障の原因になります。必ず電源ボタンを押して電源を切り、ランプを冷却してから電源プラグを抜いてください。

2. リモコン、または本体の電源ボタンを押す

電源が「入」になると、電源ランプが点灯し、ランプ/録画予約ランプが点滅します。しばらくすると映像が表示されて、ランプ/録画予約ランプが消えます。

- 電源ボタンを押してから映像が表示されるまで少し時間がかかります。
- 電源を「入」にすると、映像を映し出す準備をするため、約1分間電源を「切」にできません。
- お買い上げ後はじめて本機の電源を入れると、お買い上げ画面が表示され、「お買い上げ設定ウィザード」が始まります。20～23ページをご覧になって設定してください。



お買い上げ時の初期設定をする

お買い上げ後はじめて本機の電源を入れると、自動的に「お買い上げ設定ウィザード」が始まります。指示に従って設定してください。

次の準備はすんでいますか？

- アンテナは正しく接続されていますか？（16 ページ）
- B-CAS カードは挿入されていますか？（19 ページ）
- 電話線は正しく接続されていますか？（18 ページ）

ご注意

- 「お買い上げ設定ウィザード」は必ず最後まで行なってください。「お買い上げ設定ウィザード」を最後まで行なっていない場合、電源を入れるたびに「お買い上げ設定ウィザード」が始まります。
- CATV（ケーブルテレビ）を受信するには、使用する機器ごとにCATV各社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった有料放送の視聴や録画にはアダプターが必要です。詳しくはお住まいの地域のCATV各社にご相談ください。
- CATVやテレビの中継局から電波を受信している場合は、地上アナログ放送を「お買い上げ設定ウィザード」でうまく受信できません。「お買い上げ設定ウィザード」の終了後、手動で行なってください。（「個別に受信設定をする」☞24ページ）
- 「お買い上げ設定ウィザード」を終了していないと、番組を予約できないことがあります。

電源ボタン
お買い上げ設定ウィザードをはじめる

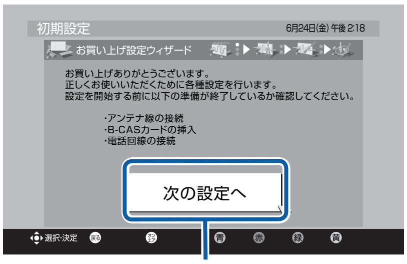
▲▼◀▶ボタン
決定ボタン

戻るボタン
前の画面に戻る

設定を始める

電 源 で電源を入れる

しばらくすると、以下の画面が表示されます。

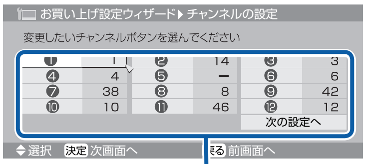


準備を確認し、決定 で次へ進む

地上アナログ放送を設定する

お住まいの地域を選びます

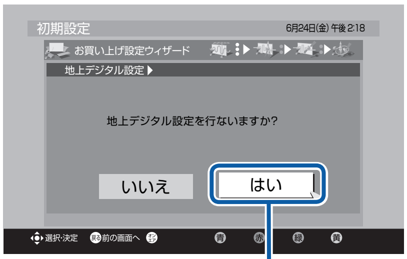
受信チャンネルを確認します



◀▶▲▼で受信状態を確認し、◀▶▲▼で「次の設定へ」を選んでから 決定 で終了する

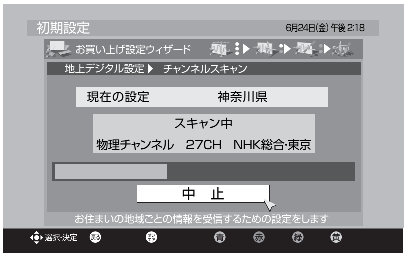
地上デジタル放送を設定する

地上デジタル設定をはじめる



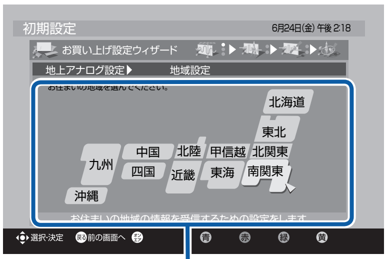
◀▶ で「はい」選び、決定 で決定する

受信できるチャンネルをスキャンします

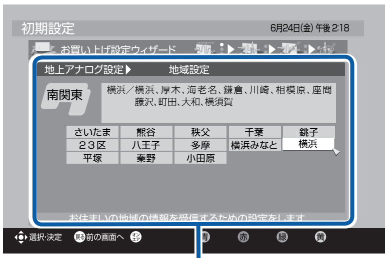


チャンネルスキャンが始まります。
終了までしばらくかかります。

次のページ 地上デジタル放送を設定する に続く

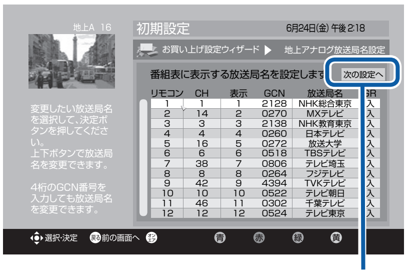


◀▶▲▼ で地方を選び、決定 で決定する



◀▶▲▼ で地域を選び、決定 で決定する

- お住まいの地域名がないときは、近い地域名を探して設定してください。
- 「1」と「2」がある地域の場合、「2」を選んで、地域設定を行なってください。「2」でうまく受信できないときは「1」を選んで、もう一度地域設定を行なってみてください。

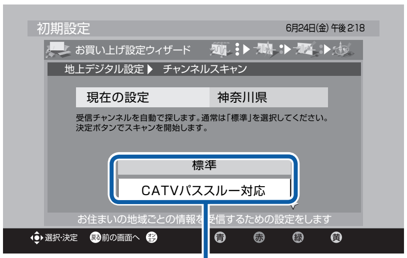


◀▶▲▼ で「次の設定へ」を選び、決定 で決定する

- 正しく受信できない場合は、「個別に受信設定をする」(☞24ページ)をご覧になり、手動でチャンネルを設定してください。
- 「放送局名」が正しく設定されていないと番組表に表示することができません。地域チャンネル表(☞95〜97ページ)で確認し、正しく設定してください(☞25ページ)。

- 「はい」を選ぶ
  地上デジタル放送の設定に進みます。
- 「いいえ」を選ぶ
  BS/CSデジタル放送の設定に進みます。お住まいの地域ではまだ地上デジタル放送が開局していない場合などはこちらを選びます。

  開局後にあらためて地上デジタル放送の受信設定を行うときは、「個別に受信設定をする」(☞24ページ)をご覧ください。

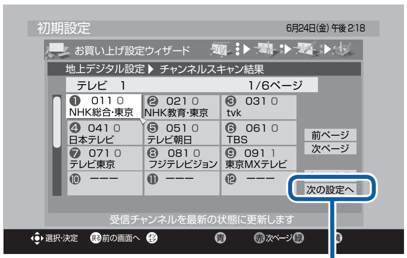


▲▼ で選び、決定 で決定する

標準	通常はこちらを選びます。
CATVパススルー対応	CATVによる地上デジタル放送の再送信サービスをご利用で、「標準」でチャンネルスキャンを行なっても受信できないときに選びます。

チャンネルスキャンがうまくいかないときは

- 地上デジタル放送用のUHFアンテナは正しく接続されているか、またアンテナの向きは正しいかどうか確認してください。地上デジタルアンテナの設置や接続についてご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- チャンネルスキャンを途中で止めるときは、「中止」を選び**決定**ボタンを押します。



▲▼ で「次の設定へ」を選び、決定 で終了する

受信情報を取得します。取得中は、画面にメッセージが表示されます。

お買い上げ時の初期設定をする（つづき）

チャンネル数字ボタン
数字を入力する
・0 を入力するときは
⑩ を押します。

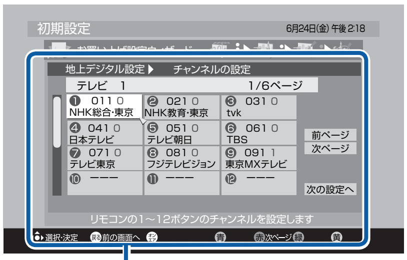
▲▼◀▶ボタン
決定ボタン

戻るボタン
前の画面に戻る

- チャンネル数字ボタンに登録されているチャンネルを変更したり、入れ替えたいときは、「お買い上げ設定ウィザード」の終了後、「個別に受信設定をする」（☞24ページ）をご覧ください。
- 引っ越しなどで「お買い上げ設定ウィザード」をやり直すときは、初期設定メニューで「簡単設定ウィザード」を選んでください。（☞69ページ）
- 地域や、アンテナ、電話の設定を変更するときは、初期設定メニューをお使いください。（☞68〜71ページ）
- CATVをご覧の場合や、チャンネルが映らなかった場合は、手動での受信設定が必要です。「個別に受信設定をする」（☞24ページ）をご覧ください。

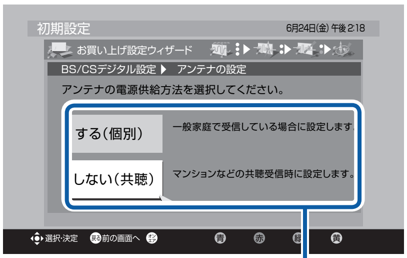
地上デジタル放送を設定する

受信チャンネル、受信レベルを確認します



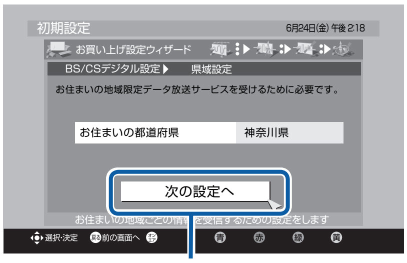
◀▶▲▼でチャンネルを選び、決定で決定する

衛星アンテナを設定する



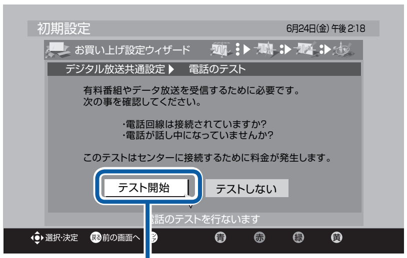
▲▼で設定を選び、決定で決定する

お住まいの都道府県を設定する



お住まいの都道府県を確認し、
▲▼で「次の設定へ」を選び、
決定で決定する

電話回線の接続をテストする

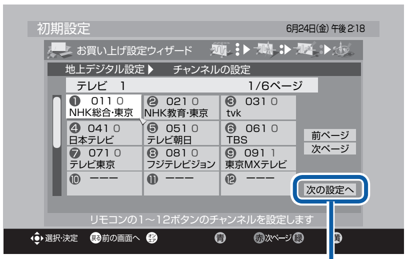


◀▶で「テスト開始」を選び、
決定で決定する

以上で「お買い上げ設定ウィザード」は終了です。

受信レベルを確認したあと、戻るで前の画面に戻り、他のチャンネルを確認する

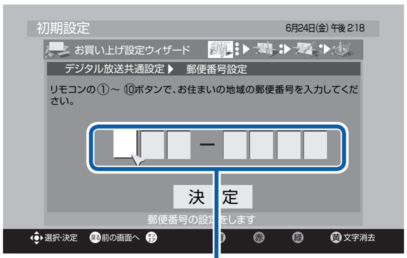
地上デジタル放送を手動で設定するときは、「個別に受信設定をする」(☞24ページ)をご覧ください。



◀▶▲▼で「次の設定へ」を選び、決定で決定する

する(個別)	**衛星アンテナに電源を供給します。** ご自宅で個別に衛星アンテナを設置している場合など、本機に直接衛星アンテナをつないでいるときに選びます。
しない(共聴)	**衛星アンテナに電源を供給しません。** マンションなどで共聴システムをお使いのときや、BSアナログチューナー内蔵の録画機器から電源を供給しているときに選びます。

- 伊豆、小笠原諸島のかたは、「東京都島部」を選んでください。
- 南西諸島鹿児島県のかたは、「鹿児島県島部」を選んでください。
- お住まいの都道府県と違うときは、「お住まいの都道府県」を選び、決定を押します。▲▼でお住まいの都道府県を選び、決定を押してください。



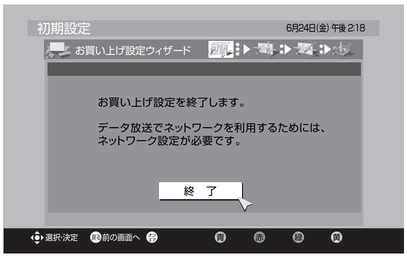
❶～❿で入力し、決定で決定する

- 数字を消すときは、**黄**ボタンを押します。

テスト開始	電話のテストを行ないます。
テストしない	電話のテストを行ないません。 デジタル放送を受信しないときは、電話のテストは不要です。

しばらくするとテスト結果が表示されます。

- **「電話のテストに成功しました」**
  電話テストは成功です。
- **「電話のテストに失敗しました」**
  電話テストは失敗です。
  「お買い上げ設定ウィザード」の終了後、手動で電話設定を行なってください。(☞70、71ページ)



決定で終了する

個別に受信設定をする

お買い上げ時の初期設定でチャンネルが受信できなかったときや、地上アナログ放送と地上デジタル放送の受信設定を変更するときは、こちらをご覧ください。

地上アナログ放送のとき

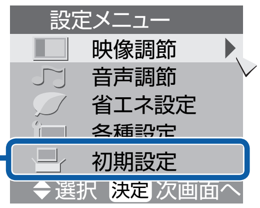
ご注意

CATVと地上アナログ放送の選局方法は共通の設定です。CATVの選局方法を変えると、地上アナログ放送も同じ選局方法になります。

設定のはじめかた

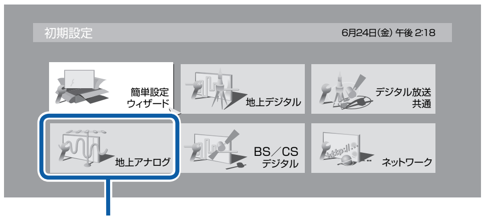
1 メニュー で設定メニューを表示する

2



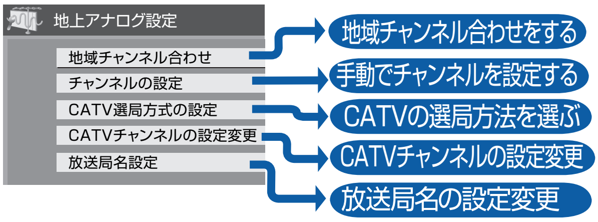
▲▼で「初期設定」を選び、決定で決定する

3



◀▶▲▼で「地上アナログ」を選び、決定 で決定する

4



▲▼で設定項目を選び、決定 で決定する

5 設定する（☞25ページ）

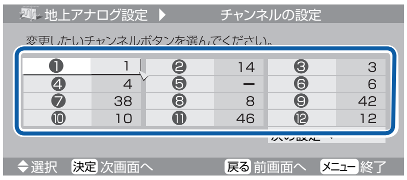
6 オンエア で終了する

地域チャンネル合わせをする

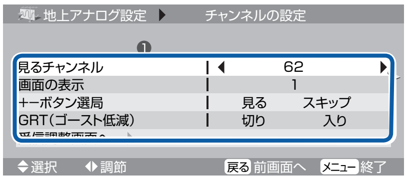
お住まいの地域で受信できる地上アナログ放送のチャンネルを、自動的に探し出して設定します。

「地上アナログ放送を設定する」(☞20ページ)と同様に操作し、メニュー で終了する

手動でチャンネルを設定する



◀▶▲▼で設定したいチャンネルボタンを選び、決定 を押す



▲▼で設定項目を選び、◀▶で設定する

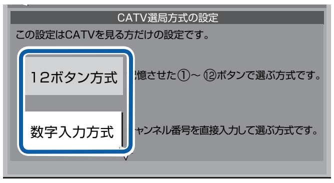
メニュー で終了する

つづけて設定するときは、設定したあと、**戻る**ボタンで前の画面に戻り、設定したいチャンネルを選びます。

項目名	内容	設定できる選択肢
見るチャンネル	1～12ボタンを押したときに受信するチャンネルを設定します。	1～62、C13～C38
画面の表示	選局時の画面表示の設定をします。	1～62、C13～C38
+−ボタン選局	空きチャンネルを**チャンネル+/−**ボタンで選べないようにする設定(チャンネルスキップ)をします。	見る ↔ スキップ
GRT(ゴースト低減)	「入り」に設定すると、ゴースト(画面が2重・3重になって映る現象)を低減します。	切り ↔ 入り
受像微調整画面へ	映像がもっともきれいになるように調整します。	

CATVの選局方法を選ぶ

CATVをご覧になる場合に設定します。チャンネル番号を直接入力して選局できます。



▲▼で「数字入力方式」を選び、決定 で決定する

メニュー で終了する

「数字入力方式」でチャンネルを選ぶには

例：
- VHFの1チャンネルを選局するときは0(10)、1と押す(または1を押して約3秒待つ)
- VHFの12チャンネルを選局するときは1、2と押す
- CATVの34チャンネルを選局するときは3、4と押す

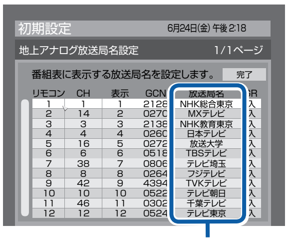
CATVチャンネルの設定変更

CATVの選局方式で「数字入力方式」を選んでいる場合に設定します。

上記の「手動でチャンネルを設定する」と同様に操作し、メニュー で終了する

放送局名の設定変更

番組表を表示するために、放送局名を設定します。



◀▶▲▼で設定するチャンネルを選び、決定 を押す

▲▼で選び、決定 を押す

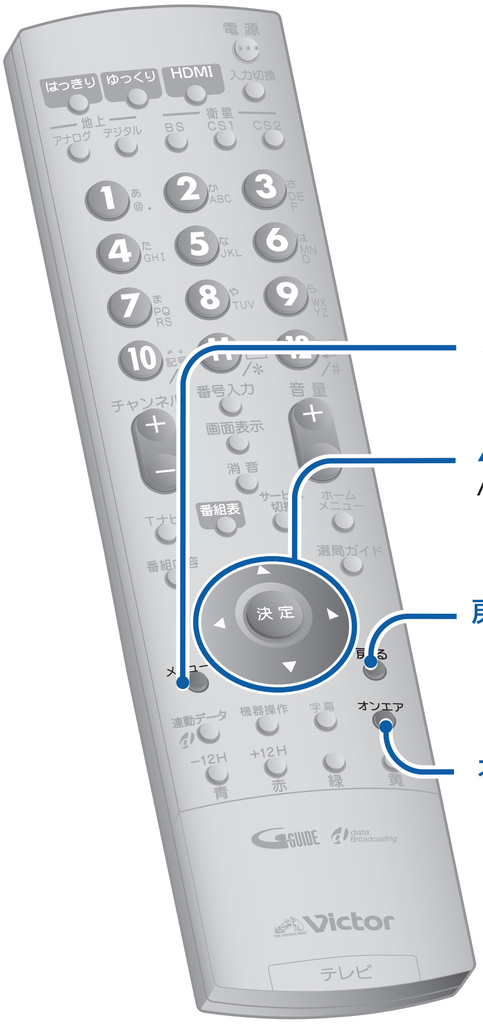
- 放送局コードで設定することもできます。

◀▶▲▼で設定したいチャンネルの「GCN」を選び、**決定**ボタンを押します。**1～10**ボタンでGCNを入力し、**決定**ボタンを押します。(「放送局コード(GCN)一覧表」☞100ページ)

◀▶▲▼で「完了」を選び、決定 で決定したあと、メニュー で終了する

個別に受信設定をする(つづき)

地上デジタル放送のとき



メニューボタン

▲▼◀▶ボタン
/決定ボタン

戻るボタン
前の画面に戻る

オンエアボタン
設定を終了する

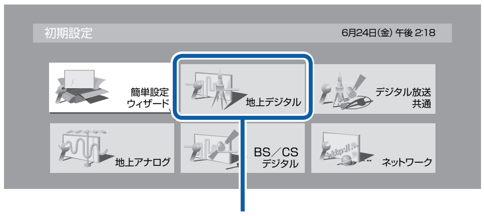
設定のはじめかた

1 メニュー で設定メニューを表示する

2

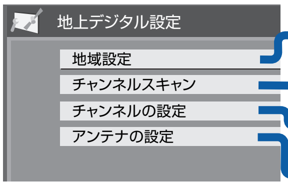
▲▼で「初期設定」を選び、決定で決定する

3



◀▶▲▼で「地上デジタル」を選び、決定で決定する

4



- 地域の設定をする
- チャンネルスキャン
- チャンネルの設定
- アンテナの受信レベルを確認する

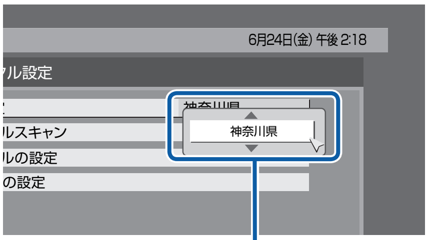
▲▼で設定項目を選び、決定で決定する

5 設定する(☞27ページ)

6 オンエア で終了する

地域の設定をする

お住まいの地域ごとの情報を受信をするための設定をします。



▲▼で選び、決定 で決定する

メニュー で終了する

チャンネルスキャン

引っ越したとき、新しい放送局が開局したとき、放送局からの電波が増強されたときなど、地上デジタル放送の受信状況が変わったときに行ないます。

お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルを自動的に探しだして設定します。

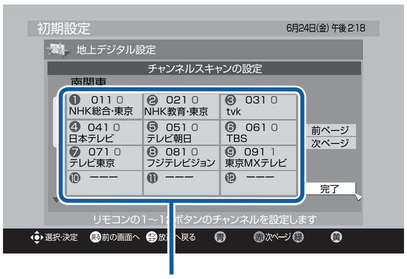
「地上デジタル放送を設定する」(☞20ページ)と同様に操作し、設定する

▲▼で「了解」を選び、決定 で決定する

▲▼で「完了」を選び、決定 で終了する

チャンネルの設定

1〜12ボタンで選べる受信チャンネルを変更したり、空きチャンネルに受信できるチャンネルを割り当てることができます。



◀▶▲▼ で選び、決定 を押す

▲▼で設定するチャンネルを選んで決定 を押す

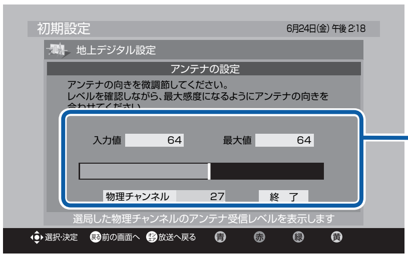
「完了」を選び、

決定 で終了する

つづけて設定するときは、◀▶▲▼で設定したいチャンネルを選び、決定ボタンを押します。

アンテナの受信レベルを確認する

地上デジタル放送のアンテナ受信レベルが確認できます。



チャンネルスキャンが成功すると、現在見ている地上デジタル放送のアンテナ受信レベルを確認できます。
各放送ごとに割り当てられたチャンネルを、物理チャンネルといいます（「用語解説」☞109 ページ）。

テレビを見る

この取扱説明書では、主にリモコンを使っての操作を説明しています。

電源ランプ
本機の電源が「入」のとき、青色で点灯します。

ランプ/録画予約ランプ
電源の「入/切」時に点滅します。
録画予約が設定されているとき、橙色に点灯します。

通信中ランプ
本機が電話回線を使用しているとき、緑色で点灯します。

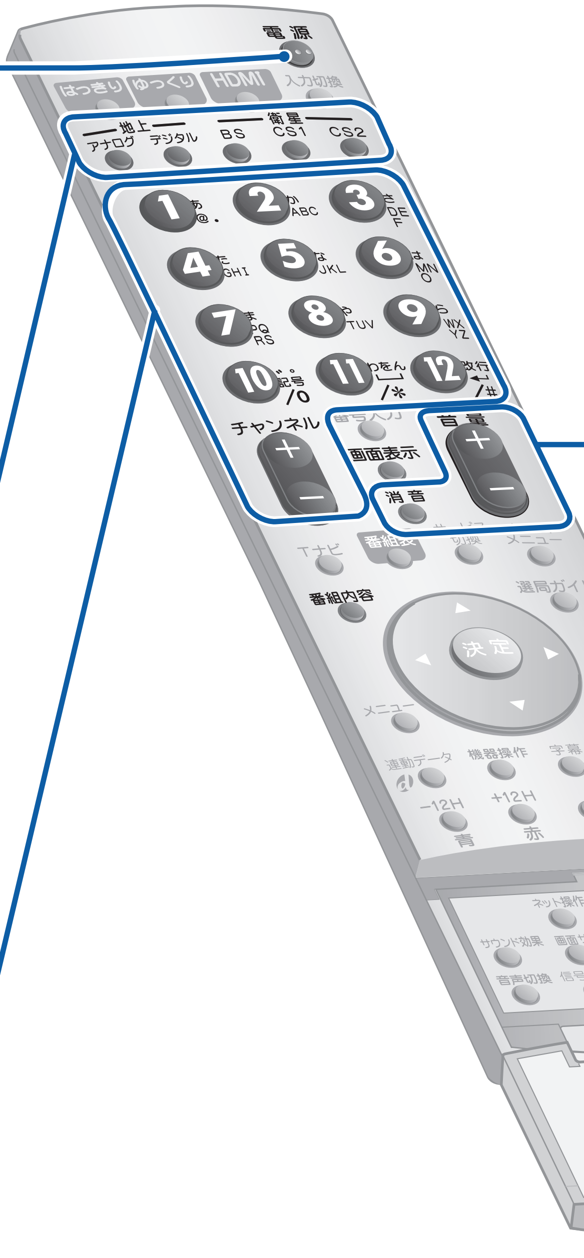
機能待機ランプ
電源が「切」の場合でも、番組表データを受信したり、録画予約を実行しているときは、赤く点灯します。

1 電源を入れる、切る

電源

ボタンを押すごとに電源が「入 / 切」します。

ご注意
- 電源を「入」にすると、映像を映し出す準備をするため、約1分間(ランプ/録画予約ランプ点滅中)電源を「切」にできません。
- 電源を「切」にしても、ランプ冷却のため約1分30秒間(ランプ/録画予約ランプ点滅中)ファンが回りつづけます。もう一度電源を「入」にするときは、冷却が終わったことを確認してから、電源ボタンを押してください。
- 電源プラグを抜いて電源を切らないでください。電源を切らずに電源プラグを抜くとランプの冷却ができません。ランプの交換時期を早めたり、故障の原因になりますので、必ず電源ボタンを押して電源を切り、ランプを冷却してから電源プラグを抜いてください。



2 見たい放送に切り換える

地上アナログ放送を見る	アナログ
地上デジタル放送を見る	デジタル
衛星デジタル放送を見る	BS　CS1　CS2

3 チャンネルを選ぶ

ボタンに登録されているチャンネルに切り換わります。

❶ ❷ ❸ ❹ ❺ ❻ ❼ ❽ ❾ ❿ ⓫ ⓬

チャンネルを順番に変えるとき　チャンネル ＋ −

以下の方法でもチャンネルを選べます。

3ケタのチャンネル番号で選ぶ(☞32ページ)
選局ガイドで選ぶ(☞33ページ)
番組表で見たい番組を探す(☞36ページ)

音量を調節する

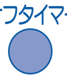
を押す

押すたびに音量が変わります。

急いで音を消すには

消音ボタンを押す
もう一度押すと、元の音量に戻ります。

オフタイマー



を押す

押すたびに設定時間が変わります。
設定した時間を過ぎると、自動的に電源が切れます。

オフタイマー
切り（解除）
30分
1時間
1時間30分
2時間

オフタイマー動作中
残り1時間30分

しばらくすると選ばれている設定が登録され、表示が変わります。

残り時間の表示を消すには

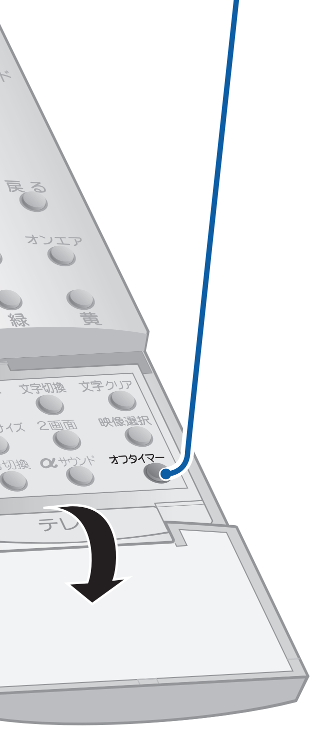
オフタイマーボタンを押す

オフタイマーを解除するには

オフタイマーボタンを押して、
「切り（解除）」を選ぶ

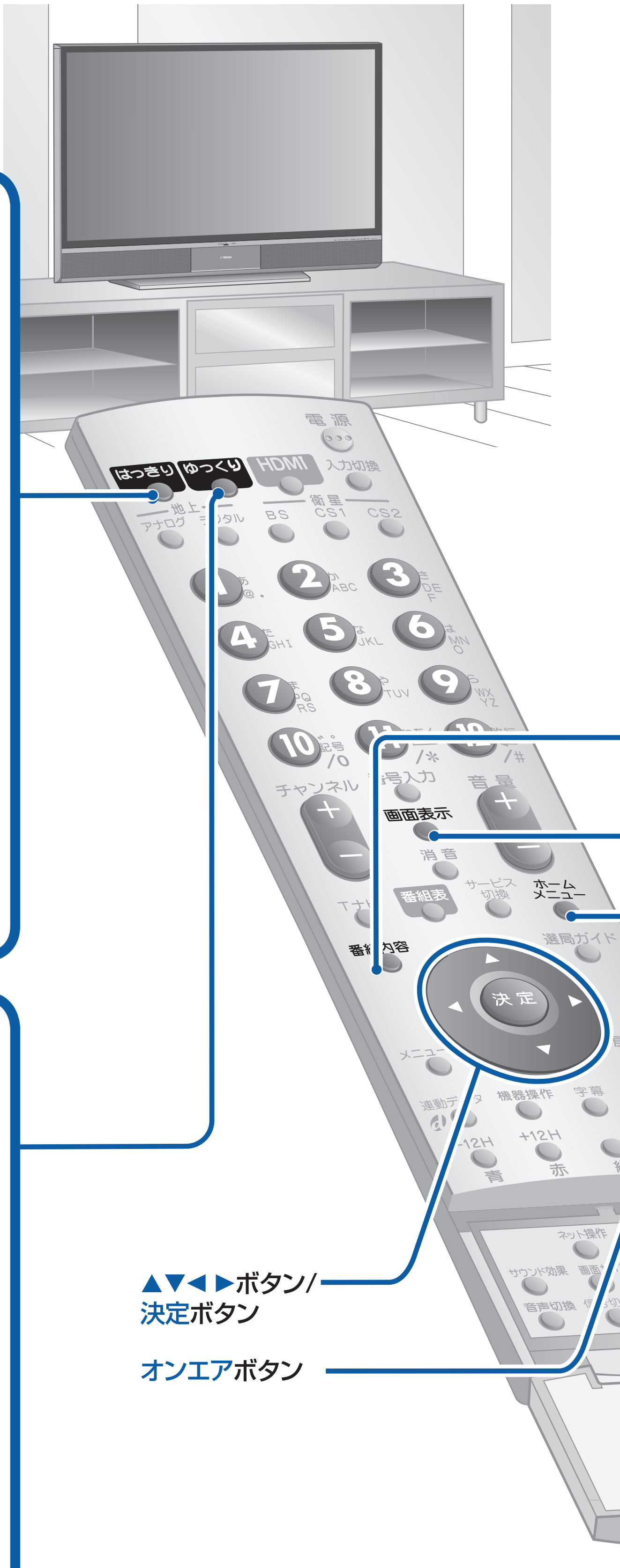
お知らせ

電源の切れる3分前になると再び残り時間が表示され、電源が切れるまで強制的に表示されます。



テレビを見る（つづき）

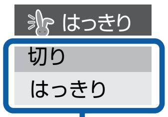
使う人にやさしい機能を使って、「きき楽機能」ではテレビの音声を聞き取りやすくします。
また、ふだんよく見ているチャンネルを簡単に選べます。



「はっきりトーク」で聞く

アナウンサーの声やドラマの会話を聞こえやすい自然な音量にします。大きく感じるCMの音量も抑えます。

はっきり を押す



▲▼ で選ぶ

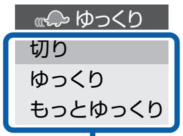
「はっきりトーク」が「はっきり」のときは、音量を調節したときなどに、確認できます。

- はっきりトークが「はっきり」のときはモノラル音声になります。
- 番組によっては効果が得られないときがあります。
- モニター/録画出力端子、光デジタル音声出力端子、オーディオ出力（固定）端子から出力される音声に効果は出ません。

「ゆっくりトーク」で聞く

言葉と言葉の間を利用して速度を調節し、会話を自然で聞き取りやすくします。

ゆっくり を押す



▲▼ で選ぶ

「ゆっくりトーク」が「ゆっくり」、「もっとゆっくり」のときは、音量を調節したときなどに、確認できます。

- 放送の内容（音楽など）によっては効果が得られないときがあります。
- ゆっくりトークが「ゆっくり」または「もっとゆっくり」のときは、次のようになります。
  - ・映像の動きと音声が合わなくなることがあります。
  - ・モノラル音声になります。
- モニター/録画出力端子、光デジタル音声出力端子、オーディオ出力（固定）端子から出力される音声に効果は出ません。

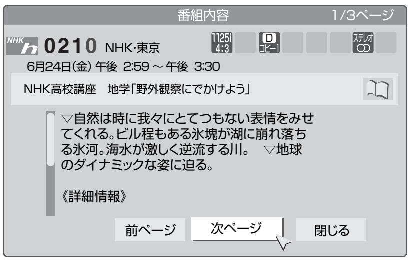
▲▼◀▶ボタン/決定ボタン

オンエアボタン

番組の内容を確認する

番組内容 ボタンを押す

番組の詳しい情報が表示されます。



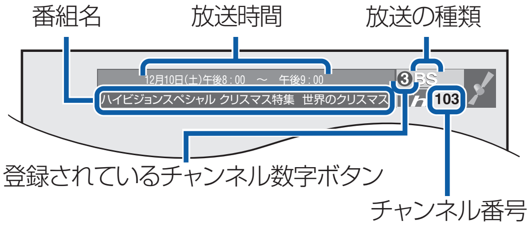
番組の内容表示を消すには
もう一度**番組内容**ボタンを押す

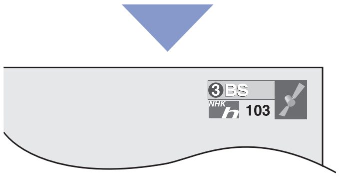
番組情報を表示する

画面表示 ボタンを押す

- つないだ機器の映像を見ているときは、外部入力名が表示されます。(☞34 ページ)
- 地上アナログ放送のときは、放送の種類、チャンネル数字ボタン、チャンネル番号が表示されます。

例：BS デジタル放送のとき





画面表示を消すには
もう一度**画面表示**ボタンを押す

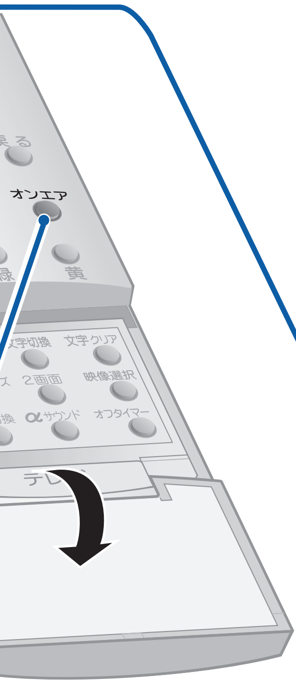
よく見るチャンネルから番組を選ぶ

ホームメニューを使って、ふだんよく見ているチャンネルを簡単に選べます。先週の同じ曜日、同じ時間に見ていたチャンネルや、昨日見ていたチャンネルから選べます。

ホームメニュー ボタンを押す

▲▼◀▶ で選び、決定 で決定する

- 「先週見たチャンネル」を選んだときは、先週の同じ曜日、同じ時間に見ていたチャンネルに切り換わります。
- 「昨日見たチャンネル」を選んだときは、昨日の同じ時間に見ていたチャンネルに切り換わります。



デジタル放送のチャンネルを選ぶ

デジタル放送のチャンネルを選ぶときは、チャンネル番号を直接入力する方法や、選局ガイドで選ぶ方法があります。

3ケタのチャンネル番号で選ぶ

1 番号入力を押す

2 ①～⑩を押す

チャンネル番号を入力します。

例:021チャンネルを選ぶとき

0(10)ボタンを押す ➡ 2ボタンを押す ➡ 1ボタンを押す

（5秒以内）

（5秒以内）

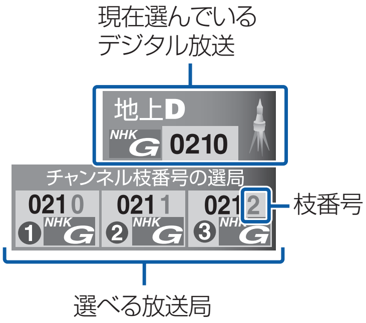
枝番号の異なるチャンネルを選局するときは

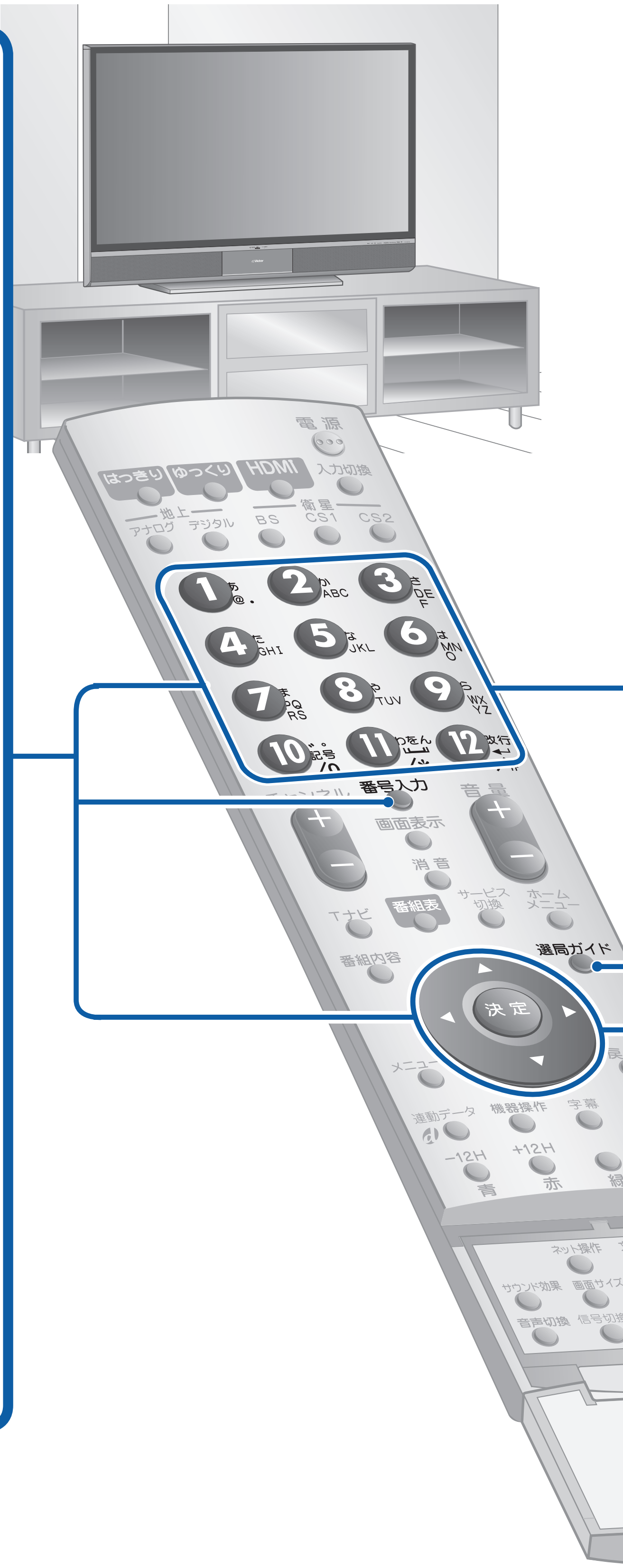
地上デジタル放送の放送エリア境界付近など、同じチャンネル番号の放送局を複数受信できる地域では、チャンネルを識別し選局できるようにするために枝番号が割り当てられます。(例:011-0、011-1など)

枝番号のあるチャンネルを選んだときは、枝番号を選ぶ画面が表示されます。

①～③、⑩で見たい放送局を選びます。

- 枝番号画面が表示されてから5秒間操作をしないと、画面が消えて現在選んでいるデジタル放送が表示されます。

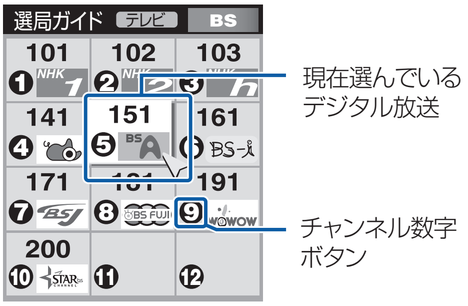




選局ガイドで選ぶ

登録されたデジタル放送のチャンネルを、画面に表示して選べます。
それぞれのデジタル放送のチャンネルを、テレビ放送、ラジオ放送、データ放送それぞれ12チャンネルずつ登録できます。

1 選局ガイドを押す



2 ❶〜⑫を押す

- 見たいチャンネルのボタンを押します。選んだチャンネルに切り換わります。
- ▲▼ ◀ ▶で見たいチャンネルを選び、**決定**ボタンを押しても選べます。

選局ガイドにチャンネルを登録するときは

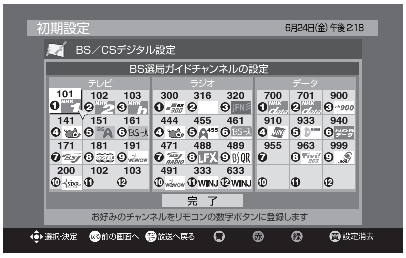
1 **メニュー**ボタンを押す

2 「初期設定」を選んで**決定**ボタンを押す

3 「BS/CSデジタル」を選んで**決定**ボタンを押す

4 登録したい放送の「選局ガイドチャンネルの設定」を選んで**決定**ボタンを押す

「BS選局ガイドチャンネルの設定」、「CS1選局ガイドチャンネルの設定」、「CS2選局ガイドチャンネルの設定」から選びます。



5 ▲▼ ◀ ▶で登録したい選局ボタンを選び、**決定**ボタンを押す

6 1〜10ボタンでチャンネル番号を入力し、**決定**ボタンを押す

7 ▲▼ ◀ ▶で「完了」を選び、**決定**ボタンを押す

チャンネルが登録されます。

登録を消すときは

▲▼ ◀ ▶で消したいチャンネルを選び、**黄**ボタンを押す。

お知らせ

- 地上デジタル放送の選局ガイドは、「チャンネル設定」（☞27ページ）で設定します。
- 地上デジタル放送は、テレビ放送、データ放送を2ページ(24チャンネル)まで登録できます。2ページ以降を表示するときは、**選局ガイド**ボタンをくり返し押して表示します

つないだ機器の映像を見る

外部機器の映像を見るときは、機器をつないだ外部入力に切り換えます。

入力を切り換える

入力切換 を押す

押すたびに次のように切り換わります。

テレビ放送 → i.LINK* → ビデオ1 → ビデオ2 → ビデオ3 → ビデオ4 → HDMI1 → HDMI2 →（テレビ放送に戻る）

入力切換
地上D　011
i.LINK
ビデオ1
ビデオ2
ビデオ3
ビデオ4
HDMI1
HDMI2

* 録画機器をi.LINKコードでつないでいるときは、「i.LINK接続機器選択」（☞77ページ）で設定された機器が表示されます。

- **入力切換**ボタンを押したあと**1**～**4**ボタンを押すと、ビデオ1～ビデオ4入力を直接選べます。

HDMI入力を選ぶときは

HDMIボタンを押します。HDMI機器を2台つないでいるときは、くり返し押して選びます。

お知らせ

- 本体の**入力切換**ボタンで切り換えるときは、次のようになります。

地上アナログ → 地上デジタル → BS → CS1 → CS2 → i.LINK → ビデオ1 → ビデオ2 → ビデオ3 → ビデオ4 → HDMI1 → HDMI2 →（地上アナログに戻る）

ご注意

外部入力を選んでいるとき、メニュー操作などを行った後に**オンエア**ボタンを押すと、最後に見ていた放送に切り換わります。その場合は、**入力切換**ボタンを押して見たい外部入力を選び直してください。（またはメニュー画面や設定画面が消えるまで、**戻る**ボタンをくり返し押してください。）

外部入力名を表示する

画面表示 を押す

画面右上に外部入力名が表示されます。

画面表示を消すには

画面表示ボタンを押します。

ご注意

映像が映っていないとき（無信号のとき）は表示が消えません。

ラジオ放送やデータ放送を楽しむ

デジタル放送では、テレビ放送以外に、ラジオ放送とデータ放送が楽しめます。
データ放送は番組に関する情報などを見たり、クイズやアンケートなどの双方向サービスを楽しめます。

●**ラジオ放送**（衛星デジタル放送のみ）
音声のみのラジオ放送と映像や連動データ放送を楽しめるラジオ放送があります。
番組によっては、CD並の高音質で放送されます。

●**データ放送**
データ放送では、ニュースやさまざまな情報を見たり、クイズやゲームなどの双方向サービスが楽しめます。データ放送には、独立データ放送と連動データ放送があります。

- **独立データ放送**（おもに衛星デジタル放送）
  データだけの放送です。テレビ放送と同様に、チャンネルを選んで見ることができます。
- **連動データ放送**
  デジタル放送の番組に連動して、番組に関する情報などを見ることができます。

お知らせ
- 双方向サービスを受けるには、電話線の接続および電話設定が必要です。(☞18、22ページ)
- デジタル放送の自動表示メッセージ(放送局からの視聴者への案内など)を消すには、リモコンの**戻る**ボタンを押してください。(自動表示メッセージによっては消えない場合があります。)

ラジオ放送や独立データ放送に切り換える

1 サービス切換 を押す

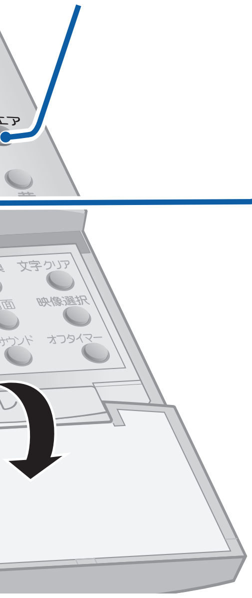
ラジオ放送や独立型データ放送が行われていないデジタル放送では、切り換えられません。

テレビ放送 → ラジオ放送 → データ放送

2 チャンネルを選ぶ

チャンネル+/−ボタンを押します。
チャンネルを番号で選んだり、番組表や選局ガイドからも選べます。
(☞32、33、36ページ)

オンエアボタン



番組に連動したデータ放送を見る

連動データ を押す

連動データ放送が行われているときは、切り換わります。

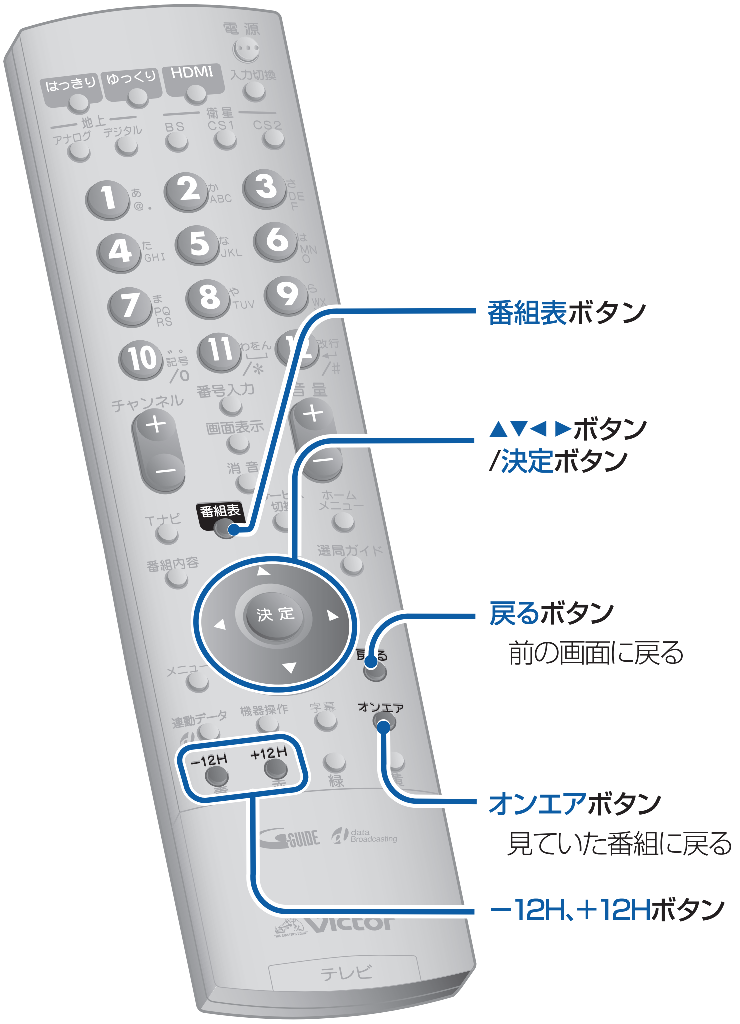
元の番組に戻るには
連動データボタン、または**オンエア**ボタンを押します。

データ放送を操作する
画面の表示にしたがって、リモコンボタンで操作します。

データ放送を操作するときは
- 画面を見ながらゆっくりと操作してください。
- チャンネルを変えたり、別のデータ放送に切り換えた後は表示に時間がかかります。
- 操作ボタンの表示は、放送局や番組によって異なります。
- 操作ガイドが表示されているときは、その指示に従って操作してください。
- 表示される操作ボタンと実際に操作するボタンが異なることがあります。

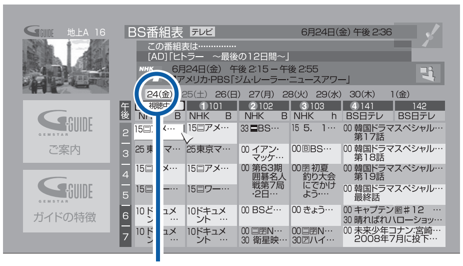
番組表で見たい番組を探す

番組表を使って1週間先までの番組を探すことができます。放送予定の番組を選んで、視聴予約や録画予約ができます。また、放送中の他の番組に切り換えたり、クイック録画機能で放送中の番組を録画することもできます。



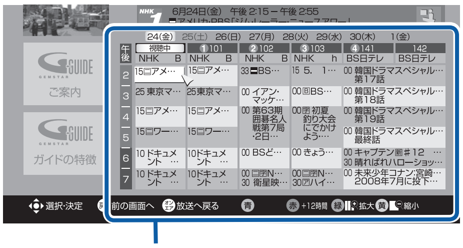
1 番組表 で番組表を表示する

2



−12H +12H で放送日や時間帯を選ぶ

3



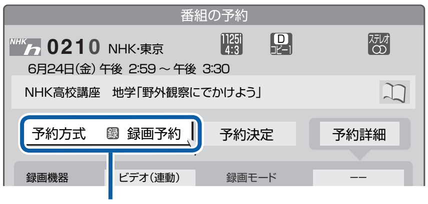
▲▼で時間を、◀▶でチャンネルを変えて、番組を選び、決定 を押す

4 放送中の番組を選んだとき

▲▼で選び、決定 を押す

- 「視聴」を選んだときは、選んだ番組に切り換わります。
- 「クイック録画」を選んだときは、録画予約画面が表示されます。録画予約するときと同様の操作を行なうと、録画が始まります。(☞42、44ページ)

放送予定の番組を選んだとき



◀▶で「予約方式」を選び、決定 を押す

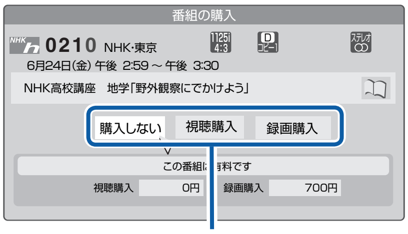
視聴予約	番組の開始約15秒前になると予約したチャンネルに切り換わります。
録画予約	予約した番組を録画します。(☞42、44ページ)

お知らせ

- 本機を初めてご使用になるときや、約1週間以上コンセントを抜いていたときは、番組表は表示されません。リモコンで電源を切った状態で、しばらくお待ちください。
- 視聴制限のある番組を選んだときは暗証番号の入力が必要になります。(☞68、70ページ)
- 有料番組(ペイ・パー・ビュー)を選んだときは購入画面が表示されます。購入するときは以下の手順で購入してください。

1 購入確認画面が表示されているときに、決定 を押す

2



◀▶で選んで、決定 を押す

視聴購入	番組を購入したことになり視聴できます。録画機器で録画することはできません。
録画購入	番組を購入したことになり、視聴できます。録画機器で録画するときに選んでください。

- コピーガードがかかっている番組は録画できません。

番組表の見かた

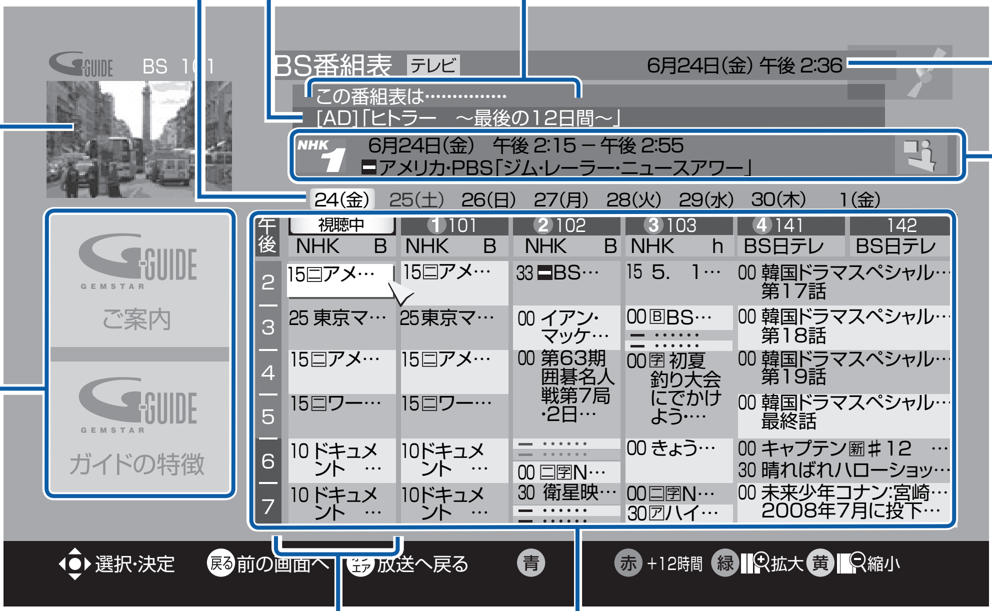
日付

テキスト(文字)広告*

番組データを提供している局からのお知らせ

今日の日付、現在の時刻

現在視聴しているチャンネルの映像



パネル広告*

現在視聴中のチャンネル、番組

番組欄
- 画面に表示しきれない短い番組は、番組間の区切りに点線で表示されます。
- 視聴予約、録画予約された番組は、番組のタイトルにアイコンが表示されます。(☞102ページ) 画面に表示しきれない短い番組は、視聴予約は点線が**青**、録画予約は**赤**で表示されます。

選んでいる番組の情報

*1 ▲▼ボタンで選び**決定**ボタンを押すと、「広告詳細」が表示されます。
*2 ▲▼ ◀▶ボタンで選ぶと、「広告詳細」が表示されます。

番組表を表示しているときに
- 操作を途中でやめるときは、**番組表**ボタンを押します。
- **緑**ボタン、**黄**ボタンを使って、番組表を3段階で拡大縮小できます。

お知らせ

最新の番組表をお使いになるためには

テレビ本体の電源を切らずに、リモコンの電源ボタンで電源を「切」にしてください。

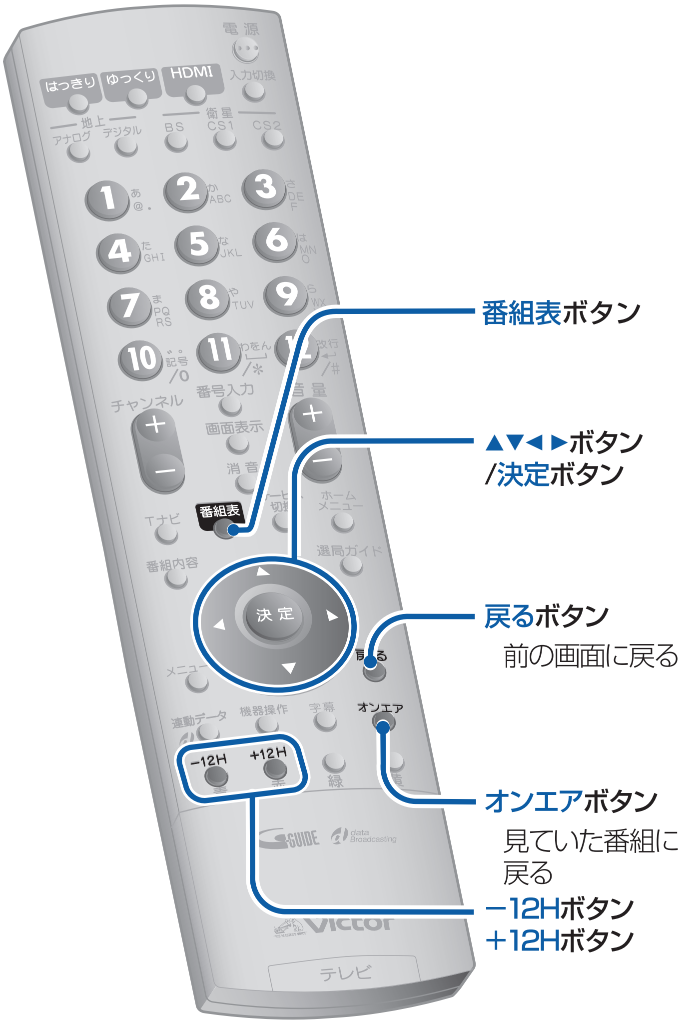
番組表のデータ受信について
- 番組表は、BSデジタル放送のGガイド、デジタル放送電波のすきまで、1日数回配信されます。
  BS･110度CSデジタルアンテナの接続と設定が必要です。
- 地上アナログ放送の番組表は、BSデジタル放送のGガイドから配信されます。
  必ず、BS･110度CSデジタルアンテナの接続と設定が必要です。
  次回の配信時刻は、Gガイド受信確認(☞69ページ)をご覧ください。

電源を入れたときに
- 電源を入れた後、番組表、番組内容表示などの機能が働くようになるまでに10秒程かかる場合があります。
- 放送局の都合により番組が変更された場合は、番組表と実際の放送内容が一致しないことがあります。

番組表で見たい番組を探す(つづき)

見たい番組を予約する

見たい番組を予約できます。他の放送やチャンネルを見ていても、番組の開始約15秒前になると予約したチャンネルに自動的に切り換わります。

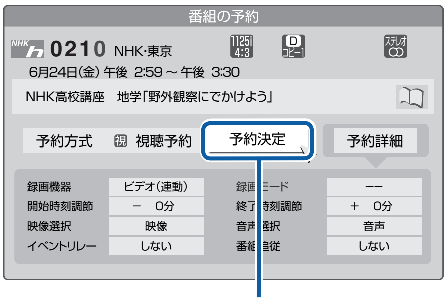


番組表を表示させる

番組表 で番組表を表示する

番組を予約する

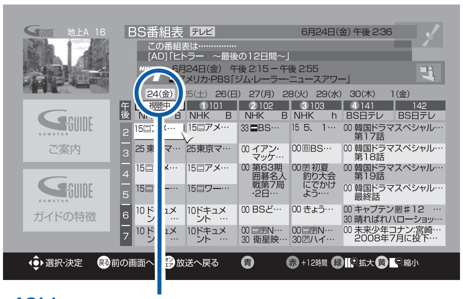
◀▶で「予約方式」を選び、決定を押す



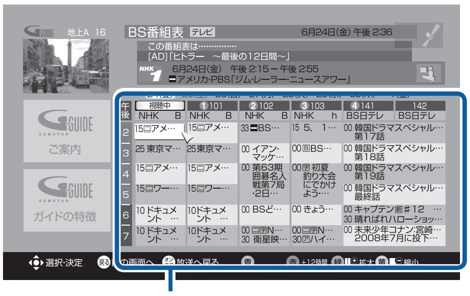
◀▶で「予約決定」を選び、決定を押す

お知らせ

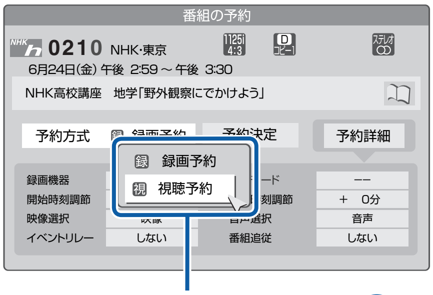
- 「視聴予約」は本機の電源が入っていないと実行されません。
- すでに予約済みの番組を選んだときは、「予約の変更」、「予約の取り消し」が表示されます。
- ホームメニューの「ジャンル検索」、「キーワード検索」、「人名検索」から番組を探して予約することもできます。(☞40ページ)
- 録画予約するときは、「録画予約する(ビデオリモートコントローラー)」(☞42ページ)または「録画予約する(i.LINK)」(☞44ページ)をご覧ください。



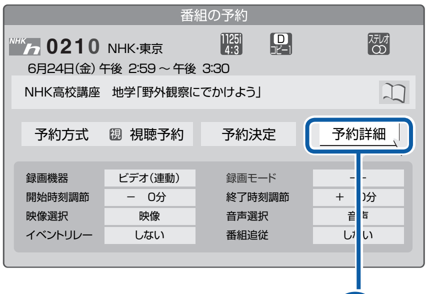
−12H +12H で放送日や時間帯を選ぶ



▲▼ で時間を、◀▶ でチャンネルを変えて、番組を選び、決定 を押す

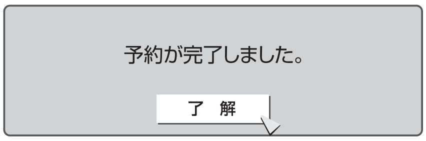


▲▼で「視聴予約」を選び、決定 を押す



◀▶で「予約詳細」を選び、決定 を押す

- 「予約詳細」の設定については、「予約の詳細設定をする」（☞50ページ）をご覧ください。
- 予約の手続きを中止するときは、**戻る**ボタンを押します。



決定 を押す

オンエア で終了する

- 予約した番組が始まる約20秒前になると、「まもなく予約された番組が開始されます。」と画面に表示されます。約15秒前になると予約したチャンネルに切り換わります。

番組を検索する

ホームメニューを使って、指定したジャンル、キーワード、人名から番組を検索できます。

ホームメニューボタン

▲▼◀▶ボタン
/**決定**ボタン

戻るボタン
前の画面に戻る

オンエアボタン
見ていた番組に戻る

お知らせ
- BS･110度CSデジタルアンテナが接続されていないと、番組データが取得できません。。
- 検索に時間がかかる場合があります。
- ジャンルやキーワード、人名に表示される項目は変更される場合があります。

ホームメニューの使いかた

1 ホームメニューを押す

2

ジャンルからさがす

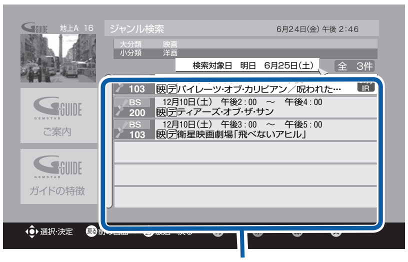
キーワードからさがす

人名からさがす

◀▶▲▼ で選び、決定で決定する

3 右記の手順で検索する

4 検索結果を確認する



▲▼ で選び、決定で決定する

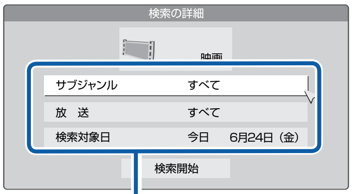
5 番組の予約を行なう
「見たい番組を予約する」(☞38ページ)
「録画予約する」(☞42、44ページ)

放送中の番組を選んだときは、「視聴」、「クイック録画」を選ぶ画面が表示されます。(☞36ページ)

ジャンルから探す

番組のジャンル(種類)を指定して検索できます。検索結果の一覧から番組を選んだり、予約できます。

◀▶▲▼ で選び、決定 で決定する



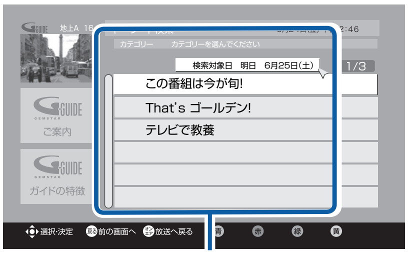
▲▼で「サブジャンル」、「放送」、「検索対象日」を選び、決定 で決定する

サブジャンル	ジャンルをさらに細かく分けて選びます。
放送	検索する放送(すべて/地上アナログ/地上デジタル/BS/CS1/CS2)を選びます。
検索対象日	検索する日を選びます。

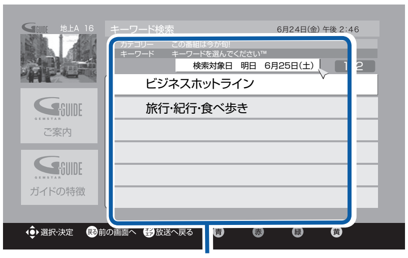
▲▼ で「検索開始」選び、決定 で決定する

キーワードから探す

見たい番組の種類をキーワードで指定して検索できます。検索結果の一覧から番組を選んだり、予約できます。



▲▼ で選び、決定 で決定する

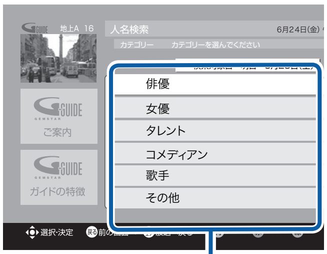


▲▼ で選び、決定 で決定する

▲▼で「検索対象日」を選んで**決定**ボタンを押し、検索する日を選びます。

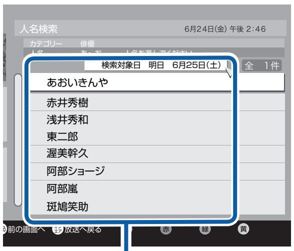
人名から探す

番組の出演者などを指定して検索できます。検索結果の一覧から番組を選んだり、予約できます。



▲▼ で選び、決定 で決定する

▲▼ で選び、決定 で決定する

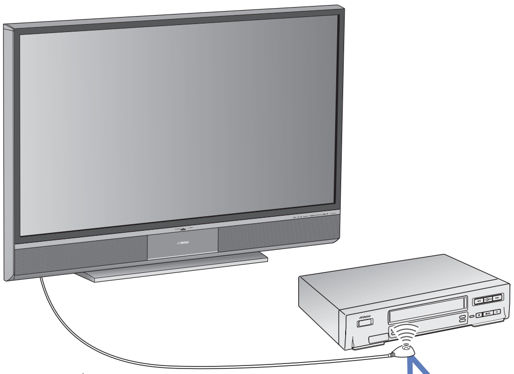


▲▼ で選び、決定 で決定する

▲▼で「検索対象日」を選んで**決定**ボタンを押し、検索する日を選びます。

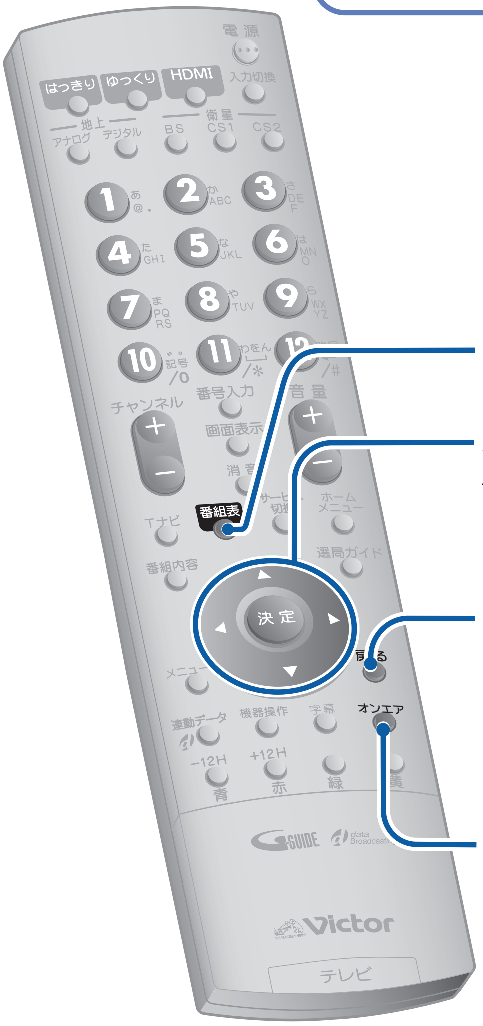
録画予約する（ビデオリモートコントローラー）

準備はすんでいますか？
ビデオリモートコントローラーの接続と設定をする
（☞74、75ページ）



ビデオリモート
コントローラー

テレビから録画機器に「録画開始/終了」の信号を送ります。



番組表ボタン

▲▼◀▶ボタン
/**決定**ボタン

戻るボタン
前の画面に戻る

オンエアボタン
見ていた番組に戻る

録画予約を始める

番組表 を押す

録画する機器を選ぶ

予約方法の詳細設定

録画機器	ビデオ（連動）
録画モード	——
開始時刻調節	－　0分
終了時刻調節	＋　0分
映像選択	映像
音声選択	音声
イベントリレー	しない
番組追従	しない
	決　定

▲▼で「録画機器」を選び、決定を押す

予約設定を終わる

予約方法の詳細設定

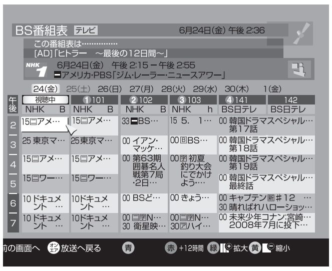
録画機器	ビデオ（連動）
録画モード	——
開始時刻調節	－　0分
終了時刻調節	＋　0分
映像選択	映像
音声選択	音声
イベントリレー	しない
番組追従	しない
	決　定

▲▼で「決定」を選び、決定を押す

録画する機器の準備をする

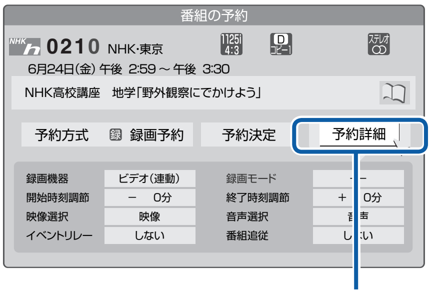
1. 録画機器の入力を、テレビを接続した外部入力に切り換える
2. 録画機器の録画モードを設定する
3. 録画機器の電源を「切」にする

お知らせ
- ビデオリモートコントローラーが使えない録画機器をお使いのときは、本機での設定と別に、録画機器でも予約設定を行う必要があります。そのとき本機では「録画機器」を「非連動」に設定してください。録画予約が終わったら、録画機器側で本機と接続した外部入力を選び、番組の開始時刻に合わせて録画機器の録画予約を行ってください。
- お使いのDVDレコーダーによっては、ビデオリモートコントローラーとの接続でDVDやHDDに録画予約ができない場合があります。あらかじめ、試し録画をしてください。

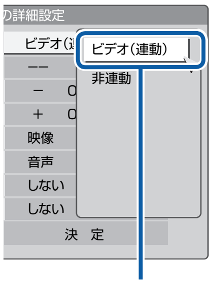


▲▼◀▶で予約したい番組を選び、決定を押す

◀▶で「予約方式」を選び、決定を押したあと、▲▼で「録画予約」を選び、決定を押す

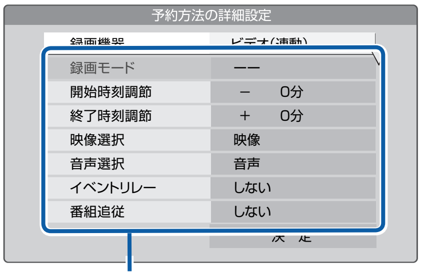


◀▶で「予約詳細」を選び、決定を押す



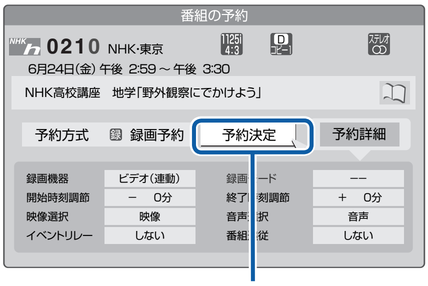
▲▼で使用する録画機器を選び、決定を押す

ビデオ(連動) DVD（連動）	ビデオリモートコントローラーを使って録画するとき。
非連動	ビデオリモートコントローラーが使えないとき。

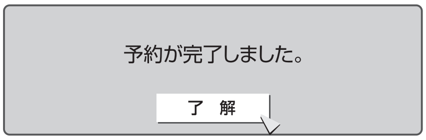


▲▼で設定する項目を選び、決定を押す

- それぞれの設定は、「予約の詳細設定をする」（☞50ページ）をご覧ください。
- 予約の手続きを中止するときは、**戻る**ボタンを押します。



◀▶で「予約決定」を選び、決定を押す



決定を押す

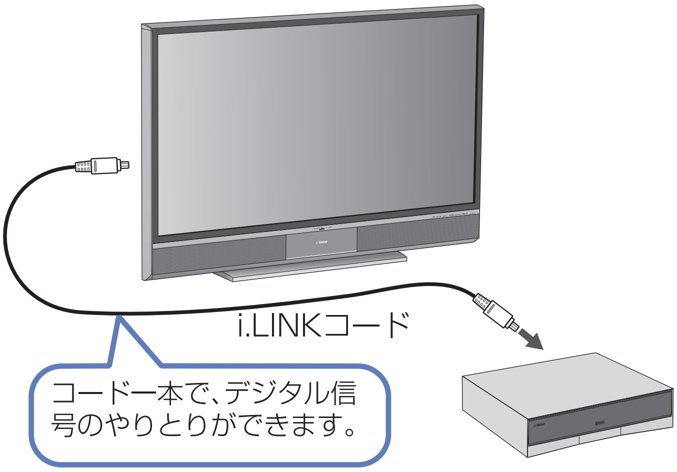
オンエアを押す

テレビ画面に戻ります。

- 予約した番組が始まる約20秒前になると、「まもなく予約された番組が開始されます。」と画面に表示されます。約15秒前になると予約したチャンネルに切り換わります。本機と連係して録画機器の電源が入り、録画が始まります。
- 予約変更や取り消しについては、「予約を取り消す / 変更する」（☞48ページ）をご覧ください。

録画予約する (i.LINK)

準備はすんでいますか？
i.LINK接続と設定をする（☞76、77ページ）

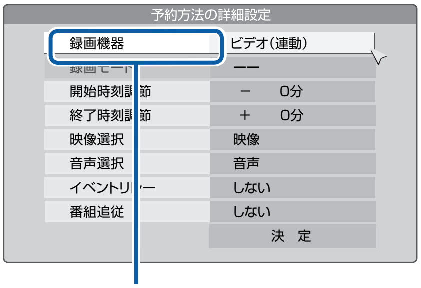


お知らせ
予約録画の実行中にi.LINKコードを抜き差ししないでください。予約途中で終了することがあります。

録画予約を始める

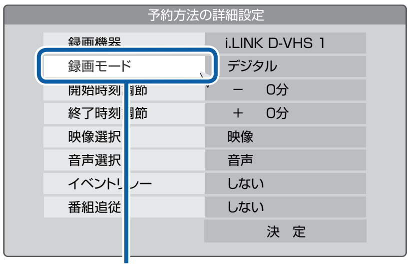
番組表 を押す

録画する機器を選ぶ



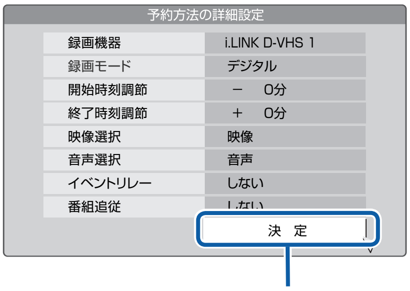
▲▼で「録画機器」を選び、
決定 を押す

録画モードを設定する

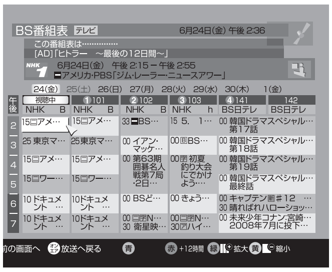


▲▼ で「録画モード」を選び、
決定 を押す

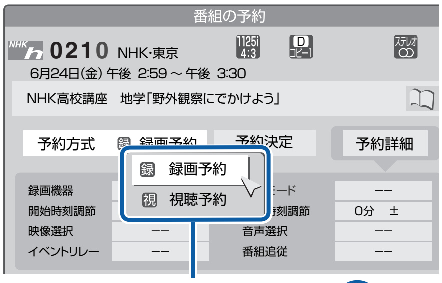
録画予約の設定を終わる



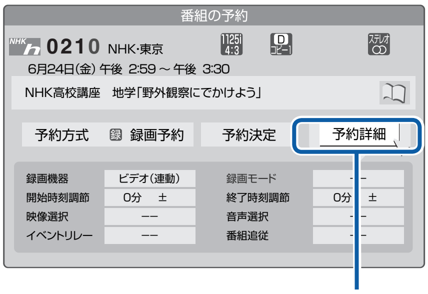
▲▼で「決定」を選び、
決定 を押す



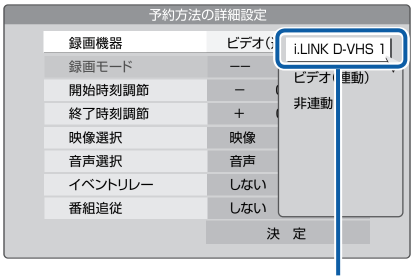
▲▼ ◀▶ で予約したい番組を選び、決定 を押す



◀▶で「予約方式」を選び、決定 を押し、▲▼で「録画予約」を選び、決定 を押す



◀▶で「予約詳細」を選び、決定 を押す



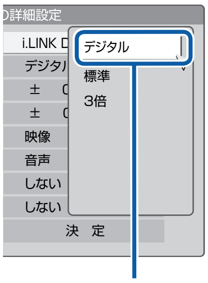
▲▼で使用する録画機器を選び、決定 を押す

i.LINK D-VHS1	D-VHSビデオデッキで録画するとき。
i.LINK HDR1	ハードディスクレコーダーで録画するとき。
i.LINK BD1	ブルーレイディスクレコーダーで録画するとき。

末尾の数字は、i.LINK接続している機器に割り当てられる番号です。同じ種類の機器が複数あるときは、末尾の数字が増えます。(☞77ページ)

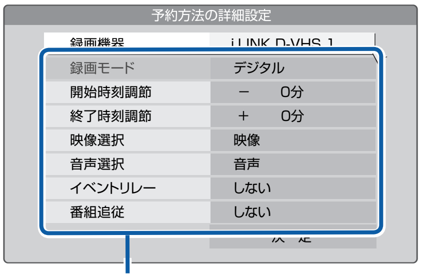
お知らせ

複数のi.LINK機器をつないでいるときは、「i.LINK機器を設定する」(☞77ページ)で、録画したい機器の番号を確認してください。



「デジタル」以外の録画モードを選ぶとアナログでの録画になります。

▲▼で「デジタル」を選び、決定 を押す



▲▼で設定する項目を選び、決定 を押す

- それぞれの設定は、「予約の詳細設定をする」(☞50ページ)をご覧ください。
- 予約の手続きを中止するときは、戻るボタンを押します。

◀▶で「予約決定」を選び、決定 を押す

予約完了メッセージが表示されます。

決定 を押す

- 予約した番組が始まる約20秒前になると、「まもなく予約された番組が開始されます。」と画面に表示されます。約15秒前になると予約したチャンネルに切り換わります。本機と連係して録画機器の電源が入り、録画が始まります。
- 予約変更や取り消しについては、「予約を取り消す / 変更する」(☞48ページ) をご覧ください。

オンエア を押す

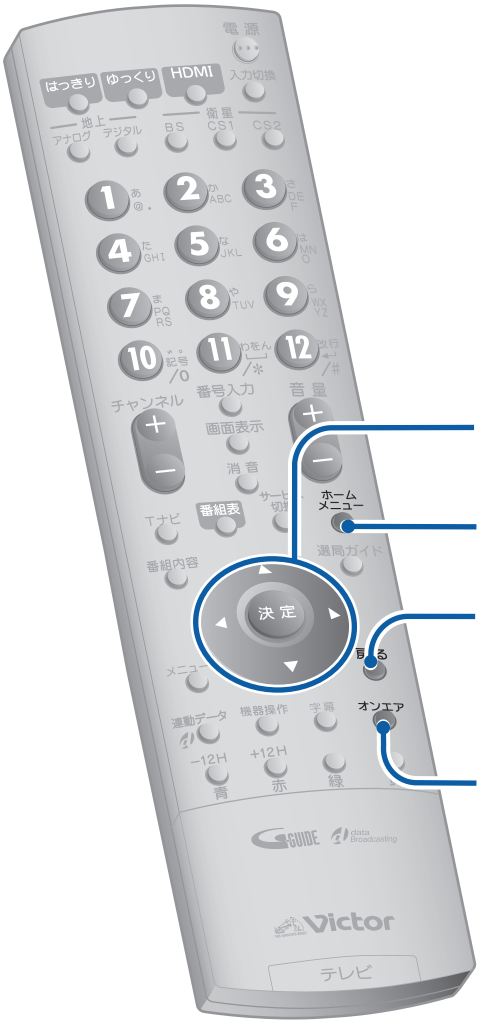
テレビ画面に戻ります。

プログラム予約する

日時とチャンネルを指定して予約することもできます(プログラム予約)。

プログラム予約には、以下の2通りの方法があります。

- **日付指定**
  最大1カ月先までの日付を指定できます。
- **連続予約**
  「毎日」、「毎週」、「毎週(月)～(土)」(連続6日間)、「毎週(月)～(金)」(連続5日間)の4種類から選べます。



▲▼◀▶ボタン
決定ボタン

ホームメニューボタン

戻るボタン
前の画面に戻る

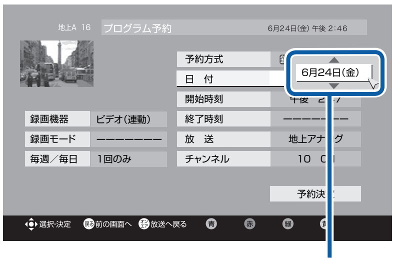
オンエアボタン
見ていた番組に戻る

お知らせ
デジタル放送が受信できないときは、プログラム予約ができません。

プログラム予約を始める

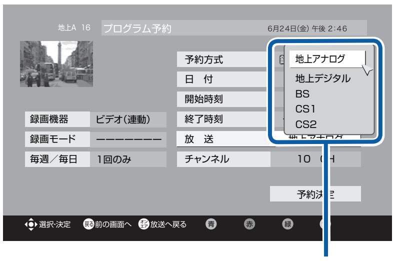
ホーム メニュー を押す

予約日と時刻を選ぶ



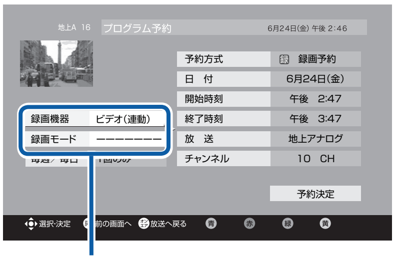
◀▶▲▼で「日付」を選んで 決定 を押し、▲▼で設定して、決定 を押す

放送、チャンネル、毎週/毎日、を設定する



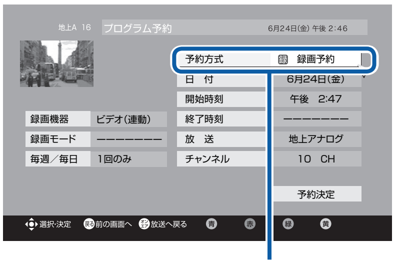
◀▶▲▼で「放送」を選んで 決定 を押し、▲▼で設定して、決定 を押す

録画機器、録画モード、を設定し、予約設定を終わる

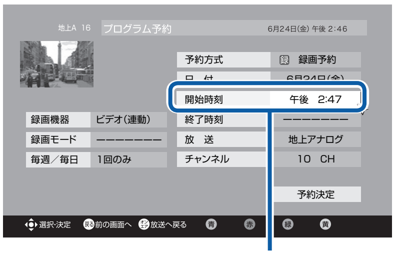


◀▶▲▼で「録画機器」、「録画モード」を選んで 決定 を押し、▲▼で設定する(☞42、44ページ)

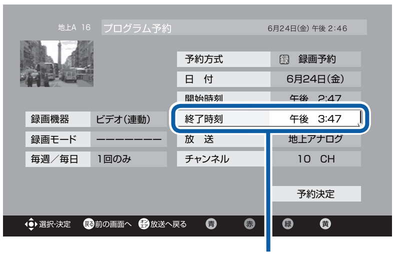
◀▶▲▼で「プログラム予約」を選び、決定 を押す



◀▶▲▼で「予約方式」を選んで 決定 を押し、▲▼で「録画予約」、または「視聴予約」を設定して、決定 を押す

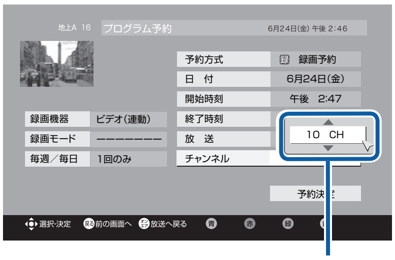


◀▶▲▼で「開始時刻」を選んで 決定 を押し、▲▼で設定して、決定 を押す



◀▶▲▼で「終了時刻」を選んで 決定 を押し、▲▼で設定して、決定 を押す

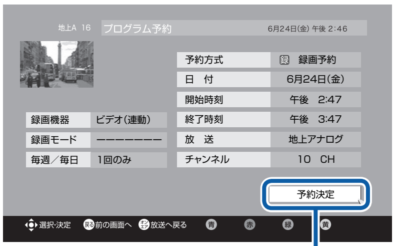
時刻の設定は、▲▼を押し続けると、15分刻みで変わります。



◀▶▲▼で「チャンネル」を選んで 決定 を押し、▲▼で設定して、決定 を押す

◀▶▲▼で「毎週/毎日」を選んで 決定 を押し、▲▼で設定して、決定 を押す

1回のみ	設定した日のみ録画する。
毎週	毎週同じ曜日、時刻に録画する。
毎日	毎日同じ時刻に録画する。
毎日 月~土	月曜から土曜まで同じ時刻に録画する。
毎日 月~金	月曜から金曜まで同じ時刻に録画する。



◀▶▲▼で「予約決定」を選び、決定 を押す

予約完了メッセージが表示されます。

決定 を押す

- 予約の手続きを中止するときは、**戻る**ボタンを押します。

オンエア を押す

テレビ画面に戻ります。

予約を取り消す/変更する

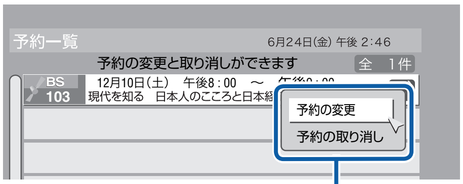
予約した番組の確認や変更、取り消しができます。

ご注意
- 予約開始の約3分前からは予約を変更しないでください。予約が正しく実行されない場合があります。
- i.LINK接続した録画機器からの予約を変更または取り消す場合は、予約を設定した機器で行ってください。

予約内容を表示させる

ホーム メニュー を押す

予約を取り消す/変更する



▲▼で選び、決定で決定する

予約についてのご注意

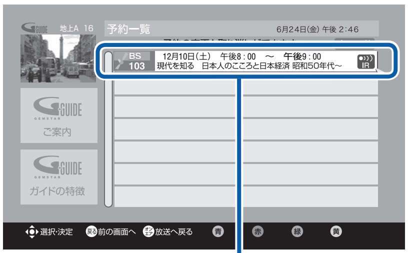
- 予約できる件数は視聴予約、録画予約と合わせて、21件までです。
- ビデオリモートコントローラーで録画予約するときは、録画の設定動作に若干の時間が必要なため、録画予約するときは開始時刻の2分30秒前、クイック録画するときは録画終了時刻の2分30秒前には予約設定を終了してください。開始時刻や終了時刻の直前に設定すると録画予約やクイック録画に失敗することがあります。
- ビデオリモートコントローラーで録画するとき、クイック録画を行なうときは「ビデオ(連動)」、「DVD (連動)」での録画はできません。
- デジタル放送を録画予約した場合、予約の実行中は、選局などの機能が使用できなくなります。これらの操作を行うと、予約録画を中止しても良いかの確認画面が表示されます。
- ビクター製DVDレコーダー DR-M1でビデオリモートコントローラーを使って録画した場合、「録画できない部分がありましたので一部録画できませんでした。」とのメッセージが表示されることがありますが、録画には支障ありません。

予約の優先順位
- イベントリレーや番組追従で録画予約が延長されたとき、他の予約と時間が重なってしまったときは、予約に失敗することがあります。
- チャンネルが異なる番組を、時間を続けて録画予約した場合、前の番組の録画が約15秒早く終了します。
- 録画機器側で他の予約を設定し、本機での予約と重複した場合などには、録画予約がうまく動作しない場合があります。

コピーガード
- 番組によっては録画できないものもあります。番組の内容説明をご確認ください。(☞31、102ページ)

マクロビジョン
- 著作権保護された番組をビデオなどで録画する場合、著作権保護のための機能が働いて、正常に録画できません。また、著作権保護された番組をビデオデッキを介して本機で見た場合、映像が乱れることがありますが故障ではありません。

▲▼で「予約一覧」を選び、
決定 を押す



▲▼で選び、決定 で設定する

- 8件以上の予約がある場合は、▲▼を押すと表示されます。

予約の変更	「番組の予約」画面が表示されます。予約設定時と同様の操作で、予約を修正することができます。(☞38、42、44ページ)。予約の変更が終わったら、◀ ▶ボタンで「予約変更」を選んで、**決定**ボタンを押します。
予約の取り消し	予約が取り消されます。

- プログラム予約での予約を変更するときは「プログラム予約」画面が表示されます。プログラム予約と同様の操作で修正できます。(☞46ページ)
- 番組表からも、予約している番組を選んで変更や取り消しができます。
  番組表を表示しているときに、予約している番組を選んで**決定**ボタンを押すと、「予約の変更、予約の取り消し」画面が表示されます。▲▼ボタンで選び、同様の操作で修正ができます。

D-VHSビデオデッキで録画予約するとき

ビクター製D-VHSビデオデッキで、次のように録画予約すると、2番組目が録画できません。

- 「地上アナログ放送のあとに、デジタル放送を録画予約」した場合

地上アナログ放送の番組
開始　終了
デジタル放送の番組
開始　終了
部分:録画しません

- 「デジタル放送のあとに、地上アナログ放送を録画予約」した場合

デジタル放送の番組
開始　終了
地上アナログ放送の番組
開始　終了
部分:録画しません

- 本機の予約終了時刻とD-VHSビデオデッキの予約開始時刻が同じ場合

本機
開始　終了
D-VHS
開始　終了
部分:録画しません

- D-VHSビデオデッキの予約終了時刻と本機の予約開始時刻が同じ場合

本機
開始　終了
D-VHS
開始　終了
部分:録画しません

このような場合は、以下のように予約してください。

方法1　予約するときに、録画予約の「録画機器」の設定を「ビデオ(連動)」にしてください。(ビデオリモートコントローラーでのアナログ録画になります。)

方法2　「プログラム予約」(☞46ページ)を使って、1番組目と2番組目のあいだに**1分以上の間隔**ができるように予約してください。(デジタル放送をi.LINKでデジタル録画します。)

予約の詳細設定をする

複数の信号があるデジタル放送の番組を予約するときや、放送時間の変更に合わせるなど、予約時の動作を細かく設定できます。

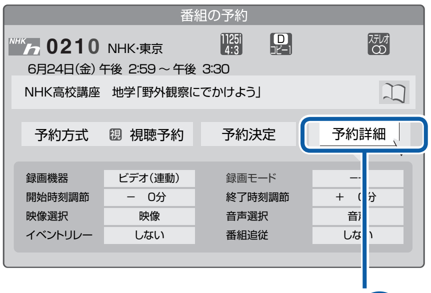
お知らせ

番組や予約の方法によっては、設定できない項目もあります。

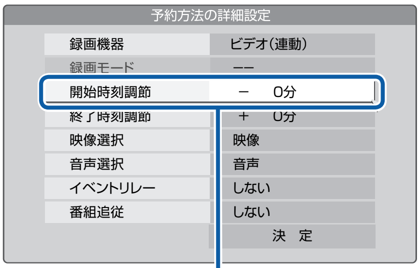
予約時刻を修正する

予約開始時刻と終了時刻を、番組が始まる5分前から終了の1時間後まで、修正できます。
有料番組は1分前まで変更できます。「イベントリレー」、「番組追従」を「する」に設定している番組は、予約開始時刻･予約終了時刻を変更できません。

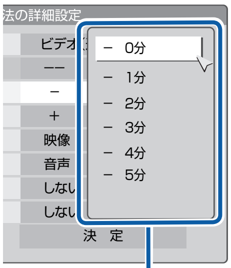
予約開始時刻を修正する



◀▶で「予約詳細」を選び、決定を押す

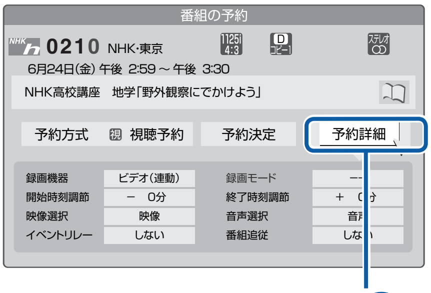


▲▼で「開始時刻調節」を選び、決定を押す

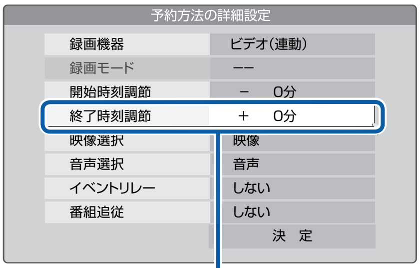


▲▼で選び、決定を押す

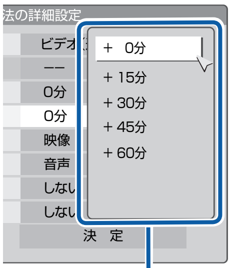
予約終了時刻を修正する



◀▶で「予約詳細」を選び、決定を押す



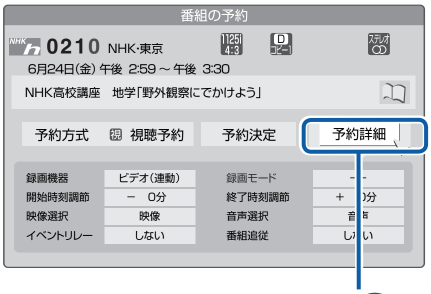
▲▼で「終了時刻調節」を選び、決定を押す



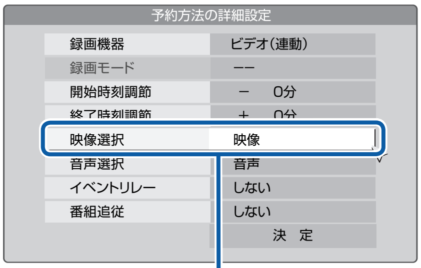
▲▼で選び、決定を押す

映像信号を選ぶ

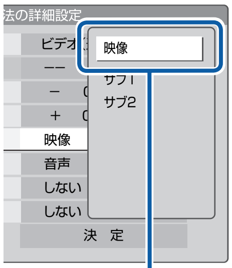
映像信号が複数あるときに、映像を設定します。



◀▶で「予約詳細」を選び、決定を押す



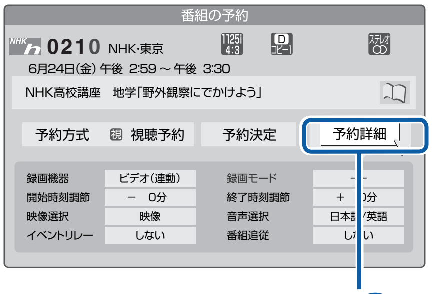
▲▼で「映像選択」を選び、決定を押す



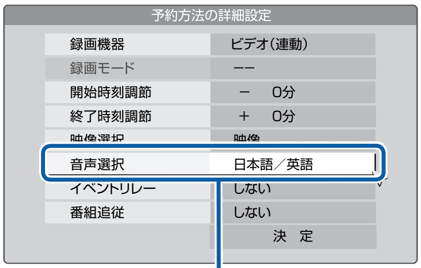
▲▼で選び、決定を押す

音声信号を選ぶ

音声信号が複数あるときに、音声を設定します。



◀▶で「予約詳細」を選び、決定を押す



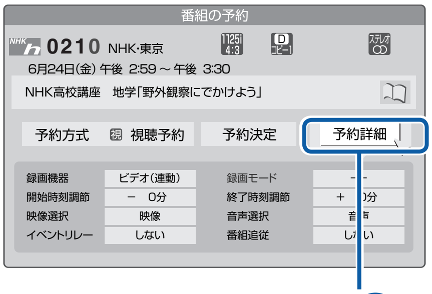
▲▼で「音声選択」を選び、決定を押す

▲▼で選び、決定を押す

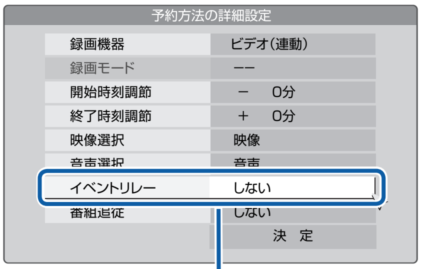
番組が延長されたときの設定をする

イベントリレー:予約した番組が別のチャンネルで延長されるときに、続けて予約を実行する

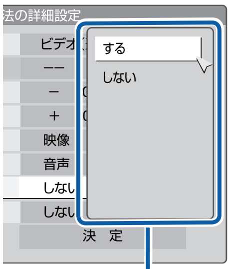
「イベントリレー」を「する」に設定すると、予約した番組が別のチャンネルで延長される場合に続けて予約を実行します(放送局からの情報があるときのみ)。



◀▶で「予約詳細」を選び、決定を押す



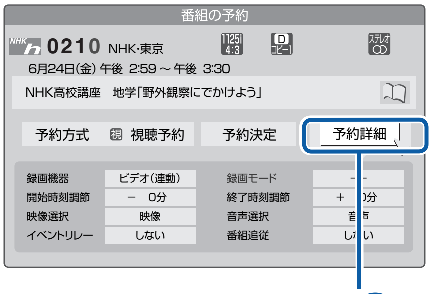
▲▼で「イベントリレー」を選び、決定を押す



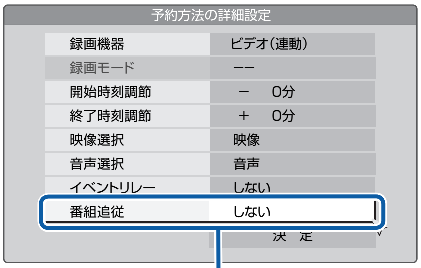
▲▼で選び、決定を押す

番組追従:予約した番組が遅れたときに、時間を変更して予約を実行する

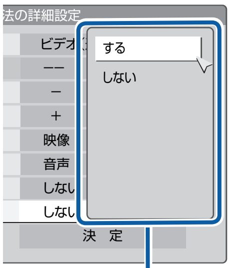
「番組追従」を「する」に設定すると、放送時間の変更にあわせて、予約開始の設定時刻から最大で3時間の遅れまで対応します。イベントリレーには対応していません。



◀▶で「予約詳細」を選び、決定を押す



▲▼で「番組追従」を選び、決定を押す



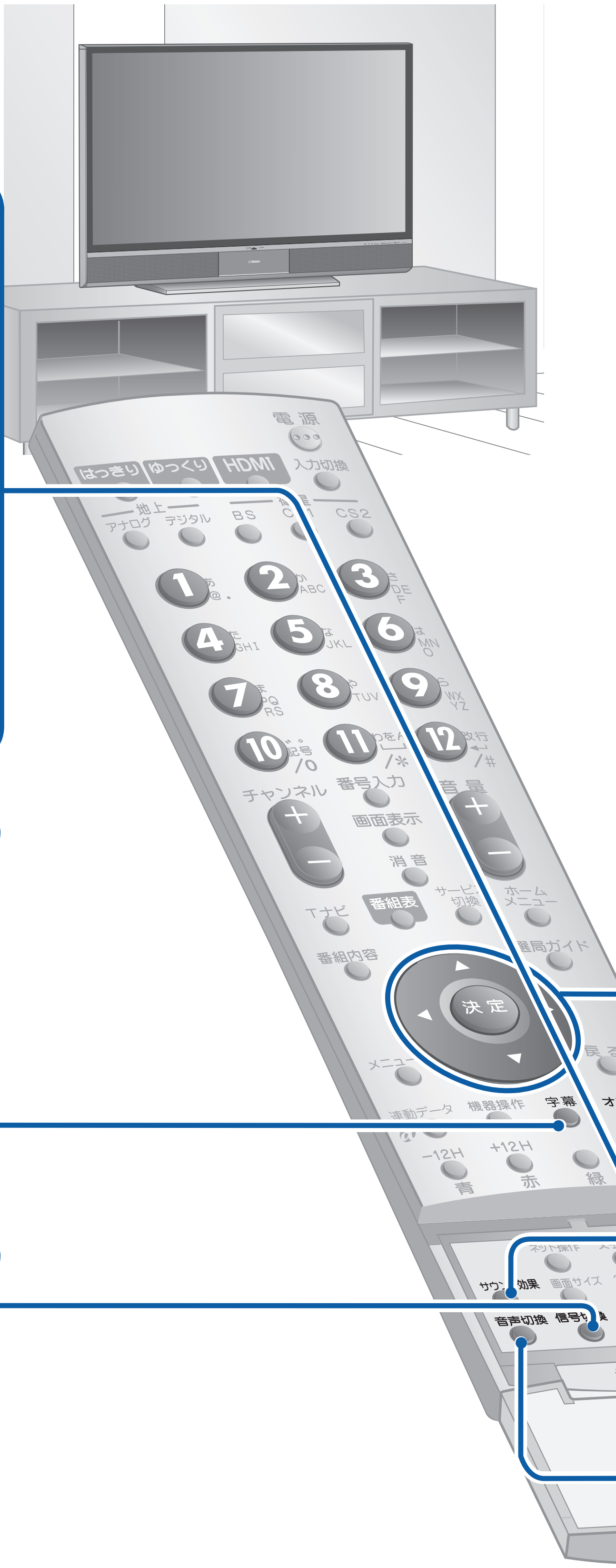
▲▼で選び、決定を押す

お知らせ

「イベントリレー」を「する」に設定すると、「番組追従」が「する」に固定されます。
またイベントリレーの実行中、他の予約は中止されます。

便利な機能を使う

リモコンのボタンを押すだけで楽しめる便利な機能です。



画質を選ぶ

4種類の画質から選びます。
ふだんは「スタンダード」でご覧になることをおすすめします。

映像選択 ● **を押す**

押すたびに切り換わります。

映像選択
スタンダード
ダイナミック
シアター
ゲーム

スタンダード	くっきりとした映像に
ダイナミック	明暗のメリハリがきいた映像に(お買い上げ時の設定)
シアター	映画番組や映画ソフト向きの映像に
ゲーム	テレビゲームを楽しむときに

「シアター」を選んでいるときはさらに細かな調節ができます。(「お好みの映像に調節する」の「シアタープロ設定」☞63ページ)

字幕を表示する

字幕 ● **を押す**

押すたびに切り換わります。

字幕選択
字幕切
日本語

- 字幕情報のない番組ではお使いいただけません。
- 強制的に字幕を表示する放送などでは、字幕表示を消せない場合があります。

信号を切り換える

デジタル放送には、マルチビューなど複数の映像を放送している番組があります。このような番組では、映像を切り換えて楽しめます。

信号切換 ● **を押す** ▶

信号切換	
マルチビュー	メイン
映像切換	映像　1
音声切換	切換なし

▲▼で選び、決定で設定します。

それぞれの設定を変更して信号を切り換えます。

マルチビュー	マルチビュー放送のとき、映像を切り換えます。
映像切換	複数の映像がある放送のときに、映像を切り換えます。
音声切換	複数の音声がある放送のときに切り換えます

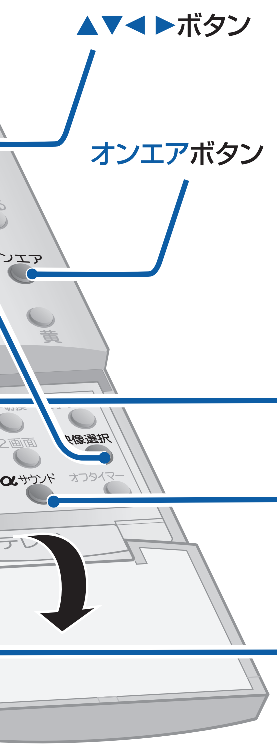
音の効果を選ぶ

サウンド効果 ● **を押す**

押すたびに切り換わります。

サウンド効果
- スタンダード
- ダイナミック
- リラックス
- ユーザー

スタンダード	バランスが取れた標準モード
ダイナミック	迫力のある音声に
リラックス	ナチュラルな音声に
ユーザー	お好みの音声に(☞65ページ)



臨場感のある音声にする

サラウンド効果を加え、より臨場感のある音声にします。

αサウンド ● **を押す**

押すたびに「入/切」します。

αサウンド
- 切り
- 入り

音声を切り換える

ステレオ/モノラル、主/副音声がある番組では、音声を切り換えられます。

音声切換 ● **を押す**

押すたびに切り換わります。

音声切換
- 主音声
- 副音声
- 主＋副音声

番組によって切り換えられる音声は異なります。

便利な機能を使う（つづき）

画面サイズを変える

いろいろな画面サイズで映像を楽しめます。

画面サイズ

を押す

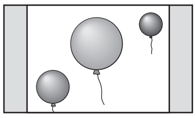
押すたびに切り換わります。
しばらくすると設定画面が消えます。

例:地上アナログ放送のとき

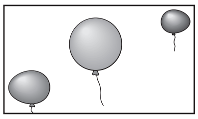
画面サイズ
パノラマ
字幕パノラマ
シネマ
フル
ノーマル

画面サイズの種類

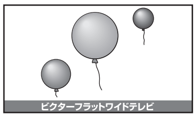
ノーマル
オリジナルサイズ(4:3)で見るとき



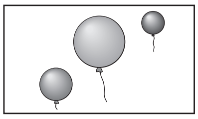
パノラマ
自然に拡大して見るとき



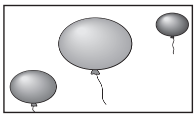
字幕パノラマ
字幕入りの映画番組を見るとき



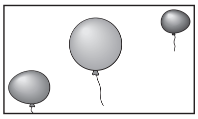
シネマ
映画番組を見るとき



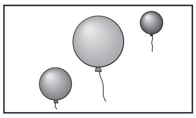
フル
画面いっぱいに拡大して見るとき



パノラマズーム
自然に拡大して見るとき



シネマズーム
映画番組を見るとき



- 映像によっては黒い帯が残ったりすることがあります。
- ご覧になっている放送や外部入力の映像信号によって、選べる画面サイズが異なります。

地上アナログ放送やビデオ､デジタル放送(525i､525p)のとき

画面サイズ
パノラマ
字幕パノラマ
シネマ
フル
ノーマル

デジタル放送(750p、1125i)のとき

画面サイズ
フル
パノラマズーム
シネマズーム

ご注意

テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ選択機能(パノラマ)等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので､ご注意ください。

2 つの番組を同時に楽しむ

異なる番組やビデオなどの映像を、2つの画面で同時に楽しめます。

2画面 を押す

それまで映っていた画面が左画面(操作画面)になります。◀▶ボタンで操作画面を切り換えます。操作画面のチャンネル表示には矢印が表示されます。

デジタル放送(1125i、525p、750p)の映像をご覧のとき

- 番組の予約が始まると、1画面に戻ります。録画予約の実行中は2画面になりません。
- 2画面を表示しているときは、データ放送などの操作ができません。
- 右画面では、デジタル放送の字幕、文字スーパー、独立データ放送などのデータ放送、各種メッセージは表示されません。
- 2画面を表示しているときに入力を切り換えるときは、リモコンの**入力切換**ボタンを繰り返し押します。本体の**入力切換**ボタンを押すときと同様に切り換わります (☞34ページ)
- 2画面を表示しているときは、デジタル放送を**番号入力**ボタンで選べません。

1画面に戻すには

オンエアボタンを押します。左画面の映像が1画面になります。

2画面で見ることができる組み合わせ

左画面＼右画面		テレビ 地上アナログ・CATV	テレビ 衛星デジタル	テレビ 地上デジタル	i.LINK入出力	ビデオ1 映像・S映像入力	ビデオ1 D4映像入力	ビデオ2 映像入力	ビデオ2 コンポーネント映像入力	ビデオ3	ビデオ4	HDMI1	HDMI2
テレビ	地上アナログ·CATV	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×
テレビ	衛星デジタル	○	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×
テレビ	地上デジタル	○	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×
i.LINK入出力		○	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×
ビデオ1	映像·S映像入力	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	×	×
ビデオ1	D4映像入力	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	×	×
ビデオ2	映像入力	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×
ビデオ2	コンポーネント映像入力	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×
ビデオ3		○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	×
ビデオ4		○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×
HDMI1		○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×
HDMI2		○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×

お知らせ

- ビデオ3入力のPC入力端子からの映像は2画面で表示できません。他の入力端子(コンポーネント映像、映像)も接続しているときは、入力端子の優先順に表示されます。
- HDMI1入力端子、HDMI2入力端子からの映像は、右画面で表示できません。

メモリーカードで写真や動画を見る(HD-70MH700のみ)

メモリーカードに記録したデジタルカメラの写真や、ビクター製ハードディスクムービー “Everio”(エブリオ)で記録した動画を再生できます。

お使いになれるメモリーカードの種類

お使いになれるメモリーカードは以下の通りです。
SD メモリーカード、“メモリースティック”*1、xD-ピクチャーカード、マルチメディアカード、マイクロドライブ ハードディスク、コンパクトフラッシュ
*1 “メモリースティック PRO”には対応していません。

ご注意
- 指定のメモリーカード以外は使用しないでください。故障や破損の原因になります。
- 本章の内容をよくお読みになって操作してください。操作が適切でない場合、記録されたデータ、または本機やメモリーカードが故障したり破損するおそれがあります。
  操作が適切でなかった場合の故障や破損について、当社はいかなる責任も負いません。
- 本機は、メモリーカードにアダプターを装着してのご使用について、動作を保証していません。

動作確認済みメモリーカード

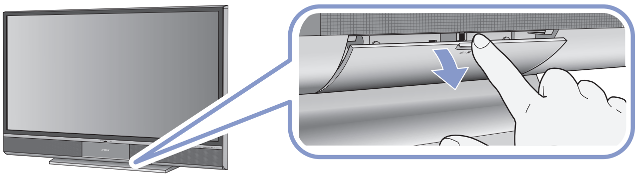
メモリーカードの種類	主なメーカー	メモリーカードの容量
マイクロドライブ ハードディスク*2	日立	2GB、4GB
SD メモリーカード	松下	128MB、256MB、512MB、1GB
	LEXAR	128MB
	SanDisk	32MB、64MB、128MB、256MB
コンパクトフラッシュ	LEXAR	512MB、1GB
xD-ピクチャーカード	オリンパス	256MB
	富士フィルム	32MB、64MB、128MB
“メモリースティック”	SONY	64MB、128MB

*2ビクター製ハーディスクムービーで使用できるマイクロドライブ ハードディスクのみ、動作を確認しています。
- 上記以外のメモリーカードを入れると、動作しない、またはデータが破損することがあります。
- 上記のメモリーカードでの動作を完全に保証するものではありません。

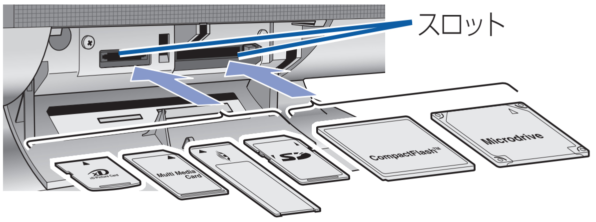
メモリーカードを使う

メモリーカードを入れる

本体前面のカバーを開く



メモリーカードを入れる



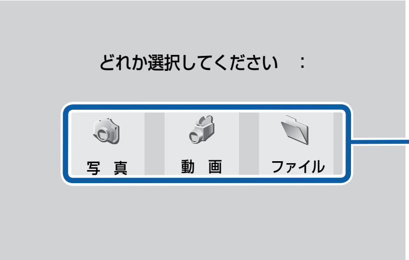
メモリーカードを奥まで挿入します。
「ドアを閉めると操作できます」と画面に表示されます。
- 左図をよくご覧になり、スロットを間違えないように入れてください。
- メモリーカードを無理に押し込まないでください。スロットやカードの方向を確認し、入れ直してください。

本体前面のカバーを閉じる
メモリーカード画面が表示されます。

メモリーカードを再生する へつづく

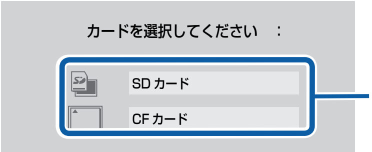
メモリーカードを再生する

メモリーカード画面



◀▶で操作する項目を選び、決定で決定する

メモリーカードを2枚同時に入れたとき



▲▼で再生するカードを選び、決定で決定する

メモリーカードを読み込めなかったとき
「カードがありません」と表示されます。メモリーカードを入れ直し、カバーを閉めてください。

再生できるファイルが見つからなかったとき
「ファイルがありません」と表示されます。

- メモリーカードにたくさんのファイルが記録されているときは、表示するまでに時間がかかることがあります。

▼

メモリーカードを再生する
「メモリーカード画面の使いかた」(☞58ページ)をご覧になり、再生してください。

▼

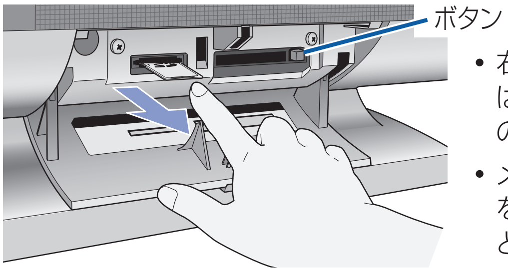
オンエアを押して終了する

メモリーカードを取り出す

本体前面のカバーを開く

▼

メモリーカードを取り出す



- 右側のスロットからメモリーカードを抜くときは、ボタンを押してカードを取り出します。左側のスロットは、メモリーカードを押します。
- メモリーカード画面の動作中にメモリーカードを取り出さないでください。データが破損することがあります。

▼

本体前面のカバーを閉じる

お知らせ
ホームメニューで「メモリーカード」を選んで表示することもできます。

メモリーカード画面の使いかた

ご注意

- メモリーカード画面の動作中は、電源コードを抜かないでください。データが破損することがあります。
- メモリーカード画面に異常が発生したときは、メモリーカードを取り出し、本体の**チャンネルー**ボタンと**入力切換**ボタンを同時に5秒以上押し続けてください。電源が切れ、ランプ/録画予約ランプが消えます。その後、電源を入れ直してください。

▲▼◀▶ボタン
決定ボタン

戻るボタン
再生を止める

オンエアボタン
メモリーカード画面を終了する

写真を見る(スライドショー再生)

◀▶で「写真」を選び、決定 で決定する

動画を見る

◀▶で「動画」を選び、決定 で決定する

ファイルを選ぶ

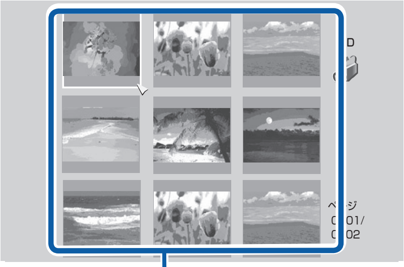
◀▶で「ファイル」を選び、決定 で決定する

読み込めるカードのファイルフォーマット

下記に記載された形式以外のファイルは本機で再生できません。また、記載された形式のファイルでも再生できない場合があります。

画像の種類	ファイル形式	規格	圧縮形式	サイズ(ピクセル) /フレーム	拡張子
写真	JPEG	Exif 2.0、JFIF、DCF 2.0	JPEG	160 × 120 ～ 2560 × 1920	JPG、jpg、JPEG、jpeg
動画	MPEG-2-PS*1	SD-VIDEO	映像:MPEG-2-PS 音声:ドルビーデジタル*2	720 × 480 / NTSC 352 × 240 / NTSC	MOD、mod
	MPEG-4*3	SD-VIDEO ASF	映像:MPEG-4 シンプルプロファイル 音声:G.726	352 × 288 / 30フレーム 240 × 176 / 15フレーム 160 × 120 / 5フレーム	ASF、asf

*1 マイクロドライブ ハードディスク/コンパクトフラッシュ用スロットのみ、MPEG-2-PSファイルに対応しています。またビクター製ハードディスクムービー “Everio”で記録されたMPEG-2-PSファイルのみ再生できます。
*2 ドルビーデジタル形式以外の音声データは再生できません。
*3 MPEG-4ファイルは正しく認識または再生できないことがあります。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



▲▼◀▶で最初に表示する写真を選び、決定で決定する

スライドショー再生が始まります。

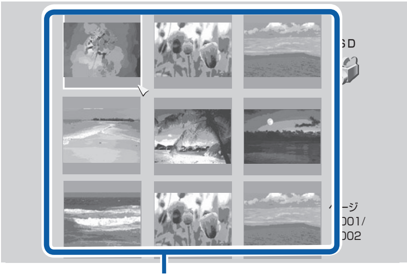
再生を一時停止するときは
決定ボタンを押す。もう一度押すと、再開します。

写真を回転するときは
決定ボタンを押して一時停止し、▲▼で回転する。

前または次の写真を見るときは
◀▶を押す。

再生を止めるには
戻るを押す。

• 写真は、ファイル名のアルファベット順に表示されます。
• 写真の大きさは自動で調節されます。（画面サイズ機能は働きません。）
• 表示する時間は変更できません。
• 写真を回転した状態で、メモリーカードに保存することはできません。



▲▼◀▶でファイルを選び、決定で決定する

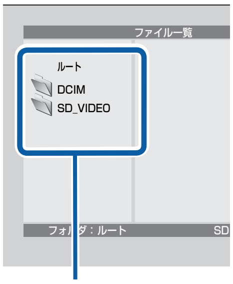
再生が始まります。

再生を一時停止するときは
決定ボタンを押す。もう一度押すと、再開します。

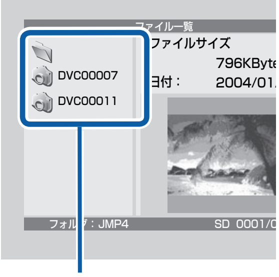
再生を止めるには
戻るを押す。

巻き戻し、早送りするときは
◀▶を押す。

• 動画は、ファイル名のアルファベット順で順番に再生されます。
• 画像の大きさは、録画したときの画像サイズによって異なります。（画面サイズ機能は働きません。）



▲▼でフォルダを選び、決定で決定する



▲▼でファイルを選び、決定で決定する

再生が始まります。

再生を一時停止するときは
決定ボタンを押す。もう一度押すと、再開します。

再生を止めるには
戻るを押す。

• 一つ前のフォルダに戻るには、▲を押して一番上のフォルダを選び、決定ボタンを押します。
• ファイル名のアルファベット順に写真や動画が再生されます。
• 再生/一時停止/停止以外の操作はできません。
• 異なる形式のファイルが同じフォルダに入っている場合、正しく再生できないことがあります。ファイル形式ごとに分けてフォルダに入れるようにしてください。

お知らせ

• 写真を表示する間隔は、画像サイズによって異なります。またスライドショー中は画像が乱れることがあります。
• フォルダ名やファイル名はアルファベットで8文字まで表示されます。日本語表示はできません。
• 形式が異なるファイルの再生が始まるときに画像が乱れることがあります。
• 本機ではMotion JPEG（MOV）ファイルを再生できません。
• 日付情報がデータに記録されていない場合は、日付を表示しません。
• パソコン上で編集/保存されたデータは正しく再生できないことがあります。

ホームメニューで情報を確認する

ホームメニューからいろいろな情報を確認することができます。重要なお知らせも含まれていますので、必ずご確認ください。

▲▼◀ ▶ボタン
決定ボタン

ホームメニューボタン

戻るボタン
前の画面に戻る

オンエアボタン
調節を終了する

お知らせ

- BS･110度CSアンテナが接続されていないとデータを取得できず、検索できません。
- ホームメニューは、外部入力を表示しているときははたらきません。

ホームメニューの使いかた

1 ホーム メニュー でホームメニューを表示する

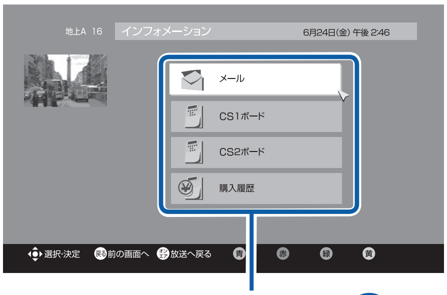
2

トピックスを見る

放送局からの情報や購入記録を見る

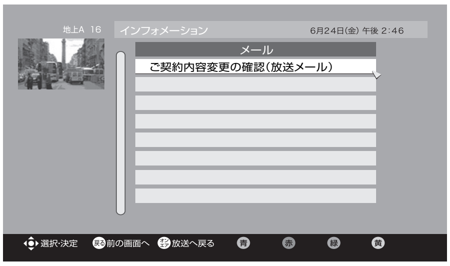
◀▶▲▼ で選び、決定で決定する

3 例:「インフォメーション」を選んだ場合



▲▼で表示する項目を選び、決定で決定する

4

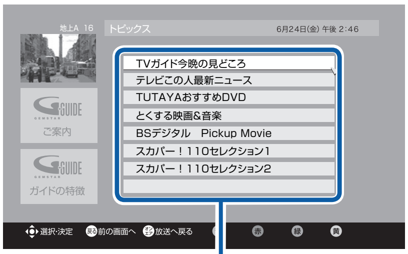


内容を確認する

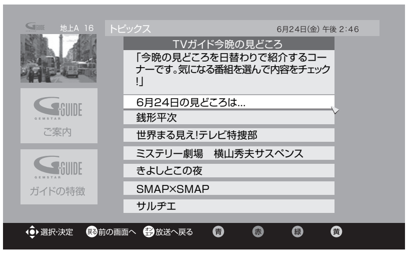
5 オンエア で終了する

トピックスを見る

放送局から送られてくるいろいろな映画やスポーツ、音楽などの情報トピックスを見ることができます。



▲▼ で選び、決定 で決定する



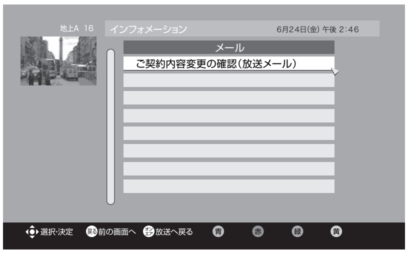
内容を確認する

放送局からの情報や購入記録を見る

放送局から送られてくるいろいろな情報や、購入した有料番組の記録などを確認できます。

▲▼ で選び、決定 で決定する

項目名	内容	操作のしかた
メール	放送局から送られてくる情報や、本機の機能向上を行うダウンロード情報(☞70ページ)などを確認します。重要なお知らせが含まれていますので、定期的に目を通すようにしてください。新しく着信したメールには「NEW」が表示されます。 • メールが着信すると、「メールがあります」と画面に表示されます。メールの内容を確認すると表示が消えます。	▲▼で確認したい項目を選んで、**決定**ボタンを押し、内容を確認します。
CS1ボード CS2ボード	110度CSデジタル放送局から送られてくる情報や、ご案内などを確認できます。重要なお知らせが含まれていますので、定期的に目を通すようにしてください。	▲▼で確認したい項目を選んで、**決定**ボタンを押し、内容を確認します。
購入履歴	購入した有料番組の購入日や番組名、金額などの履歴(最近の24番組について)を確認することができます。また、累計金額をリセットすることができます。	▲▼で「購入履歴クリア」を選んで**決定**ボタンを押すと、累計金額が0円に戻ります。



内容を確認する

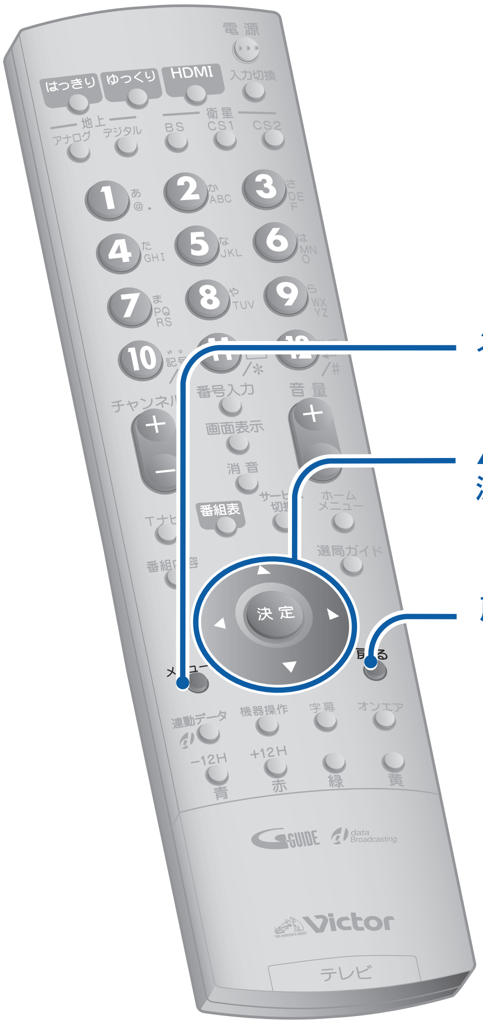
ご注意

- B-CASカードが挿入されていないと放送メールを受信する事ができません。B-CASカードは本機に異常が発生しない限り抜かないでください。
- 放送メールは2種類あります。放送局からのメールは31通、本機からのメールが8通まで保存できます。それぞれの件数を超えると、古いメールから自動的に削除されます。
- 電話回線の通信異常検知の放送メールが届いたときは、電話回線の接続や設定が正しいかどうか確認してください(☞18,71ページ)。電話回線の接続や設定に問題がない場合は、PPV(ペイ・パー・ビュー)の契約をしている放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

メニューの設定

お好みの映像に調節する

映像調節メニューを使って、お好みの映像に調節できます。



メニューボタン

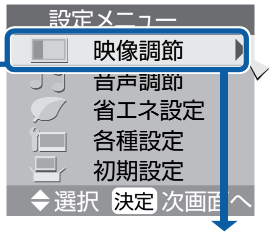
▲▼◀▶ボタン
決定ボタン

戻るボタン
前の画面に戻る

調節・設定のしかた

1 メニュー で設定メニューを表示する

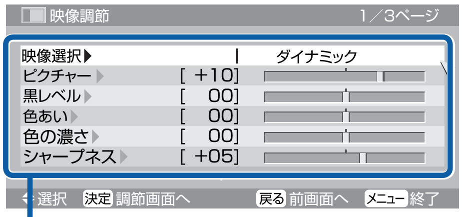
2



お好みの映像に調節する

▲▼で「映像調節」を選び、決定で決定する

3



▲▼で調節する項目を選び、決定で決定する

4 例：「ピクチャー」を選んだ場合

◀▶で調節する

例：「ノイズクリア」を選んだ場合

▲▼で調節する

5 メニュー で終了する

映像調節 ー お好みの映像に調節する

項目名	内容	設定値
映像選択	4種類の画質からお好みの画質を選びます。（「画質を選ぶ」☞52ページ）	スタンダード、ダイナミック、シアター、ゲーム
ピクチャー	明るさ、色の濃さを決めます。	薄く ↔ 濃く
黒レベル	見やすい明るさにします。	暗く ↔ 明るく
色あい 色の濃さ	お好みの肌色に調節します。（交互に調節）	赤っぽく ↔ 緑っぽく 薄く ↔ 濃く
シャープネス	好みの輪郭にします。 「映像選択」が「シアター」のときは働きません。	やわらか ↔ くっきり
オートピクチャー	映像にあわせて、画面全体の明るさを、目にやさしい明るさに自動的に調節します。 「映像選択」が「ダイナミック」のときは働きません。	切り ↔ 入り
インテリジェントガンマ	明るい映像も暗い映像も、質感を保ちながら鮮やかに再現します。	切り ↔ 入り
ノイズクリア	画面のざらつきが少なくなるように調節します。	切り ↔ 弱い ↔ 強い ↔ 自動
MPEG NR	MPEG画像のノイズ（モスキートノイズ、デジタル入力時のブロックノイズ）を減らします。	切り ↔ 入り
DCC(DETカラークリエーション)*	くすんだ色を自然な色調に補正します。	標準 ↔ 弱い
色温度	画面の色調を選びます。	高い色温度（青が強い） ↔ 低い色温度（赤が強い）
シアタープロ設定	さらに細かい映像の調節をします。 「映像選択」が「シアター」のときのみ調節できます。	**シアタープロ設定**メニュー（☞下記）を参照
映像調節を標準に戻す	お買いあげ時の設定に戻します。	**決定**ボタンで決定する。

お知らせ

「映像選択」で選んだ画質を、お好みに合わせて調節できます。4種類の画質を別々に調節できます。

シアタープロ設定

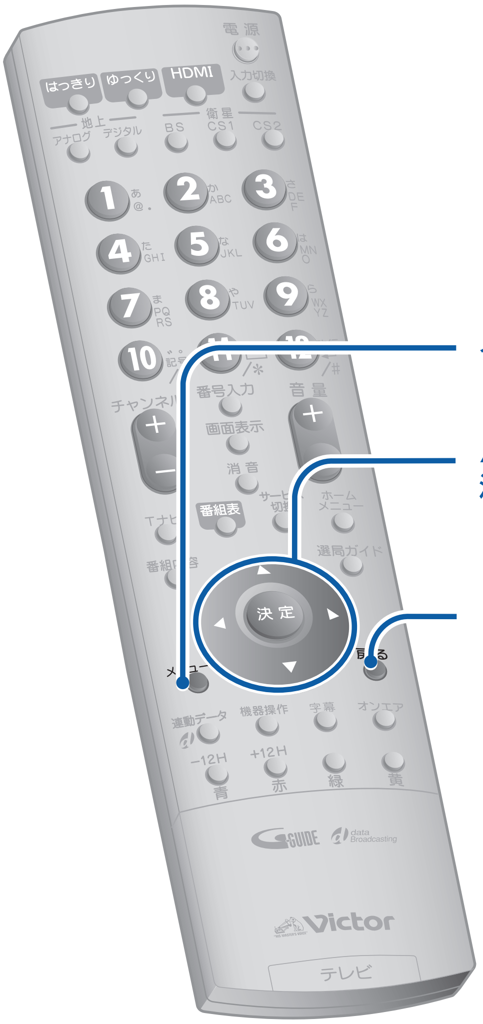
項目名	内容	設定値
DSDエッジ	映像の輪郭をきちんと見せる効果があります。	輪郭をつけない　輪郭をつける －30 ～ +30
Hシャープネス Vシャープネス	輪郭を強調してはっきりとした映像にします。（交互に調節）	輪郭を強調しない　輪郭を強調する －30 ～ +30
DSDコアリング	画面のざらざら感（ノイズ）を抑えます。	あまりノイズを除去しない　よりノイズを除去する －5 ～ +5
色温度 赤 色温度 青 色温度 緑	画面全体の色（赤味、青味、緑味）を交互に調節します。	赤を弱くする －30 ～ +30 赤を強くする 青を弱くする －30 ～ +30 青を強くする 緑を弱くする －30 ～ +30 緑を強くする
色バランス	肌色以外の色が自然な色になるように青みを調節します。	青みを弱くする　青みを強くする －5 ～ +5
＊　DCCが「標準」のときは、DETカラークリエーションでさらに細かく調節できます。		
DCC赤色・黄色・緑色・水色 色選択	DCCで補正する色を選びます。	－30 ～ +30
DCC赤色・黄色・緑色・水色 色あい	「DCC色選択」で指定した色の色あいを調節します。	－15 ～ +15
DCC赤色・黄色・緑色・水色 色の濃さ	「DCC色選択」で指定した色の濃さを調節します。	－30 ～ +30
明部:色の濃さ	黄色や緑色などの明るさ成分の高い色の濃さを調節します。	－15 ～ +15
暗部:色の濃さ	赤色や青色などの明るさ成分の低い色の濃さを調節します。	－15 ～ +15
シアタープロ設定を標準に戻す	お買いあげ時の設定に戻します。	**決定**ボタンで決定する。

お知らせ

- 通常は、お買い上げ時のままで十分な画質になるように設定されています。
- 設定できる項目は、微妙な調節を行うために専門的な内容になっています。調節するときは、少しずつ設定値を変更して変化を確認しながら、設定項目の内容を把握されることをおすすめします。
- 「DCC色選択」の調節中は、選ばれた色がグレーで表示されます。

お好みの音声に調節する・省エネ設定をする

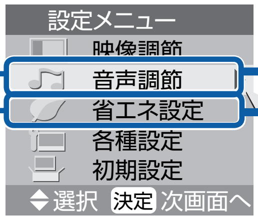
音声調節メニューを使って、お好みの音声に調節できます。
また、省エネ設定メニューを使って、省エネ機能の設定ができます。



調節・設定のしかた

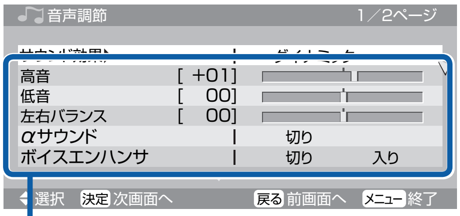
1 メニュー でメニューを表示する

2



▲▼で選び、決定 で決定する

3 例:「音声調節」を選んだ場合



▲▼で調節する項目を選び、決定 で決定する

4 例:「高音」を選んだ場合

◀▶で調節する

例:「ハイパーバス」を選んだ場合

▲▼で調節する

5 メニュー で終了する

音声調節 ー お好みの音声に調節する

項目名	内容	設定値
サウンド効果	4種類のサウンド効果からお好みの効果を選びます。(「音の効果を選ぶ」 ☞53ページ)	スタンダード、ダイナミック、リラックス、ユーザー
高音	高い音の強さを調節します。	弱く ↔ 強く
低音	低い音の強さを調節します。	弱く ↔ 強く
左右バランス	左右の音量を調節します。	左側が大きく ↔ 右側が大きく
αサウンド	臨場感のある音にします。	切り ↔ 入り
ボイスエンハンサ	原音に忠実で聞きやすい音を再現します。	切り ↔ 入り
ハイパーバス	重低音を強調したいときや小さな音量で聞くときに使います。	切り ↔ 弱い ↔ 強い
音声調節をサウンド効果(ユーザー)に記憶する	音声調節の設定値を、サウンド効果の「ユーザー」に記憶させます。	調節した内容を、サウンド効果の「ユーザー」に記憶する。
音声調節を標準に戻す	お買いあげ時の設定に戻します。	決定ボタンで決定する。

お知らせ
- 「サウンド効果」で選んだ効果を、お好みに合わせて調節できます。
- 「サウンド効果」が「ユーザー」に設定されているときに音声調節を行うと、設定値は自動的にユーザーモードに記憶されます。
- 「サウンド効果」を切り換えると、スタンダード、ダイナミック、リラックスの設定値はお買い上げ時の設定に戻ります。

ご注意
きき楽機能(はっきりトーク、ゆっくりトーク)をお使いのとき、αサウンドの効果は出ません。

省エネ設定 ー 省エネのための設定をする

項目名	内容	設定値
無信号電源オートオフ	放送終了後やビデオの再生終了後、約4分経過すると自動的に電源を切るように設定します。	切り ↔ 入り
テレビ消し忘れ防止設定	何も操作しない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れるように設定します。	切り ↔ 入り

メニューの設定(つづき)

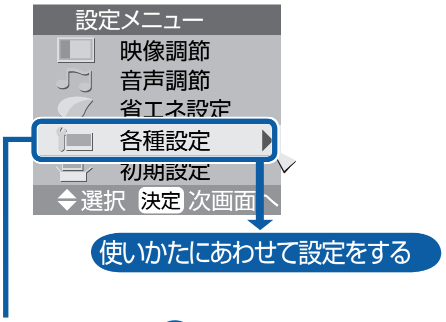
使いかたにあわせて設定をする

各種設定メニューを使うと、画面の位置やサイズ、外部機器など、使いかたにあわせた設定ができます。

設定のしかた

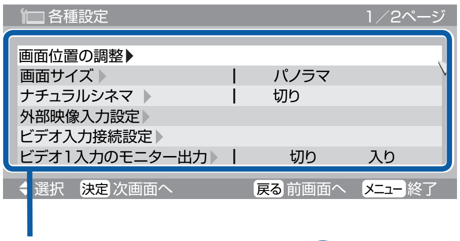
1 メニュー でメニューを表示する

2



▲▼で選び、決定 で決定する

3

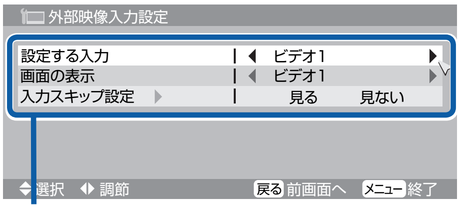


▲▼で設定する項目を選び、決定 で決定する

4 例:「ナチュラルシネマ」を選んだ場合

▲▼で調節する

例:「外部映像入力設定」を選んだ場合



▲▼で設定する項目を選び、◀▶で調節する

5 メニュー で終了する

項目名	内容	設定値
画面位置の調整	画面の上下左右の位置を調節します。	◀▶▲▼で調整する
画面サイズ	映像を表示する画面サイズを選びます。(☞54ページ)	ノーマル、パノラマ、字幕パノラマ、シネマ、フル、パノラマズーム、シネマズーム
ナチュラルシネマ	フィルム撮影された映画などを、動きの速いところもぼんやり感のない映像で表示します。	切り ↔ 入り ↔ 自動
外部映像入力設定	外部入力端子につないだ機器の入力表示を設定します。	外部映像入力設定メニュー(☞下記)を参照
ビデオ入力接続設定	i.LINKまたはHDMIで接続した機器の入力設定をします。	ビデオ入力接続設定メニュー(☞下記)を参照
ビデオ1入力のモニター出力	ビデオ1入力の映像が乱れるときに、ビデオ1入力端子からの信号をモニター出力しないように設定します。	切り ↔ 入り
センターチャンネル入力	マルチチャンネル音声の番組やDVDソフトをご覧になるときに、本機のスピーカーをセンタースピーカーとして使うように設定します。	切り ↔ 入り
AVコンピュリンクⅢ端子	AVコンピュリンクⅢ端子使うための設定をします。	切り ↔ 入り
ランプの使用時間を0に戻す	ランプの点灯累計時間をリセットします。(☞94ページ)	いいえ ↔ はい

お知らせ

地上アナログ放送などでは「ナチュラルシネマ」を「入り」にすると、輪郭が二重になったり、不自然な映像になることがまれにあります。その場合は「ナチュラルシネマ」を「切り」にしてお使いください。

外部映像入力設定

項目名	内容	表示されるメニューと設定値
設定する入力	設定を変更する外部入力名を選びます。	ビデオ1～4、HDMI1、HDMI2
画面の表示	画面に表示される外部入力名を選びます。	ビデオ1～4、HDMI1、HDMI2、VTR、DVD、DVR1、DVR2、HDR、ムービー、CSデジタル、ゲーム
入力スキップ設定	リモコンの入力切換ボタンでその外部入力を選べるようにするかしないかを設定します。	見る ↔ 見ない

ビデオ入力接続設定

項目名	内容	表示されるメニューと設定値
i.LINK自動切換	D-VHSテープを再生すると、自動的にi.LINK入力に切り換わります。VHS/S-VHSテープを再生すると、設定したビデオ入力に自動的に切り換わります。自動切換を使わないときは「しない」を選びます。	しない、ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3、ビデオ4 (☞78ページ)
HDMI音声入力	HDMI1に接続した機器の音声を入力する方法を選びます。	アナログ ↔ 自動 ↔ HDMI (☞81ページ)
HDMI入力VGA判別	HDMI接続した機器の画面サイズを自動で切り換えるようにするかしないかを選びます。	自動 ↔ VGA (☞81ページ)

ご注意

「i.LINK自動切換」で設定した入力は、入力切換ボタンを押して選べなくなります。

メニューの設定(つづき)

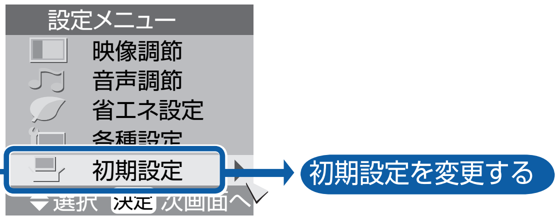
初期設定を変更する

受信に関する設定など本機の初期設定を変更するときは、初期設定メニューを使います。

設定のしかた

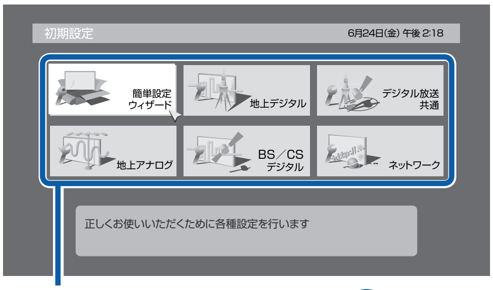
1 メニュー でメニューを表示する

2



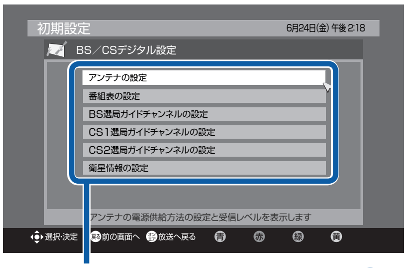
▲▼で選び、決定 で決定する

3



▲▼で設定する項目を選び、決定で決定する

4 例:「BS/CSデジタル」を選んだ場合



▲▼で設定する項目を選び、決定で決定する

5 ◀▶▲▼ で項目を選び、決定で決定し設定する

- メニューや項目によって操作が多少異なります。画面の指示をご覧になり操作してください。

6 メニュー で終了する

初期設定 ー 初期設定を変更する

項目名	内容	表示されるメニュー
簡単設定ウィザード	受信に必要な設定を自動で行ないます。(☞20ページ)	ー
地上アナログ	地上アナログ放送の設定をします。(☞24ページ)	ー
地上デジタル	地上デジタル放送の設定をします。(☞26ページ)	ー
BS/CSデジタル	BS/CSデジタル放送の設定をします。	**BS/CSデジタル設定**メニュー(☞下記)を参照
デジタル放送共通	本機に接続した機器に関する設定や安心してご使用いただくための設定をします。	**デジタル放送共通設定**メニュー(☞70ページ)を参照
ネットワーク	Tナビやデータ放送を使うための設定をします。	取扱説明書Tナビ編をご覧ください。

BS/CSデジタル設定

項目名	内容	設定値
アンテナの設定	衛星アンテナへの電源供給をするかしないかを設定します。	する(個別) ↔ しない(共聴)
番組表の設定	番組表を受信する放送局を設定します。	**番組表の設定**メニュー(☞下記)を参照
BS選局ガイドチャンネルの設定 CS1選局ガイドチャンネルの設定 CS2選局ガイドチャンネルの設定	リモコンのチャンネル数字ボタンで選局できる衛星デジタル放送のチャンネルを設定します。	登録したいリモコン番号と、登録するチャンネル番号を▲▼◀▶で選んで設定します。(☞33ページ)
衛星情報の設定	デジタル放送局から電波を受信するための設定をします。	通常は変更しないでください。

番組表の設定

Gガイド受信地域の設定	お住まいの地域に合わせて、番組表に表示する放送局を設定します。	Gガイド地域一覧表(☞101ページ)をご覧ください。
受信チャンネルの設定	番組表を受信する放送局を設定します。送信する放送局が変更されたときに、設定を変更します。	通常は変更しないでください。
Gガイド受信確認	番組データを受信する時刻を確認できます。BS･110度CSデジタルアンテナが接続されていないとデータが受信できません。	番組データを受信する時刻が表示されます。

お知らせ

「選局ガイド」(☞33ページ)の「BS」、「CS1」、「CS2」の設定は、お買い上げ時には下記のようにリモコンのチャンネル数字ボタンに設定されています。

テレビ

	BS		スカパー！110(CS1)		スカパー！110(CS2)	
❶	101	NHK1(NHK BS1)	001	スカパー！110プロモ	100	スカパー！110プロモ
❷	102	NHK2(NHK BS2)	990	生活スタイルTV	110	ワンテンポータル
❸	103	NHKh(NHK ハイビジョン)	025	BBC JAPAN	123	CS映画
❹	141	BS日テレ			300	日テレプラス
❺	151	BS朝日	055	ep055 チャンネル	250	アクティブ!スポーツ
❻	161	BS-i	──	──	160	C-TBSウェルカム
❼	171	BSJ(BSジャパン)	──	──	177	ショップチャンネル
❽	181	BSフジ	──	──	302	フジテレビ721
❾	191	WOWOW	091	CS-WOWOW	194	AQステーション
❿	200	スター(スター･チャンネル)	──	──	101	宝塚プロモチャンネル
⓫	──	──	──	──	──	──
⓬	──	──	──	──	──	──

初期設定 ー 初期設定を変更する(つづき)

デジタル放送共通設定

項目名	内容	設定値
年齢による視聴制限の設定*1	年齢による視聴制限を設定できます。視聴年齢を設定すると、制限の対象になる番組は、暗証番号を入力しない限り視聴することはできません。	1歳 〜 19歳、制限なし
接続録画機器の設定	外部入力端子につないだ機器のメーカーを設定します。録画機器が自動で動作するように設定します。	ビデオリモートコントローラーを設定する(☞75ページ)を参照
お知らせ音の設定	お知らせ音の音量を設定します。	なし ↔ あり:音量小 ↔ あり:音量大
暗証番号の設定*1	視聴制限を設定･解除するための暗証番号を変更します。	4桁の暗証番号を入力する
B-CASカード番号の表示	カスタマーセンターへ問い合わせる際など、B-CASカードの番号などを調べる必要があるときに、B-CASカードの情報を確認できます。	ー
自動ダウンロードの設定*2	機能の追加やサービスへの対応のためのプログラムのダウンロードを自動で行うかどうかを設定します。	する ↔ しない
録画映像の設定	本機の映像出力から出力される映像信号のサイズを設定します。	テレビ用 ↔ ワイドテレビ用
光デジタル音声出力の設定	接続している機器にあわせて、光デジタル音声信号の種類を設定します。	2CH リニアPCM ↔ AAC
文字スーパーの設定	文字スーパー表示の有無や表示言語を選択します。	日本語で表示 ↔ 英語で表示 ↔ 表示しない
県域の設定	お住まいの都道府県を設定します。	表示される都道府県名から選ぶ
郵便番号の設定	郵便番号を設定します。	**1**〜**10**ボタンで郵便番号を入力する
電話の設定	電話回線の接続に関する設定をします。	**電話の設定**メニュー(☞71ページ)を参照
i.LINK待機の設定	本機の電源が「切」の状態でi.LINK機器から信号を受けたときの設定をします。	しない ↔ する
設定のリセット	各種調整･設定値を工場出荷時の設定に戻します。また、個人情報を消去できます。	**設定リセット**メニュー(☞71ページ)を参照

***1 暗証番号設定について**

視聴制限を設定するには、あらかじめ暗証番号を登録しておく必要があります。

- **初めて暗証番号設定メニューを選んだとき**
  「暗証番号の設定」画面が表示されます。
  画面の指示に従って、4桁の暗証番号を登録してください。登録した暗証番号はメモをしておいてください。
- **暗証番号の登録をしたあとで、暗証番号設定メニューを選んだとき**
  「暗証番号の入力」画面が表示されます。
  画面の指示に従って、4桁の暗証番号を入力してください。

ご注意

- 暗証番号を入力しても、画面上には「****」と表示されます。
- 暗証番号を忘れてしまったときは、「個人情報消去」(☞71ページ)を行なって、新しく設定することができます。ただし、個人情報を消去すると、すべての個人情報が消去されてしまうので、ご注意ください。

***2 自動ダウンロードの設定について**

お知らせ

- ダウンロードは、電源が「切」の状態でないと実行されません。電源プラグを抜かず、電源ボタンで電源を切っておいてください。
- ダウンロードが終了すると、放送メールでダウンロードの実行結果が届きます。(☞61ページ)

ご注意

「する」を選んでいても、プログラムによってはダウンロードをするかしないかを選び、決定する必要があります。以下の手順でダウンロードしてください。「しない」を選んでいたときも同様です。

1. 「メール」を表示する(☞60ページ)
2. ▲▼でダウンロードのお知らせについてのメールを選び、**決定**ボタンを押す
3. メールの内容を確認し、◀ ▶で「はい」を選び、**決定**ボタンを押す(電源が「切」になると、自動的にダウンロードされます。)

電話の設定

項目名	内容	表示されるメニューと設定値
電話回線の種類	電話回線の種類を設定します。（通常は「自動」に設定します）	自動、ダイヤル回線（10PPS）、ダイヤル回線（20PPS）、プッシュ回線
外線発信番号の設定	外線に電話をするときに0発信などが必要な電話回線に本機をつないでいるときに設定します。	外線発信番号を入力して設定します。
ダイヤルポーズの設定	外線発信番号を出力後の、休止時間挿入を設定します。	する ↔ しない
ダイヤルトーン検出の設定	電話の発信時の、ダイヤルトーン検出を設定します。	する ↔ しない
B-CASセンター接続の設定	B-CASカード情報や有料番組購入情報などの、センターへの自動送信を設定します。	自動 ↔ 切り
番号通知の設定	電話番号の通知を設定します。	なし ↔ 通知する ↔ 通知しない
電話会社の設定	接続する電話会社を設定します。	電話会社を入力して設定します。
電話のテスト	電話回線が正しく設定されているかテストします。	―
終了	電話の設定を終了します。	―

お知らせ

- 「電話回線の種類」で「自動」に設定して電話テストに失敗する場合は、ご使用の電話回線に合わせて他の設定を選んでください。
- お使いの電話回線の設定にご不明の点があるときは、電話会社にお問い合わせください。
- 「電話会社の設定」に番号が登録されていないときは、「マイラインプラス」は設定できません。

設定リセット

項目名	内容	設定値
設定項目リセット	各種調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。	いいえ ↔ はい
個人情報消去	本機を初期化して、本機に記録されている視聴履歴などの個人情報をすべて消します。	いいえ ↔ はい

ご注意

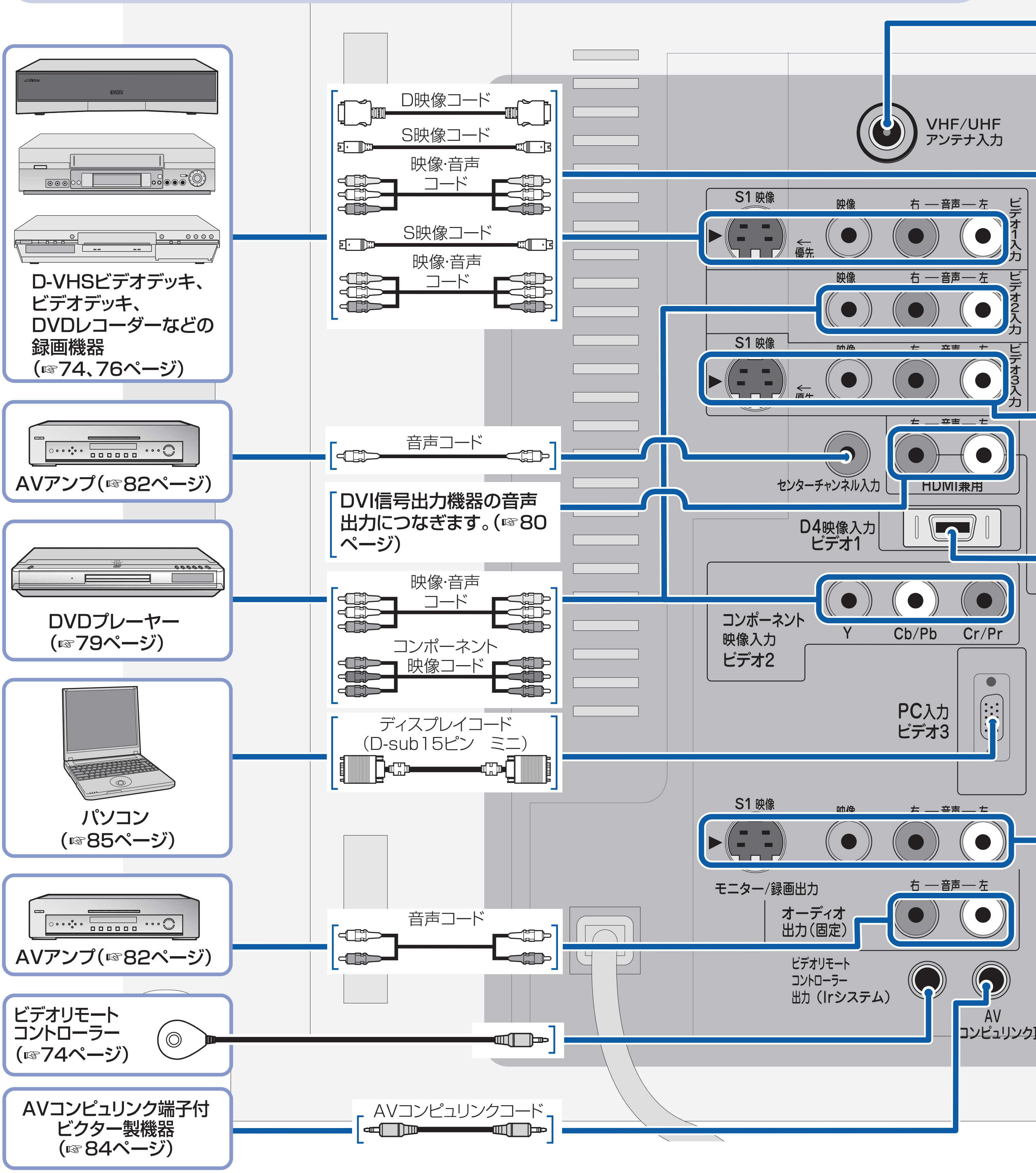
- 正常に受信または通信できているときは、「設定項目リセット」を行わないでください。受信できなくなる場合があります。
- 「個人情報消去」を行うときは、消去が終わるまで電源の「入/切」などの操作を行わないでください。消去終了のメッセージが画面に表示された後、電源ボタンを押して電源を切り、ランプ/録画予約ランプの点滅が終わってから電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機を他人に譲渡したり廃棄する際は、お客さまのプライバシーを保護するために、必ず「個人情報消去」を行ってください。

接続できる機器

本体後面の端子と、接続できる機器の一例です。詳しい接続の説明は、各ページをご覧ください。

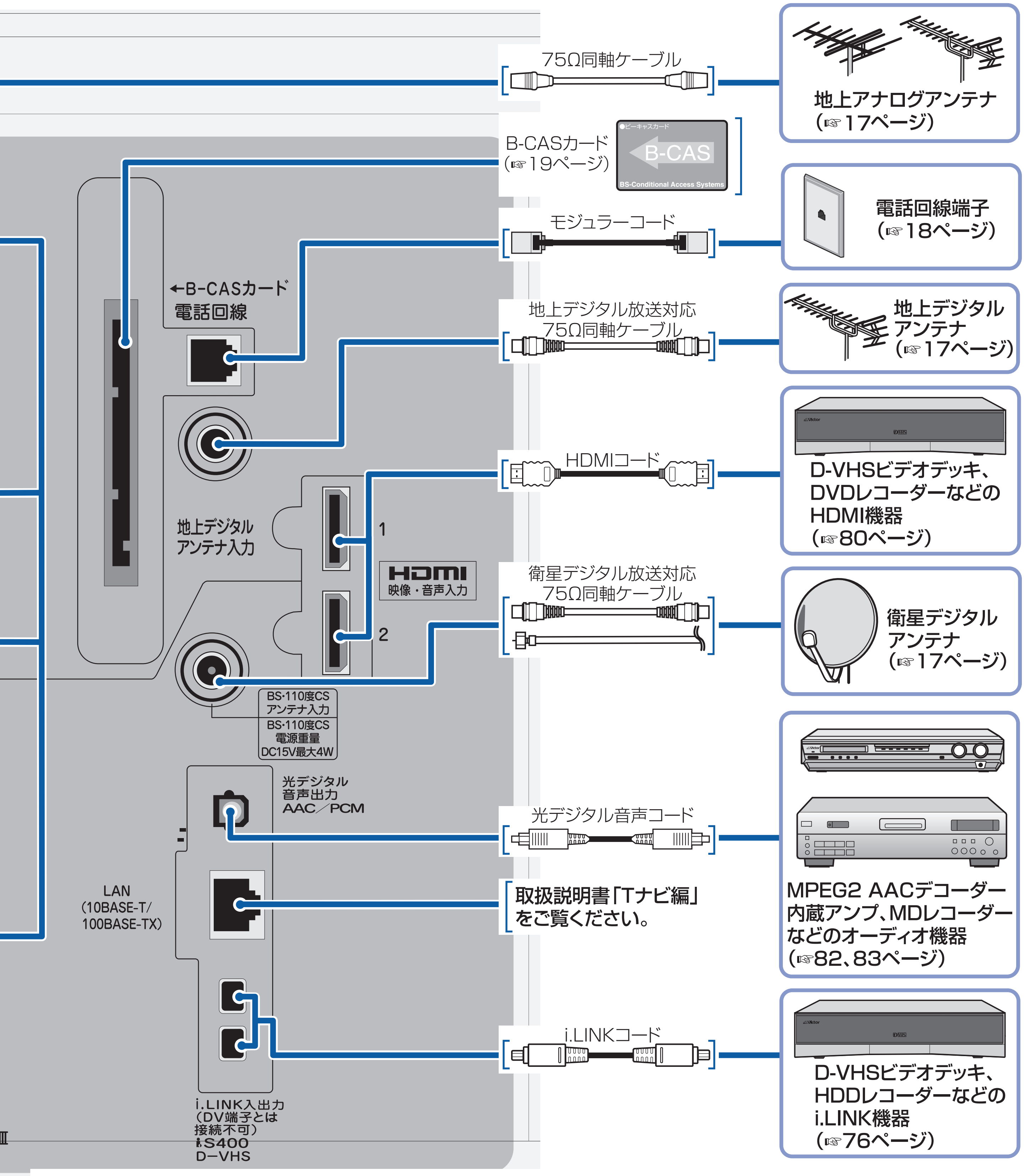
ご注意

- 接続が終わるまで、電源コードはコンセントから抜いておいてください。
- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
- 接続コードのプラグはしっかり奥まで差し込んでください。



お知らせ

- お手持ちの機器にS映像入出力端子があるときは、S映像コードでの接続をおすすめします。映像端子よりも鮮明な映像で録画または再生できます。
- お手持ちの機器にD映像出力やコンポーネント映像出力があるときは、D映像コードまたはコンポーネント映像コードでの接続をおすすめします。映像端子やS映像端子よりも鮮明な映像で再生できます。



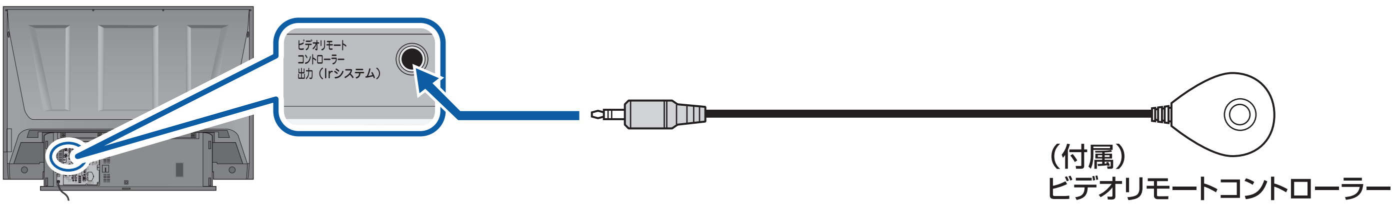
モニター /録画出力端子について

- ビデオ1 D4映像入力端子やビデオ2 コンポーネント映像入力端子から入力された映像信号は出力されません。
- 2画面を表示中は、左画面の映像と音声が出力されます。
- 番組表やメニューなどは出力されません。
- 独立データ放送の録画中に番組表などを表示させると、正常に録画されません。
- 地上アナログ放送の映像や、ビデオ1からビデオ4入力の映像入力端子からの信号は、S1映像出力端子から出力されません。
- ビデオ3 PC入力端子からの信号は出力されません。
- 音声出力端子から出力される音声に、きき楽機能(はっきりトーク、ゆっくりトーク)の効果は出ません。
- HDMI端子からの映像·音声信号は出力されません。
- 音声入力(HDMI兼用)端子からの音声信号は出力されません。

録画機器をつなぐ（ビデオリモートコントローラー）

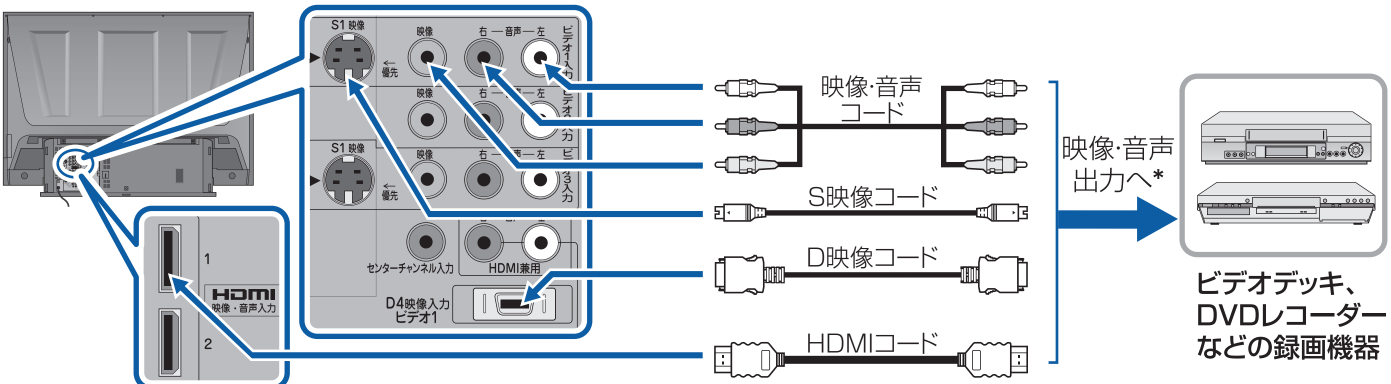
ビデオリモートコントローラー（Irシステム）を本機に接続すると、本機とビデオデッキなどの録画機器を連係させて録画予約をすることができます。（「録画予約する（ビデオリモートコントローラー）」☞42ページ）

ビデオリモートコントローラーの接続



ビクター製ビデオリモートコントローラー端子のあるDVDレコーダーなどの録画機器をお使いのときは、ミニプラグコード（別売）で接続することをおすすめします。

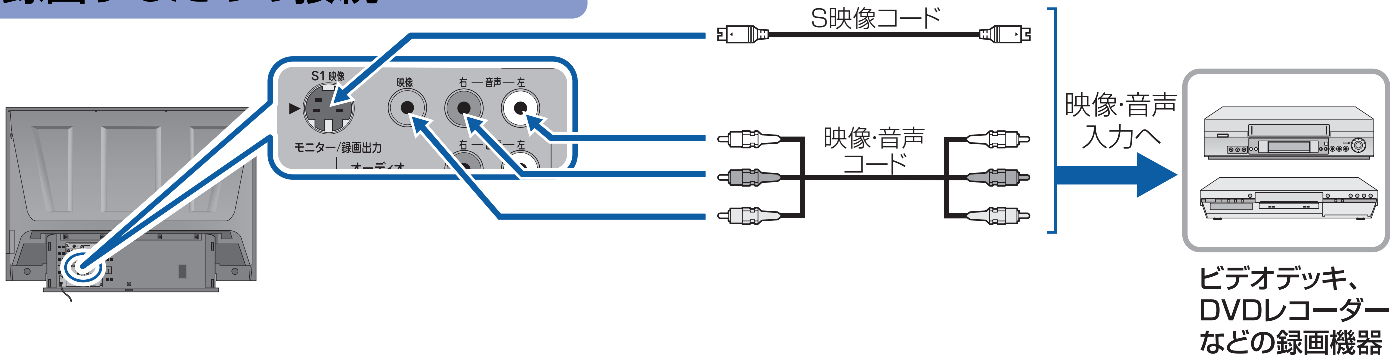
再生するための接続



「HDMI機器をつなぐ」（☞80ページ）をご覧ください

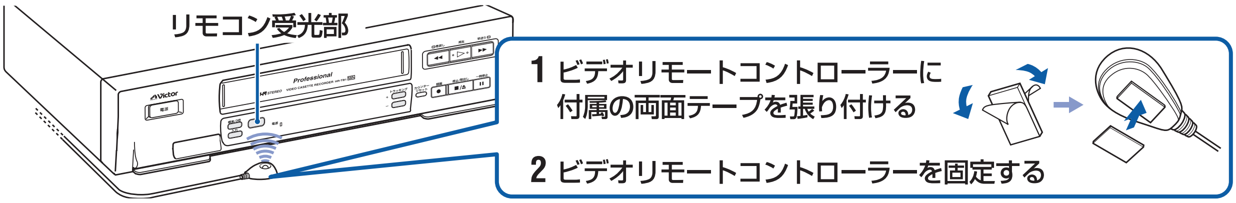
* HDMI入力を見るときは、入力を「HDMI」に切り換えてください。（「入力を切り換える」☞34ページ）
HDMI以外のコードをお使いの場合、接続した機器から本機への映像入力は、D映像コード＞S映像コード＞映像コード、の順に優先されます。お使いの録画機器にあわせてコードをつないでください。

録画するための接続



ビデオリモートコントローラーの設置

録画機器の取扱説明書をご覧になって、リモコン受光部の位置をお確かめください。



- ビデオリモートコントローラーを設定する際は、録画機器の電源を切り、リモコンで操作できるようにしてください。（設定のある録画機器のみ）
- ビデオリモートコントローラーの設定は録画機器が予約待機中や予約録画の実行中でないときに行ってください。

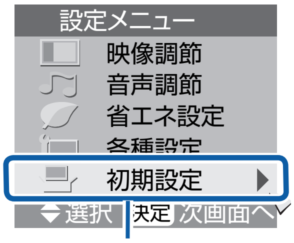
ビデオリモートコントローラーを設定する

ビデオリモートコントローラー（Irシステム）を使って予約録画をするには次の設定が必要です。

設定メニューを表示する

メニュー で

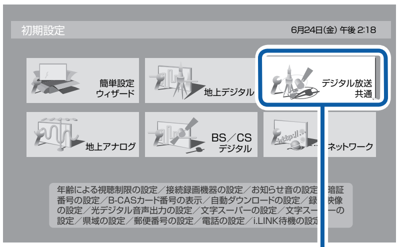
設定メニューを表示する



▲▼で

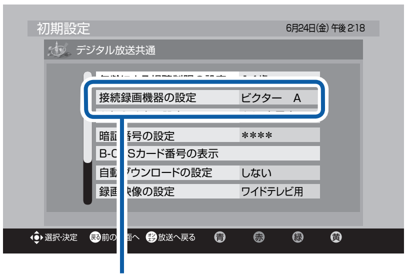
「初期設定」を選び、

決定 で決定する



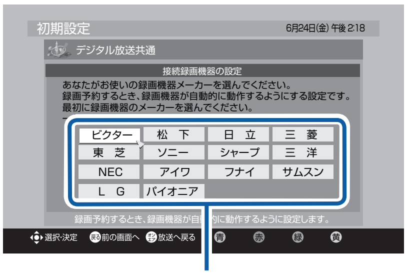
▲▼◀▶で「デジタル放送共通」を選び、決定 で決定する

お使いの録画機器のメーカーと種類を選び、動作テストをする

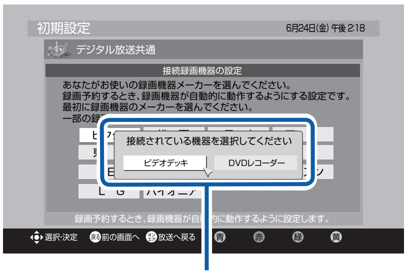


▲▼で「接続録画機器の設定」を選び、

決定 で決定する



▲▼◀▶でお使いの録画機器のメーカーを選び、決定 で決定する

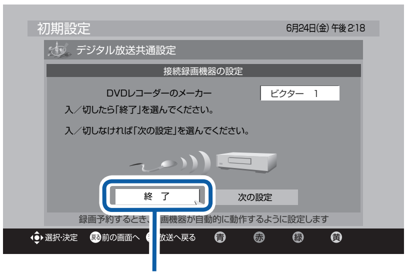


▲▼◀▶でお使いの録画機器の種類を選び、決定 で決定する

録画機器の動作テストをおこないます。テストを実行すると、録画機器に電源「入/切」のリモコン信号をくり返し送ります。

- 選択できるメーカー
  ビクター·松下·日立·三菱·東芝·ソニー·シャープ·三洋·NEC·アイワ·フナイ·サムスン·LG·パイオニア

録画機器の動作テストを終了する



録画機器の電源が「入/切」したら

◀▶で「終了」を選び、決定 で決定する

- 録画機器の電源が「入/切」しないとき
  ◀▶で「次の設定」を選び、決定 で決定します。
  別のリモコン信号でテストします。録画機器の電源が「入/切」した画面で、決定します。

メニュー で

終了する

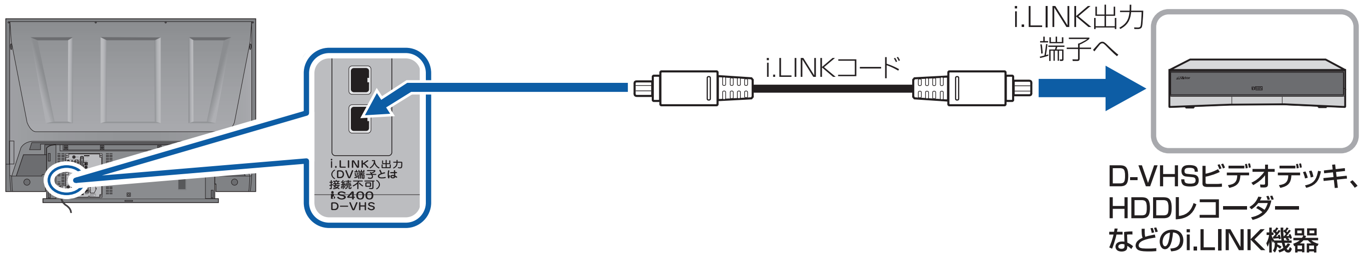
これでビデオリモートコントローラーを使って予約録画ができるようになりました。
番組表から録画予約するには42ページをご覧ください。

録画機器をつなぐ(i.LINK)

D-VHSビデオデッキなどのi.LINKに対応した録画機器をつなぐと、デジタル放送をデジタルのまま録画、再生できます(「録画予約する(i.LINK)」 ☞44ページ)。また本機から、当社製のD－VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダーを操作できます。

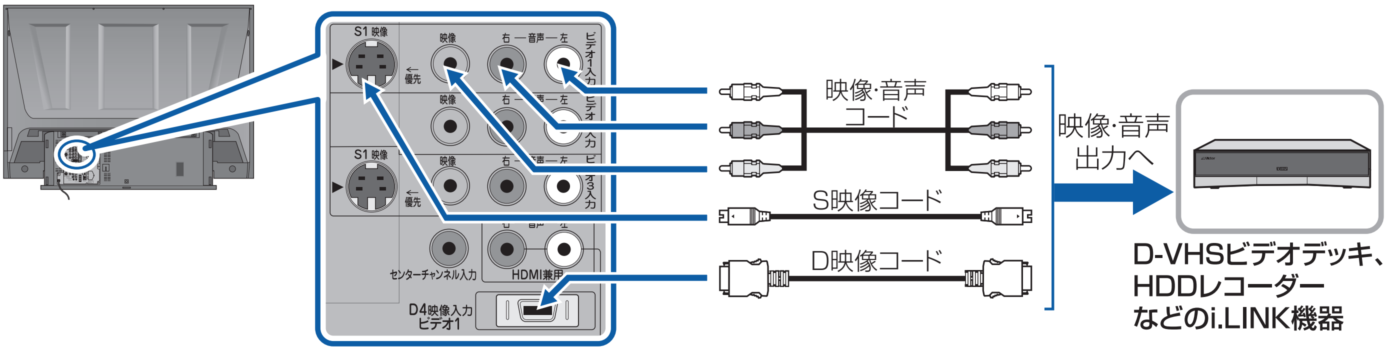
i.LINKコードの接続

i.LINKコード一本でデジタル放送をデジタルのまま録画･再生できます。



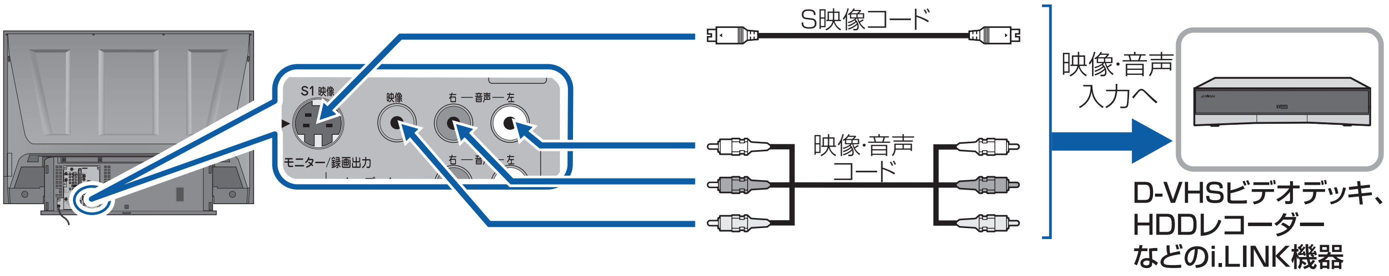
再生するための接続

VHSやS-VHSビデオテープなど、アナログで再生するための接続です。



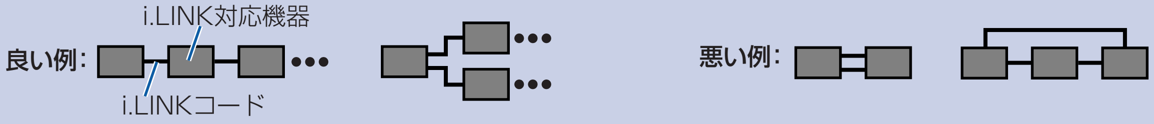
録画するための接続

VHSやS-VHSビデオテープなど、アナログで録画するための接続です。



ご注意

- i.LINKコードはS400の規格に対応したものをご使用ください。
- MPEG2 AACデコード機能のない録画機器ではデジタル放送の音声の再生ができません。本機にi.LINK入力をして再生します。
- ビクター製D-VHSビデオデッキをご使用のときは、モニター /録画出力端子をF-1またはL-1入力に接続してください。
- i.LINK対応機器を接続するときは、各機器がループ状(閉じた輪)にならないように接続します。



i.LINK（アイリンク）機器を設定する

i.LINK機器を使うには次の設定が必要です。

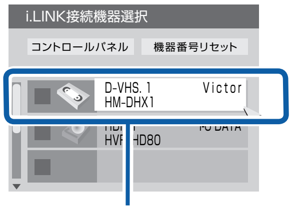
使用する i.LINK 機器を確認する

機器操作 ● を押す

- 地上アナログ放送の受信中は、表示されません。デジタル放送に切り換えてください

- 接続されている対象機器の種類、メーカー、機種が表示されます。

決定 を押す



▲▼で設定したい機器を選び、決定で決定する

- 本機から録画/再生または操作できる対象機器は、アイコンの左に「☑」が表示され、選んだ録画機器が設定されます。
- 設定できる録画機器は、1台です。
- 設定を変更しないときは、**戻る**ボタンで戻ります。
- 対象機器の設定を削除するときは、対象機器を選んで**決定**ボタンを押します。

お知らせ

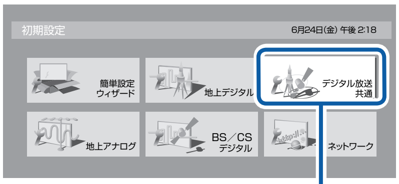
- 「機器番号リセット」を押すと、現在本機に接続していない機器の情報を削除し、機器番号を割り当て直します。
- 本機で操作できない機器が接続されたときは、機器選択画面に機器名が表示されません。詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

これでi.LINK機器が使用できるようになりました。
番組表から録画予約するには44ページをご覧ください。

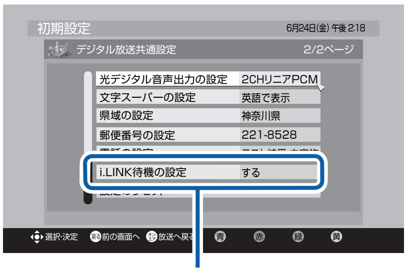
本機を中継して複数の i.LINK機器を使うときは

メニュー ● で設定メニューを表示する

▲▼で「初期設定」を選び、決定 で決定する



◀▶▲▼で「デジタル放送共通」を選び、決定 で決定する



▲▼で「i.LINK待機の設定」を選び、◀▶で「する」を選ぶ

オンエア ● で終了する

お知らせ

本機を中継せずに複数のi.LINK機器をお使いのときや、お使いのi.LINK機器が1台のときは、この設定は必要ありません。

i.LINK機器と連係する

本機では、i.LINK接続したD-VHSビデオデッキなどの基本的な操作や動作の連係ができます。

i.LINK機器を操作する

画面に表示された操作パネルを使って、D-VHSビデオデッキなどの録画機器を操作できます。

i.LINK機器を操作する

機器操作 でコントロールパネルを表示する

例：D-VHSビデオデッキを操作するとき

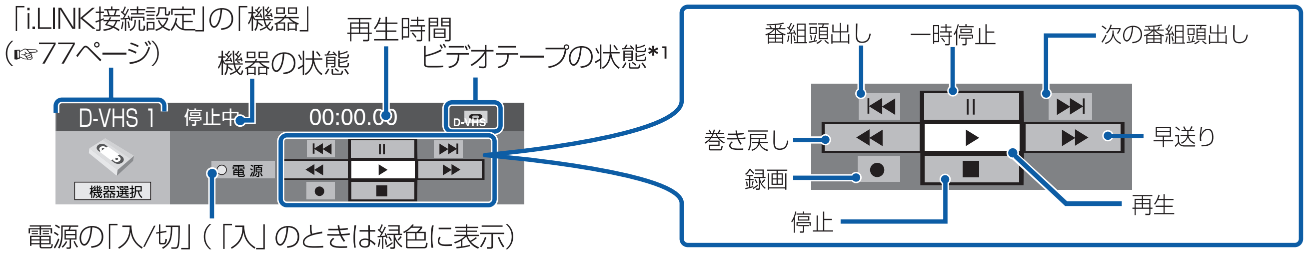
戻る で操作パネルを消す

▲▼◀▶でボタンを選び、決定で決定する

i.LINK機器の設定をしていないときは、「i.LINK機器を設定する（☞77ページ）」で操作するi.LINK機器を設定します。

コントロールパネルの使いかた

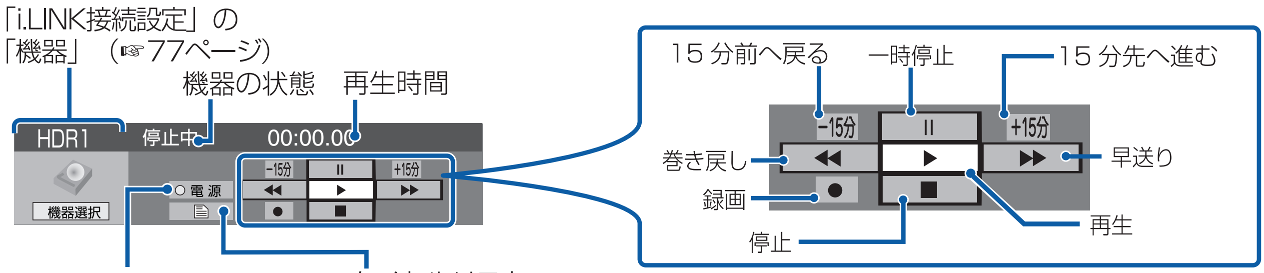
例：D-VHSビデオデッキのとき

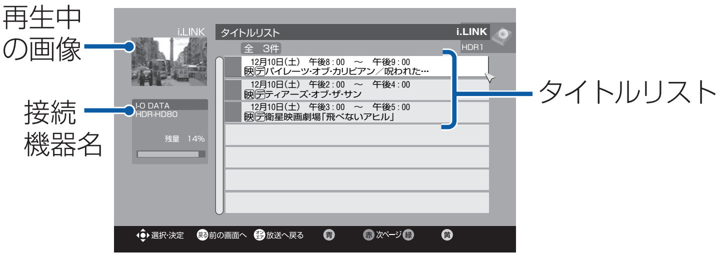


*1ビデオテープの状態

：VHSビデオテープが入っているとき
：D-VHSビデオテープが入っているとき
：S-VHSビデオテープが入っているとき

例：HDDレコーダーのとき





お知らせ

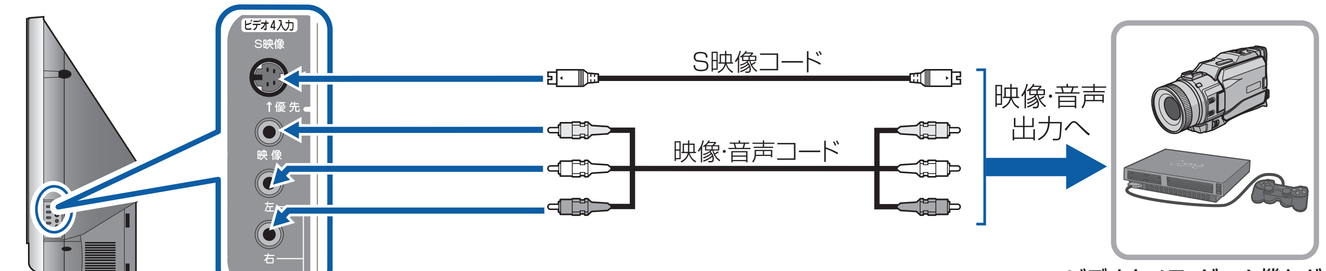
- D-VHSテープの再生を始めると、自動的にi.LINK入力に切り換わります。（「ビデオ入力接続設定」☞67ページ）。
- 地上アナログ放送の受信中や、外部入力を選んでいるときは、コントロールパネルは表示されません。

ビデオカメラやゲーム機、DVDプレーヤーをつなぐ

ビデオカメラやゲーム機をつなぐ

ビデオカメラやゲーム機、パソコンなどを本機に接続して、映像・音声を再生できます。

ビデオカメラやゲーム機の接続



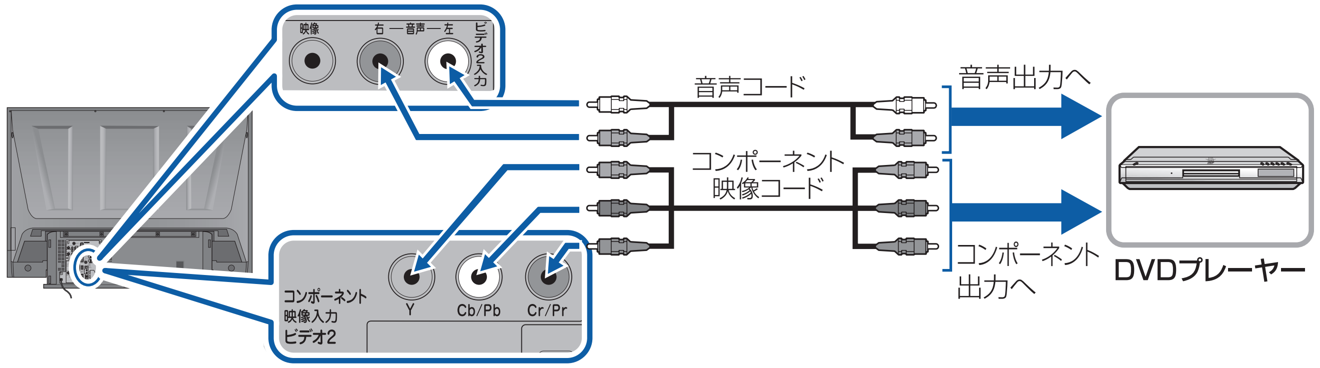
お知らせ

- ビデオカメラやゲーム機の接続には、専用の接続コードやアダプターが必要な場合があります。
  詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

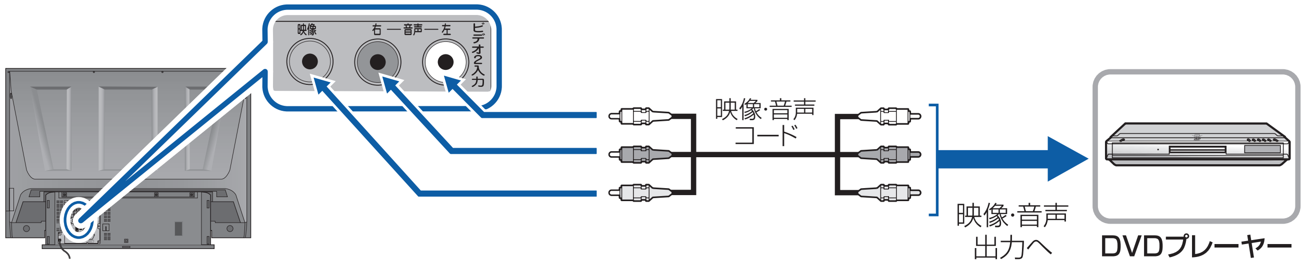
DVDプレーヤーをつなぐ

DVDプレーヤーを本機に接続して、映像・音声を再生できます。

コンポーネント映像出力端子付きDVDプレーヤーの接続



コンポーネント映像出力端子のないDVDプレーヤーの接続



お知らせ

DVDプレーヤーの映像出力端子がD映像端子のときは、片端がDコネクターのコードをお使いください。

接続が終わったら

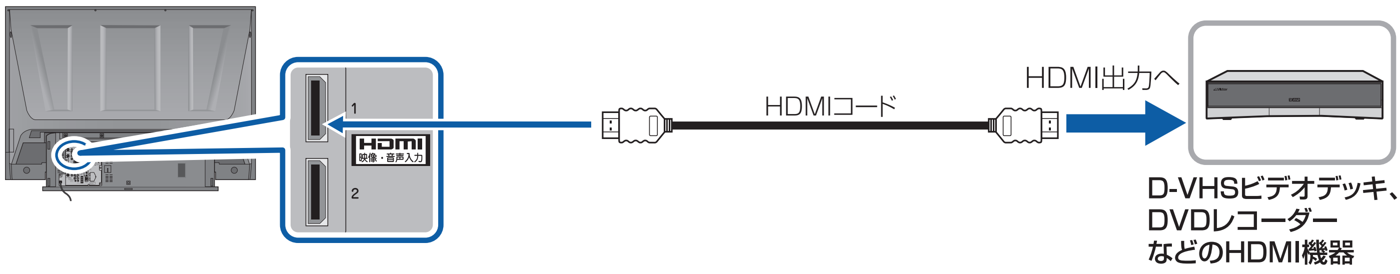
DVDプレーヤー側で、TV画面サイズの設定をワイド画面(画面サイズ16:9)用の設定にしてください。
詳しくは、お手持ちのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

HDMI機器をつなぐ

本機では、HDMI接続したD-VHSビデオデッキやDVDレコーダーの映像・音声を再生できます。また、DVI端子を持った映像再生機器をHDMI端子に接続してご使用になれます。

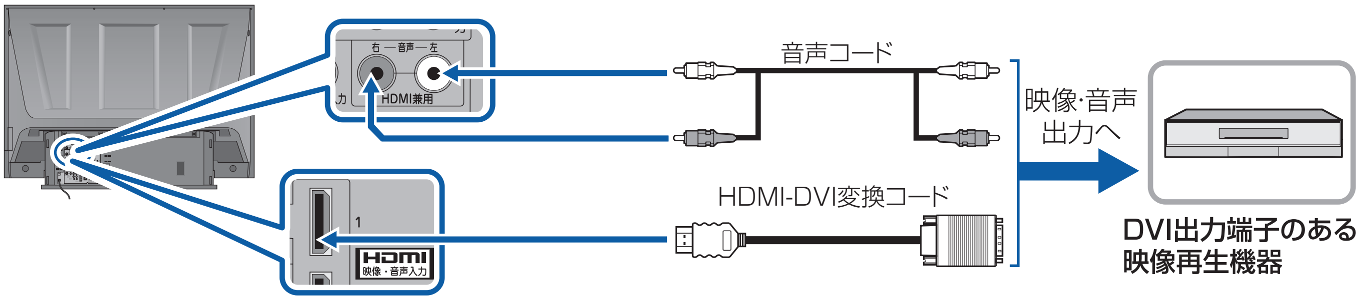
HDMI機器の接続

HDMIコード一本で映像･音声を再生できます。
録画するための接続については「録画機器をつなぐ」(☞74、76ページ)をご覧ください。



DVI機器の接続

DVI機器の接続にはHDMI-DVI変換コードをご使用ください。
また、音声を再生するには音声コードの接続が必要です。



ご注意

- 本機のHDMI端子はパソコンからの映像･音声信号には対応していません。パソコンを接続するときはビデオ3のPC入力端子に接続してください。(☞85ページ)
- 本機でHDMI機器の映像を表示中に、HDMI機器側で信号を切り換えた場合、信号が安定するまでの少しの間、画面が緑色になって乱れることがあります。
- HDMI端子と音声入力(HDMI兼用)端子に入力された信号は次の出力端子からは出力されません。
  - ・モニター /録画出力端子
  - ・光デジタル音声出力端子
- 音声入力(HDMI兼用)端子は、HDMI1のみに対応しています。

HDMI機器からの入力を設定する

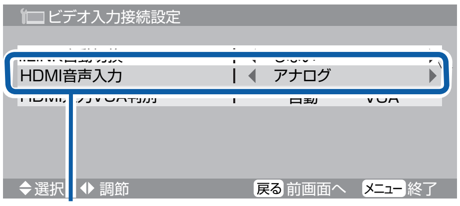
HDMI機器からの音声入力を設定する

HDMI1端子に接続した機器からの音声を設定します。

HDMI音声入力を設定する

「各種設定」メニュー(☞67ページ)で「ビデオ入力接続設定」を選び、

決定 で決定する



▲▼で「HDMI音声入力」を選び、

◀▶で設定する

アナログ	「DVI機器の接続」(☞左ページ)方法で接続した場合に選びます。
自動	入力される音声信号を自動的に判別します。
HDMI	「HDMI機器の接続」(☞左ページ)方法で接続した場合に選びます。

メニュー で終了する

ご注意

HDMI音声入力の設定は、HDMI1端子のみ有効です。HDMI2端子は、つねに「HDMI」に設定されます。

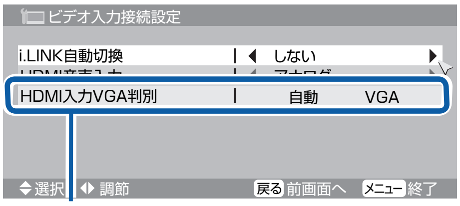
HDMI機器からの映像入力を設定する

HDMI端子に接続した機器からの映像信号を自動的に判別して、映像のサイズを切り換えるかどうかを設定できます。

HDMI入力VGA判別を設定する

「各種設定」メニュー(☞67ページ)で「ビデオ入力接続設定」を選び、

決定 で決定する



▲▼で「HDMI入力VGA判別」を選び、

◀▶で設定する

自動	HDMI機器からの映像信号を自動的に判別して映像サイズを切り換えます。
VGA	HDMI機器からの映像をVGA(640×480ドット)のサイズに固定して表示します。

メニュー で終了する

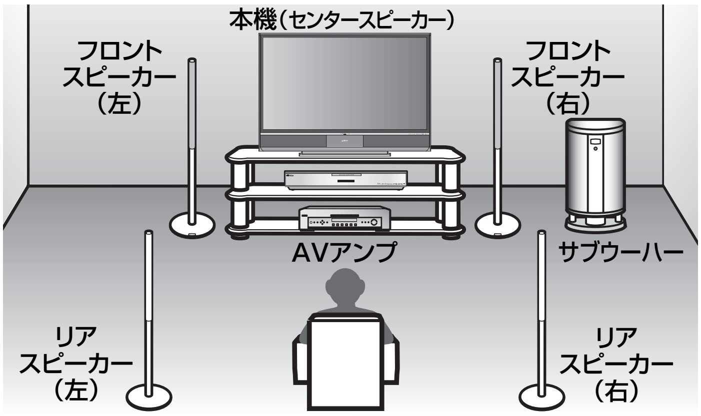
ご注意

「HDMI入力VGA判別」は、通常は「自動」に設定し、映像が正しく表示されない場合に「VGA」を選んでください。

オーディオ機器をつなぐ

ホームシアターシステムを組む

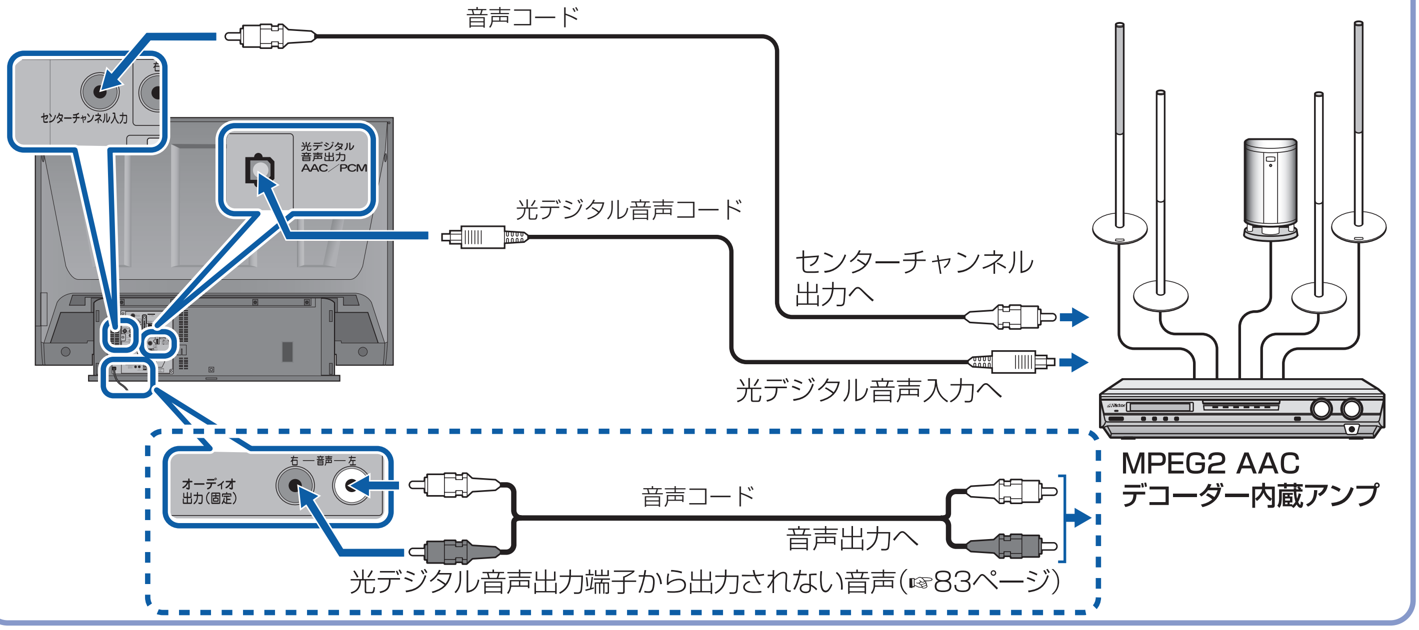
デジタル放送のマルチチャンネル音声を楽しむときに、本機のスピーカーをセンタースピーカーとしてお使いになれます。



お知らせ

5.1chなどのマルチチャンネル音声では、登場人物の台詞などをセンタースピーカーから再生します。
映画館のセンタースピーカーは、会話のシーンなどをより自然に再現するために、スクリーンの裏に設置されています。本機のスピーカーをセンタースピーカーとして使用することで、映画館と同じ効果が得られます。

オーディオ機器の接続



接続が終わったら

次のように接続機器の設定をします。
・「センターチャンネル入力」→「入り」☞83 ページ
・「光デジタル音声出力の設定」→「AAC」☞83 ページ

お知らせ

AVアンプの接続やマルチチャンネル音声の再生については、AVアンプの取扱説明書もご覧ください。

ご注意

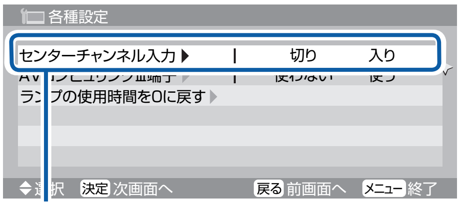
消音ボタンを押しても、本機のスピーカー以外の音声は消えません。本機のスピーカー以外の音声を消すには、AVアンプ側で操作してください。

センターチャンネル入力を設定する

本機をセンタースピーカーとして使うには、接続（☞82ページ）の後でこちらの設定を行ってください。

設定を選ぶ

「各種設定」→「使いかたにあわせて設定する」（☞66、67ページ）と同様に操作し、設定します。



オンエア で終了する

▲▼で「センターチャンネル入力」を選び、
◀▶で設定を選んで 決定 で決定する

入り	本機のスピーカーをセンタースピーカーとして使います。5.1chなどマルチチャンネル音声の番組やDVDソフトをご覧になるときは「入り」に設定してください。
切り	通常の音声を再生します。5.1chなどマルチチャンネル音声以外の番組やDVDソフトをご覧になるときは「切り」に設定してください。

お知らせ

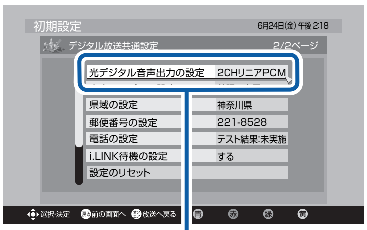
• 「センターチャンネル入力」が「入り」のときは音量が記憶されます。「切り」に変更した場合でも、再び「入り」に設定すると、前回センターチャンネル音声を聴いていたときの音量に戻ります。

光デジタル音声の出力信号を設定する

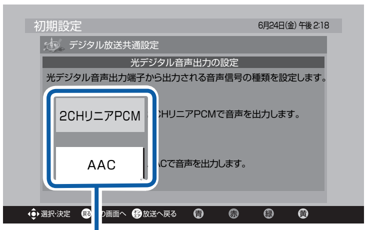
接続している機器にあわせて、光デジタル音声信号の種類を設定します。

出力信号を選ぶ

「初期設定」→「デジタル放送共通」（☞68、70ページ）と同様に操作し、設定します。



▲▼で「光デジタル音声出力の設定」を選び、 決定 で決定する



▲▼で選び、 決定 で決定する

メニュー で終了する

2CH リニアPCM	MDレコーダーでデジタル録音するときに選びます。
AAC	MPEG2 AACデコーダー内蔵アンプをつないでいるときに選びます。

お知らせ

• 本機の光デジタル音声出力端子から出力されるデジタル音声信号は、次のとおりです。

光デジタル音声出力端子から出力される放送と入力信号	光デジタル音声出力端子から出力されない放送と入力信号
• 地上デジタル放送 • BSデジタル放送 • 110度CSデジタル放送（CS1、CS2） • i.LINK入出力端子からの信号	• 地上アナログ放送 • ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3、ビデオ4入力からの信号 • HDMI1、HDMI2入力からの信号 • 音声入力（HDMI兼用）端子からの信号

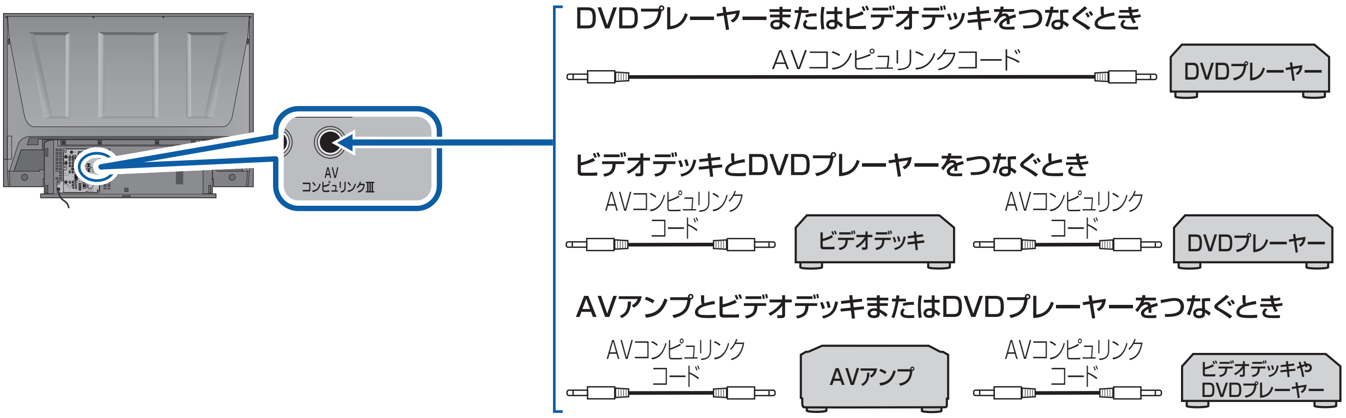
• AAC対応のオーディオ機器を接続する場合、PCM信号とAAC信号の自動切換機能があるものをお勧めします。

AVコンピュリンクでつなぐ

AVコンピュリンクⅢ端子に、AVコンピュリンク対応のビクター製ビデオデッキ、DVDプレーヤー、AVアンプなどを接続すると、接続した機器と連係して、操作が簡略化できます。

ご注意
D-VHSビデオデッキをi.LINK接続しているときは、同時にAVコンピュリンクを接続しないでください。
正しく連係動作できない場合があります。

DVDプレーヤー、ビデオデッキ、AVアンプの接続



ビデオデッキ側の設定は

ビデオデッキでリモコンコードを次のように設定します。
- ビデオ1入力端子に接続したとき：「A」に設定します。
- ビデオ2入力端子に接続したとき：「B」に設定します。

DVDプレーヤー側の設定は

DVDプレーヤーでAVコンピュリンクモードを次のように設定します。
- ビデオ3入力端子に接続したとき：「DVD1」に設定します。
- ビデオ1入力端子に接続したとき：「DVD2」に設定します。
- ビデオ2入力端子に接続したとき：「DVD3」に設定します。

AVコンピュリンクを接続したときの動作

ビデオデッキ側の操作	本機の動作
ツメを折ったビデオテープを入れる 再生の操作をする	本機の電源が入る（電源が「切」のとき）ビデオデッキをつないだ入力に切り換わる

DVDプレーヤー側の操作	本機の動作
再生の操作をする	本機の電源が入る（電源が「切」のとき）DVDプレーヤーをつないだ入力に切り換わる

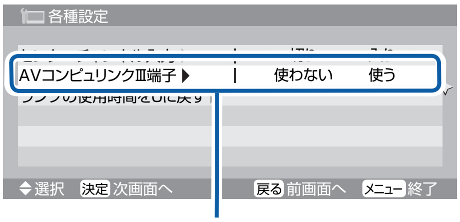
AVアンプ側の操作	本機の動作
電源を入れる	本機の電源が入る（前回AVアンプ側でビデオデッキまたはDVDを選んでいて、本機の電源が「切」のとき）
ビデオデッキやDVDの入力を選ぶ	AVアンプをつないだ入力に、切り換わる
電源を切る	電源が切れる

AVコンピュリンクを使えるようにする

AVコンピュリンクⅢ端子へ機器を接続した後で、AVコンピュリンクⅢ端子の設定を行います。

設定を選ぶ

「各種設定」→「使いかたにあわせて設定する」（☞66、67ページ）と同様に操作し、設定します。



使う	AVコンピュリンクⅢを使います。
使わない	AVコンピュリンクⅢを使いません。

▲▼で「AVコンピュリンクⅢ端子」を選び、
◀▶で設定を選んで 決定 で決定する

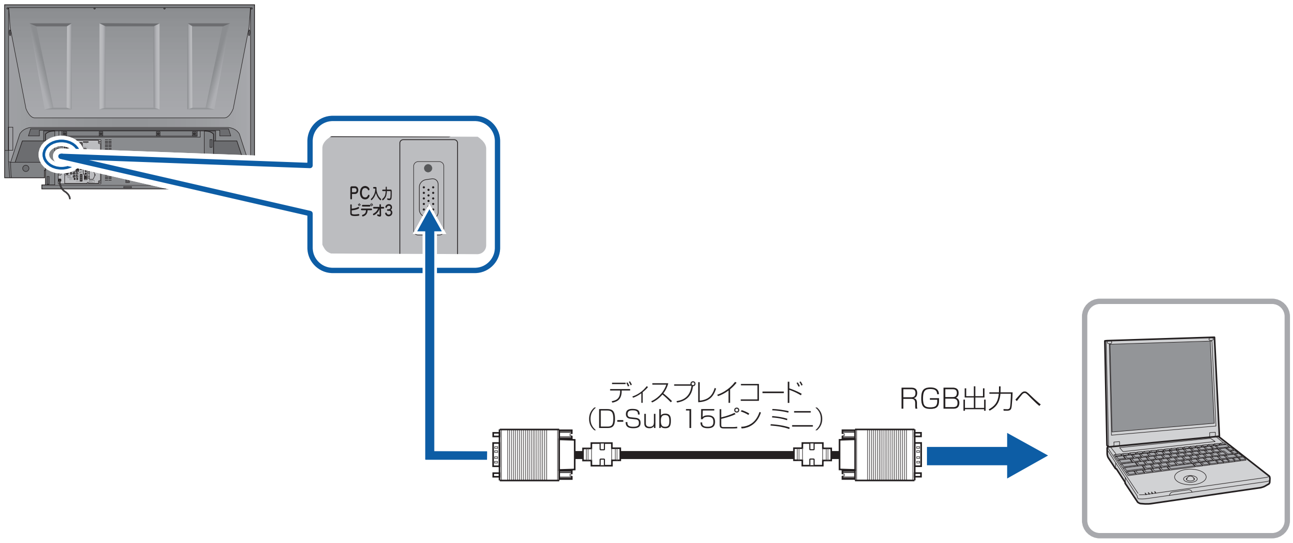
オンエア で終了する

パソコンをつなぐ

ビデオカメラやゲーム機、パソコンなどを本機に接続して、映像・音声を再生できます。

パソコンの接続

パソコンは、ビデオ3のPC入力端子につなぎます。



パソコン

お知らせ

- パソコンの接続には、専用の接続コードやアダプターが必要な場合があります。
  詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- パソコンの音声出力端子は、ビデオ3入力の音声入力端子につないでください。
- PC入力端子に入力された映像信号は、S1映像や映像端子に入力された映像信号よりも優先して出力されます。

パソコンをつなぐときは

PC入力端子は、次の信号に対応しています。パソコンの画面解像度の調節でいずれかを選んでください。

- VGA (640×480) 60Hz
- XGA (1024×768) 60Hz

ご注意

- お使いのパソコンによっては画面の位置などがずれる場合があります。画面位置を調節してください。（「画面位置の調整」☞67ページ）
- PC入力画面は、ノーマルサイズで表示されます。画面サイズは変更できません。

故障かな？と思ったら

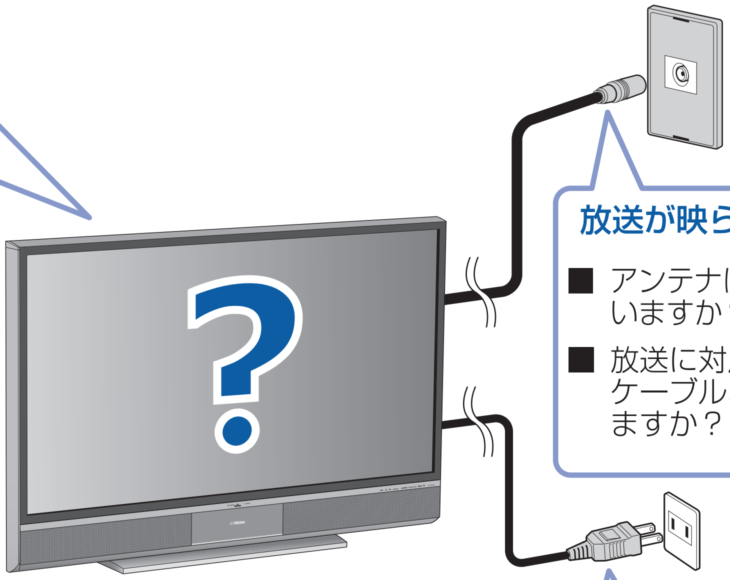
修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

画面が乱れる
映像に縦線や横線が出る

- ■ 他の機器からノイズが入っていませんか？
- ■ アンテナケーブルの近くに、他の機器やケーブルがありませんか?

映像や音声が出なくなったり、映像にモザイク状の四角いマスが出るようになった

- ■ アンテナの向きが風や振動で変わってしまっていませんか？
- ■ アンテナケーブルが劣化していませんか？



放送が映らない

- ■ アンテナは正しくつながっていますか？
- ■ 放送に対応したアンテナやケーブル、分配器を使っていますか？

電源が入らない

- ■ 電源プラグは正しくつながっていますか？
- ■ 電源ボタンを繰り返し押していませんか？
- ■ ランプの冷却中ではありませんか？

リモコンで操作ができない

- ■ 電池は正しい向きで入っていますか？
- ■ 電池が消耗してしまっていませんか？
- ■ リモコンを本体に向けずに操作していませんか？
- ■ リモコンと本体の間が障害物にさえぎられていませんか？

こんなときは故障ではありません

■ 下記のような場合でも、画面や音声に異常がなければ心配ありません。

- ・スクリーンに手を触れると弱い静電気を感じる場合。
- ・本体の天面や背面の一部が熱くなっている場合。
- ・本機から「ミシッ」という音がする場合。
- ・本体の内部から動作音が聞こえる場合。

■ 外部からの雑音や妨害ノイズにより本機が正常に操作できなくなった場合は、次の操作を行なってください。

①本体の**チャンネル－**ボタンと**入力切換**ボタンを同時に5秒以上押し続ける。
電源が切れ、ランプ/録画予約ランプが消えます。

②本体の**電源**ボタンを押して電源を入れ直す。

■ ランプが切れるときに音がする事がありますが、危険はありません。

■ D-ILA素子は高精度技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯する画素があります。

	こんなときは	こうしてください	ページ
操作	チャンネルを選ぶときの動作がおかしい	■ CATVをご覧にならないときは「CATV選局方式の設定」を「12ボタン方式」にする。 「数字入力方式」に設定されている場合、1～12ボタンで直接選局することはできません。	25
	衛星デジタル放送の投票や申し込みができなくなった	■ 電話回線の接続や設定を確認する。	18・71
	設定画面や操作画面が表示できない	■ 録画予約を終了する。 録画予約の実行中は、正しく録画できるように、設定画面の表示やその他の操作が制限されます。	—
	予約録画ができない	■ 録画機器の入力を正しく切り換える。 ■ 録画予約を正しく設定する。 ■ 録画可能な番組を予約する。 ■ ビデオリモートコントローラー (Ir システム) を正しく接続・設置・設定する。 ■ 本機に対応しているi.LINK機器を接続する。 ■ i.LINK機器を正しく接続･設定する。	42・44・74・76・77
	録画機器が選べない	■ 「接続録画機器の設定」を正しく設定する。 ■ 「i.LINK接続機器選択」、「i.LINK待機の設定」を正しく設定する。	70・77
	機器操作でi.LINK機器を操作できない	■ あまり多くのi.LINK機器を同時に接続しない。 ■ 「i.LINK待機の設定」で「する」に設定する。 ■ 予約録画が終了してから操作する。 ■ i.LINK機器の電源プラグはいつも差し込んだままにする。 ■ i.LINKケーブルを抜き差しする。	77・78
	音声が切り換えられない	■ 下記の場合は音声を切り換えられません。 • 地上アナログ放送で、モノラル放送やステレオ放送の場合。 • デジタル放送で、音声多重や複数の音声信号がない番組の場合。 • 外部入力の映像の場合。	—
	2画面にならない	■ 下記の場合は2画面にはできません。 • 左右の画面にデジタル放送の映像を映そうとした場合。 • 左右の画面に同じチャンネルや外部入力の映像を映そうとした場合。 • 録画予約の実行中。	55

受信

こんなときは	こうしてください	ページ
地上アナログ放送が映らない	■ アンテナを正しく接続する。 ■ チャンネル設定を正しく設定する。 ■ 受信したいチャンネルをチャンネルスキップの設定から外す。	16・20・25
地上アナログ放送のチャンネルが番組表に表示されない	■ 「地上アナログ設定」で「放送局名」を正しく設定する。 番組表には「番組表の設定」で選んでいる地域の地上アナログチャンネルが表示されます。地域の境界では番組表には表示されないチャンネルがある場合があります。	25・69
CATVが映らない	■ 受信契約をする。 ■ ケーブルを正しく接続する。 ■ 受信したいチャンネルをチャンネルスキップの設定から外す。 ■ 「CATV選局方式の設定」を「数字入力方式」にする。 「CATV選局方式の設定」が「12ボタン方式」の場合、CATVのチャンネル(C13〜C38)は**チャンネル＋/－**ボタンでは選べません。	20・25
衛星デジタル放送が映らない	■ 受信契約をする。 ■ アンテナを正しく設置・設定する。 ■ 電話回線を正しく接続・設定する。 ■ 正しい向きでB-CASカードを入れる ■ 簡単設定ウィザードを済ませる。 ■ アンテナの前方にある障害物を取り除く。 大雨や雪が降っている場合でも、衛星からの電波が弱くなり、映らないことがあります。 ■ 本機の電源を切り、電源プラグを抜いた後、B-CASカードをいったん抜いてから差し込み、再度電源プラグを差し込んで電源を入れる。	16・18・19・20
地上デジタル放送が映らない	■ アンテナを正しく設置・設定する。 ■ 電話回線を正しく接続・設定する。 ■ 正しい向きでB-CASカードを入れる ■ 簡単設定ウィザードを済ませる。 ■ 受信レベルを確認する。 ■ 本機の電源を切り、電源プラグを抜いた後、B-CASカードをいったん抜いてから差し込み、再度電源プラグを差し込んで電源を入れる。	16・18・19・20・27
データ放送の一部を見る事ができない	■ 「ネットワーク設定」を設定してください。	69・Tナビ編

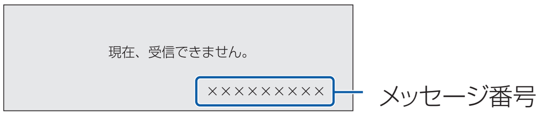
	こんなときは	こうしてください	ページ
画面	画面が乱れる 映像に縦線や横線が出る	■ アンテナケーブルを他の機器やケーブルから離してください。	—
画面	画面表示が消えない	■ 受信できるチャンネルを選ぶ。 ■ 外部機器の映像を再生する。 入力信号がないときに画面表示を消すことはできません。 ■「メールがあります」の表示は、新着メールの内容を確認すると消えます。	28・34・61
画面	メニュー操作時などにオンエアボタンを押すと、外部入力の映像ではなく、テレビ放送に切り換わる	■ メニュー画面や設定画面が消えるまで、**戻る**ボタンをくり返し押す。 **オンエア**ボタンを押した場合は、入力切換ボタンを押して見たい外部入力を選んでください。	—
映像	色が出ない、おかしい	■ 地上アナログ放送の場合は、「チャンネルの設定」で受信周波数を微調整する。 ■ 映像調節メニューで「色あい」や「色の濃さ」を調節する。	25・63
映像	接続したAV機器からの映像が出ない	■ 正しい外部入力を選ぶ。 ■ AV機器を正しく接続する。 ■ AV機器の電源を入れ、映像を再生する。 ■ i.LINK接続の場合「i.LINK接続機器選択」、「i.LINK待機の設定」を正しく設定する。 ■ D-VHSモードで記録された内容がデジタル放送の番組以外の場合は、D映像端子か、S映像端子、または映像端子を接続した入力に切り換える。	34・72・74・76・77・79・80・82
映像	雪が降っているような画面になる（スノーノイズ）	■ 屋外のアンテナ線をつなぎ直す。 ■ アンテナの向きを直す。 アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。	—
映像	画面にはん点が出る（妨害）	■ ドライヤー・自動車・オートバイ・蛍光灯などの妨害電波の影響が考えられます。 アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。	—
映像	画面にしま模様が出る（混信）	■ 無線局やパソコン・AV機器・電子レンジなどからの電波の混入が考えられます。 アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。	—
音声	音が出ない	■ ヘッドホン端子からヘッドホンを抜く。 ■ **消音**ボタンを押す。	29・106
音声	音声が重なって聞こえる	■ 二重音声放送の音声を「主音声」または、「副音声」に切り換える。	53

こんなときは		こうしてください	ページ
音声	αサウンドの効果が感じられない	■ 下記の場合はαサウンドの効果が出ません。 • 二重音声放送の音声を「主+副音声」にしている場合。 • サラウンド効果が出にくい番組やソフトの場合。 • 「はっきりトーク」、「ゆっくりトーク」をお使いの場合。	53・65
	映像の動きと音声が合わない	■ 「ゆっくりトーク」を「切り」に設定する。	30
	ハイパーバスが調節できない	■ ヘッドホンをお使いのときは、音声を調節できません。	65
	接続したAV機器からの音声が出ない	■ 正しい外部入力を選ぶ。 ■ AV機器を正しく接続する。 ■ AV機器の電源を入れる。 ■ AVアンプの音量を0または消音以外にする。 ■ i.LINK接続の場合「i.LINK接続機器選択」、「i.LINK待機の設定」を正しく設定する。 ■ D-VHSモードで記録された内容がデジタル放送の番組以外の場合は、D映像端子か、S映像端子、または映像端子を接続した入力に切り換える。 ■ HDMI接続の場合、「ビデオ入力接続設定」を正しく設定する。 ■ HDMI端子の音声入力、またはDVI音声端子からの入力信号はモニター/録画出力端子からは出力されません。	34・72・74・76・77・79・80・81・82・83
その他	メモリーカードの画像が再生できない	■ 本機で再生できる画像データを記録する。 ■ 録画予約の実行中はメモリーカードの再生はできません。	56
	外部入力が選べない	■ 「外部映像入力設定」の「入力スキップ設定」を「見る」に設定する。 ■ i.LINK接続した機器の映像を見る場合、「i.LINK接続機器選択」を正しく設定する。 ■ 「i.LINK接続設定」、「i.LINK自動切換」が、選んでいる入力に設定されていないことを確認する。	67・77
	突然電源が切れた	■ オフタイマーか「テレビ消し忘れ防止」を設定していた場合、自動的に電源が切れます。 ■ 放送終了後に電源が切れたときは、「無信号電源オートオフ」機能が働いたためです。	29・65

こんなメッセージが出たら

本機は、お使いの状況に合わせてメッセージを表示します。以下は主なメッセージとその対処方法です。表示されたときは、「こうしてください」欄をご確認いただき、正しくお使いください。

お願い:カスタマーセンターなどにお問い合わせになるときは、画面右下に表示されるメッセージ番号もお知らせください。



画面メッセージ	こうしてください	ページ
アンテナやケーブルがショートしています。アンテナとケーブルの接続をご確認ください。	■ アンテナを正しく接続・設定する。	17・73
放送チャンネルではないため、視聴できません。	■ 受信できるチャンネルに切り換える。 放送されていないチャンネルを選んでいる場合に表示されることがあります。	69
現在放送されていません。別のチャンネルを選んでください。	■ 受信できるチャンネルに切り換える。 放送休止中のチャンネルを選んでいる場合に表示されることがあります。	69
信号が受信できません。	■ 受信できるチャンネルに切り換える。 雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下している場合に表示されることがあります。 ■ アンテナケーブルやコネクターを点検する。 アンテナケーブルやコネクターに接触不良などがある場合に表示されることがあります。	—
降雨などによる電波障害のため、自動的に降雨対応画面に切り換えています。	■ 受信できるチャンネルに切り換える。 雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下している場合に表示されることがあります。 ■ アンテナケーブルやコネクターを点検する。 アンテナケーブルやコネクターに接触不良などがある場合に表示されることがあります。	—

ランプを交換する

ランプは消耗品です。映像が暗くなったときやランプが切れたときは、新しいランプと交換してください。

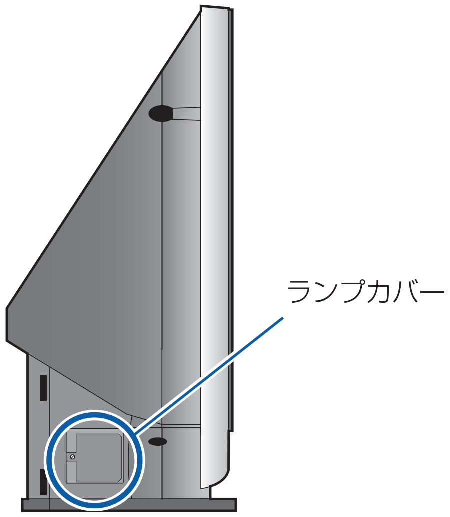
> **ご注意**
> このプロジェクションテレビはランプ（110W高圧水銀ランプ)を使用して映像を映し出しています。
> 使用中はランプが非常に高温になっています。万が一ランプに触れると激しいやけどを負う危険性があります。絶対にランプ交換をしないでください。
> ランプを交換するときは、ランプが完全に冷えた状態である事を確認してください。ランプの冷却には電源を切った後1時間以上かかります。

準備はすんでいますか？
ランプ交換を行なう前に、ランプ交換ユニットの取扱説明書を十分にお読みください。
また安全上のご注意(ランプの交換)を守ってください。
ランプ交換についてわからないことがありましたら、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

ランプ交換ユニット
ランプ交換ユニット(品番TS-CL110J)をお買い求めください。お買い求めについては、お買い上げの販売店にご相談ください。

ランプを交換したあとは
- 取り外したランプが熱いときに水などをかけないでください。破損の原因になる可能性があります。
- 取り外したランプをお子様の手の届くところや、燃えやすいものの近くに置かないでください。
- 交換した使用済みランプは、蛍光灯と同じ扱いで廃棄してください。廃棄については、お住まいの自治体の指示にしたがってください。

ランプユニットの位置
ランプは本体側面のランプカバーの中にあります。

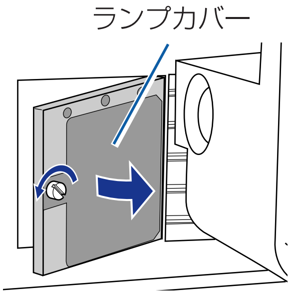


電源を切る

> まもなくランプの交換時期です。
> 交換の際は取扱説明書をご覧ください。
> 交換後、次の手順でランプ時間を0に戻してください。
> ・『各種設定メニュー』→『ランプの使用時間を0に戻す』→『決定』ボタンで実行

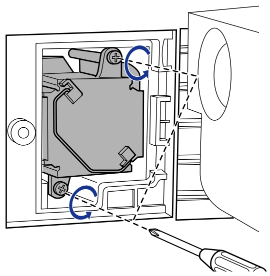
テレビの電源を入れたとき、画面にこのメッセージが出たら、ランプ交換が必要です。
このメッセージはリモコンのボタンを押すと消えます。何もしなくても約30秒たつと消えます。

ランプカバーを外す



ランプを外す

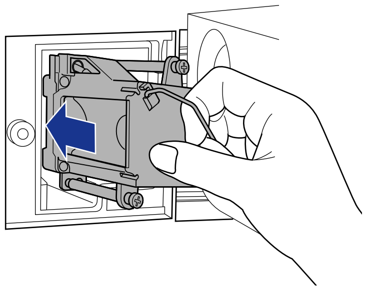
ネジを外す



プラスドライバーを使って、2本のネジをゆるめてください。

新しいランプを入れる

ランプを取り付ける



電源 で電源を切る

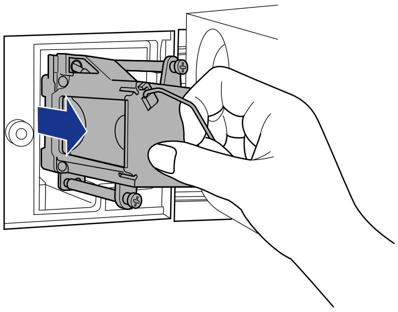
ランプ／機能待機ランプが点滅します。ランプの冷却を始めます。

電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜くときは、ランプ / 録画予約ランプが消えるまでお待ちください。

ご注意
電源を切り、電源プラグを抜いてからランプを交換してください。
ランプが完全に冷えるまで1時間以上必ずお待ちください。

ランプカバーのネジをコインやマイナスドライバーでゆるめます。つぎにゆっくりとつまみを手前に引き、テレビからランプカバーをはずします。



ランプを取り出す

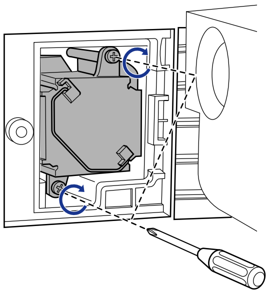
ハンドルを起こし、ゆっくりと手前にスライドさせて取り出してください。
取り出したランプは、リサイクルの箱に入れておいてください。

ご注意
- ランプが完全に冷えるまでランプを引き出さないでください。少しでもランプが熱く感じたら作業をやめてお待ちください。
- 使用済みのランプを落とさないでください。ランプの内部は圧力がかかっているため、落下やその他の激しいショックを与えるとランプが砕け、危険です。

新しいランプに付いているハンドルをつかんで、ランプがあった位置に新しいランプをテレビにスライドさせ、押し込んでください。その後、2本のネジを必ず締めてください。

ご注意
ランプの表面には絶対に触れないでください。ランプの表面に触れると手の油や汚れが付き、ランプが破損する原因になります。

ネジを取り付ける



ランプカバーを取り付ける

ランプカバーのネジを、コインやマイナスドライバーでしっかり締めてください。

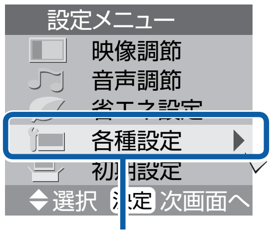
ランプを交換する（つづき）

ランプの使用時間をリセットする

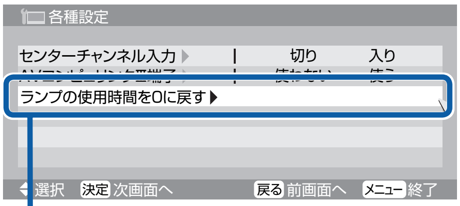
新しいランプに交換したときは、ランプの点灯累計時間をリセットしてください。

ご注意
ランプを交換した直後に、電源ランプとランプ/録画予約ランプが同時に点滅するときは、ランプが正しく取り付けられていない場合があります。もう一度ランプを取り付け直してください。

メニュー でメニューを表示する



▲▼で選び、決定 で決定する



▲▼で「ランプの使用時間を0に戻す」を選び、決定 で決定する

ランプの使用時間を0にするなら決定を押してください

決定 で決定する

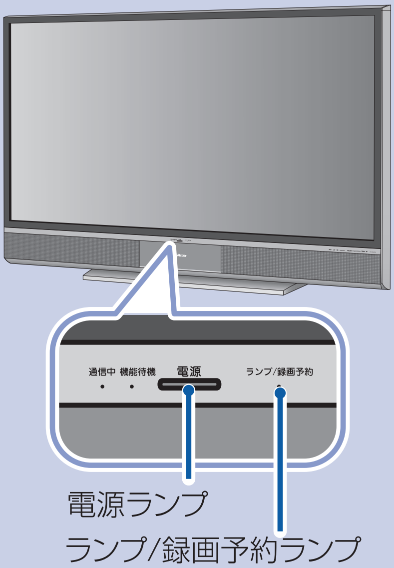
使用時間が0に戻ります。
- 0に戻さないときは、**戻る**ボタンを押します。

本機に異常が発生したときは、本体正面のランプ/録画予約ランプ、電源ランプが点滅して知らせます。

ランプ/録画予約ランプが点滅したときは
本機が正常に操作できなくなった可能性があります。
本機の電源を切り、しばらくしてからもう一度電源を入れてください。電源を入れ直しても点滅が続くときは、電源を切り、お買い上げの販売店にご相談ください。

ランプ/録画予約ランプ、電源ランプが交互に点滅したときは
本体内部の温度が上昇しているか、ファンが動いていない可能性があります。
本機の電源を切り、しばらくしてからもう一度電源を入れてください。電源を入れ直しても点滅が続くときは電源を切り、お買い上げの販売店にご相談ください。

ランプ/録画予約ランプ、電源ランプが同時に点滅したときは
ランプが正しく取り付けられていないか、ランプが故障している可能性があります。
ランプを交換したときは、もう一度ランプを取り付け直してください。
ランプの交換をしていないときは、本機の電源を切り、しばらくしてからもう一度電源を入れてください。電源を入れ直しても点滅が続くときは電源を切り、お買い上げの販売店にご相談ください。

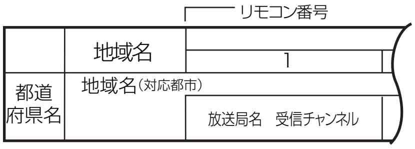


地域チャンネル表

お知らせ

- 地域チャンネル表に記載の放送局名は、「地上アナログ放送局名設定」画面(☞25ページ)の表示とは一部異なります。
- 「NHK総合」および「NHK教育」は、地上アナログ放送のチャンネル設定画面(☞25ページ)では「NHK総合」または「NHK教育」のあとに地方局名が表示されます。
- 放送大学の番組表は表示できません。
- 放送局名・受信チャンネルは当社の調査によるものです(2005年7月現在)。

地域チャンネル表の見かた



	地域名	放送局名・受信チャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌(江別)	北海道放送 1		NHK総合 3		札幌テレビ 5			北海道文化 27		北海道テレビ 35	テレビ北海道 17	NHK教育 12
	小樽		NHK教育 2		北海道テレビ 4			札幌テレビ 7	北海道文化 26	北海道放送 9		NHK総合 11	テレビ北海道 24
	旭川		NHK教育 2	北海道文化 37		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	テレビ北海道 33
	名寄			北海道文化 26	NHK総合 4		札幌テレビ 6		北海道テレビ 24		北海道放送 10		NHK教育 12
	稚内		NHK教育 30	北海道文化 26		北海道テレビ 24		札幌テレビ 22		NHK総合 28	北海道放送 10		
	室蘭		NHK教育 2	北海道文化 37		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	テレビ北海道 29
	苫小牧		NHK教育 49	北海道文化 53		北海道テレビ 61		札幌テレビ 57		NHK総合 51		北海道放送 55	テレビ北海道 47
	函館		北海道文化 27		NHK総合 4		北海道放送 6		北海道テレビ 35		NHK教育 10	テレビ北海道 21	札幌テレビ 12
	帯広		北海道文化 32		NHK総合 4		北海道放送 6		北海道テレビ 34		札幌テレビ 10		NHK教育 12
	釧路		NHK教育 2	北海道文化 41		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	
	網走	北海道放送 1		NHK総合 3		札幌テレビ 5			北海道文化 27		北海道テレビ 35		NHK教育 12
	北見		NHK教育 2	北海道文化 59		北海道テレビ 61		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 53	
青森	青森(弘前)	青森放送 1		NHK総合 3	青森朝日 34	NHK教育 5							青森テレビ 38
	八戸		岩手めんこい 29		青森朝日 31			NHK教育 7		NHK総合 9		青森放送 11	青森テレビ 33
	むつ				NHK総合 4		青森朝日 56		青森テレビ 58		青森放送 10		NHK教育 12
岩手	盛岡				NHK総合 4		岩手放送 6		NHK教育 8	岩手朝日 31	テレビ岩手 35		岩手めんこい 33
	釜石		NHK総合 2				テレビ岩手 58		岩手めんこい 60	岩手朝日 62	岩手放送 10		NHK教育 12
	二戸		岩手放送 2			NHK総合 5			岩手めんこい 29	岩手朝日 61	テレビ岩手 37		NHK教育 12
宮城	仙台	東北放送 1		NHK総合 3		NHK教育 5		東日本放送 32		宮城テレビ 34			仙台放送 12
	石巻	東北放送 59		NHK総合 51		NHK教育 49		東日本放送 61		宮城テレビ 55			仙台放送 57
	気仙沼		NHK総合 2		東北放送 4		仙台放送 6	東日本放送 43		宮城テレビ 37	NHK教育 10		
秋田	秋田		NHK教育 2			秋田朝日 31				NHK総合 9		秋田放送 11	秋田テレビ 37
	大館				NHK総合 4	秋田朝日 59	秋田放送 6		NHK教育 8				秋田テレビ 57
	大曲		NHK教育 43			秋田朝日 41				NHK総合 45		秋田放送 47	秋田テレビ 51
山形	山形		さくらんぼテレビ 30		NHK教育 4		テレビュー山形 36		NHK総合 8		山形放送 10		山形テレビ 38
	鶴岡(酒田)	山形放送 1	さくらんぼテレビ 24	NHK総合 3			NHK教育 6		テレビュー山形 22				山形テレビ 39
	米沢		さくらんぼテレビ 60		NHK教育 50		テレビュー山形 56		NHK総合 52		山形放送 54		山形テレビ 58
福島	福島(郡山)		NHK教育 2		テレビュー福島 31		福島中央 33			NHK総合 9	福島放送 35	福島テレビ 11	
	いわき		テレビュー福島 62		NHK総合 4		福島中央 58		福島テレビ 8		NHK教育 10		福島放送 60
	会津若松	NHK総合 1		NHK教育 3	テレビュー福島 47		福島テレビ 6		福島中央 37		福島放送 41		
茨城	水戸(勝田)	NHK総合 44		NHK教育 46	日本テレビ 42		TBS 40		フジテレビ 38		テレビ朝日 36		テレビ東京 32
	日立	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60		テレビ東京 62
栃木	宇都宮	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 41	とちぎテレビ 31	テレビ東京 44
	矢板	NHK総合 40		NHK教育 30	日本テレビ 36		TBS 42		フジテレビ 45		テレビ朝日 59	とちぎテレビ 33	テレビ東京 61
群馬	前橋(伊勢崎・高崎)	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54	群馬テレビ 48	TBS 56	放送大学 40	フジテレビ 58		テレビ朝日 60		テレビ東京 62
	桐生	NHK総合 51		NHK教育 57	日本テレビ 53	群馬テレビ 41	TBS 55	放送大学 40	フジテレビ 35		テレビ朝日 59		テレビ東京 61
埼玉	さいたま(三郷・越谷・狭山・草加・所沢・新座・上尾・朝霞・入間・岩槻・春日部・川口・川越)	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	テレビ埼玉 38	テレビ東京 12
	熊谷	NHK総合 51		NHK教育 35	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	テレビ埼玉 30	テレビ東京 61
	秩父	NHK総合 14		NHK教育 49	日本テレビ 16		TBS 18		フジテレビ 29		テレビ朝日 38	テレビ埼玉 47	テレビ東京 44
千葉	千葉(我孫子・市川・市原・浦安・柏・木更津・佐倉・流山・習志野・野田・船橋・松戸・八千代)	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	ちばテレビ 46	テレビ東京 12
	銚子	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	ちばテレビ 39	テレビ東京 61
東京	23区(昭島・青梅・清瀬・小金井・小平・立川・調布・西東京・東久留米・東村山・日野・府中・武蔵野・三鷹)	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6	テレビ埼玉 38	フジテレビ 8	TVKテレビ 42	テレビ朝日 10	ちばテレビ 46	テレビ東京 12
	八王子	NHK総合 33	MXテレビ 40	NHK教育 29	日本テレビ 35		TBS 37		フジテレビ 31		テレビ朝日 45		テレビ東京 62
	多摩	NHK総合 49	MXテレビ 61	NHK教育 47	日本テレビ 51		TBS 53		フジテレビ 55		テレビ朝日 57		テレビ東京 59

地域チャンネル表(つづき)

	地域名	放送局名・受信チャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
神奈川	横浜みなと（横浜の一部）	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60	TVKテレビ 48	テレビ東京 62
	横浜（横浜・厚木・海老名・鎌倉・川崎・相模原・座間・藤沢・町田・大和・横須賀）	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	TVKテレビ 42	テレビ東京 12
	平塚(茅ヶ崎)	NHK総合 33		NHK教育 29	日本テレビ 35		TBS 37		フジテレビ 39		テレビ朝日 41	TVKテレビ 31	テレビ東京 43
	秦野	NHK総合 47		NHK教育 49	日本テレビ 51		TBS 53		フジテレビ 55		テレビ朝日 57	TVKテレビ 61	テレビ東京 59
	小田原	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60	TVKテレビ 46	テレビ東京 62
山梨	甲府	NHK総合 1		NHK教育 3		山梨放送 5		テレビ山梨 37					
長野	長野1		NHK総合 44	長野朝日 50		テレビ信州 40		長野放送 42		NHK教育 46		信越放送 48	
	長野2		NHK総合 2	長野朝日 20		テレビ信州 30		長野放送 38		NHK教育 9		信越放送 11	
	松本		NHK総合 44	長野朝日 50		テレビ信州 48		長野放送 42		NHK教育 46		信越放送 40	
	飯田			NHK教育 3	NHK総合 4	テレビ信州 42	信越放送 6		長野放送 40		長野朝日 44		
	岡谷・諏訪				NHK総合 4	テレビ信州 59	信越放送 6		NHK教育 8	長野放送 47	長野朝日 61		
新潟	新潟(長岡)			新潟テレビ21 21	テレビ新潟 29	新潟放送 5			NHK総合 8		新潟総合TV 35		NHK教育 12
	上越	NHK教育 1		NHK総合 3	テレビ新潟 27		新潟テレビ21 37		新潟総合TV 33		新潟放送 10		
富山	富山	北日本放送 1		NHK総合 3					富山テレビ 34		NHK教育 10		チューリップTV 32
	高岡	北日本放送 50		NHK総合 48					富山テレビ 44		NHK教育 46		チューリップTV 42
石川	金沢(小松)		石川テレビ 37		NHK総合 4		北陸放送 6		NHK教育 8		テレビ金沢 33		北陸朝日 25
	七尾	テレビ金沢 57		北陸朝日 59		NHK教育 5		石川テレビ 55		NHK総合 9		北陸放送 11	
福井	福井			NHK教育 3			北陸放送 6			NHK総合 9		福井放送 11	福井テレビ 39
	敦賀						NHK総合 6		福井放送 8		福井テレビ 38		NHK教育 12
岐阜	岐阜(大垣)	東海テレビ 1		NHK総合 39		中部日本放送 5		中京テレビ 35		NHK教育 9	岐阜放送 37	メ~テレ 11	テレビ愛知 25
	高山		NHK教育 2		NHK総合 4		中部日本放送 6	中京テレビ 26	東海テレビ 8		岐阜放送 38		メ~テレ 12
	中津川				NHK総合 4		メ~テレ 6	中京テレビ 26	中部日本放送 8		東海テレビ 10	岐阜放送 28	NHK教育 12
静岡	静岡（清水・焼津）		NHK教育 2	静岡第1 31		静岡朝日 33		テレビ静岡 35		NHK総合 9		静岡放送 11	
	浜松		静岡第1 30		NHK総合 4		静岡放送 6		NHK教育 8		静岡朝日 28		テレビ静岡 34
	富士(富士宮)		NHK教育 54	静岡第1 27		静岡朝日 29		テレビ静岡 39		NHK総合 52		静岡放送 41	
	三島・沼津		NHK教育 51	静岡第1 61		静岡朝日 57		テレビ静岡 59		NHK総合 53		静岡放送 55	
	島田	NHK総合 1		NHK教育 3		静岡放送 5		静岡第1 48			静岡朝日 50		テレビ静岡 58
	藤枝	NHK総合 42		NHK教育 44		静岡放送 40		静岡第1 24			静岡朝日 26		テレビ静岡 38
愛知	名古屋（安城・一宮・岡崎・春日井・刈谷・小牧・瀬戸・半田）	東海テレビ 1		NHK総合 3		中部日本放送 5	岐阜放送 37	中京テレビ 35	三重テレビ 33	NHK教育 9		メ~テレ 11	テレビ愛知 25
	豊橋(豊川)	東海テレビ 56		NHK総合 54		中部日本放送 62		中京テレビ 58		NHK教育 50		メ~テレ 60	テレビ愛知 52
	豊田	東海テレビ 57		NHK総合 53		中部日本放送 55		中京テレビ 59		NHK教育 51		メ~テレ 61	テレビ愛知 49
三重	津（鈴鹿・松阪・四日市）	東海テレビ 1		NHK総合 31		中部日本放送 5		中京テレビ 35		NHK教育 9	三重テレビ 33	メ~テレ 11	テレビ愛知 25
	伊勢	東海テレビ 57		NHK総合 53		中部日本放送 55		中京テレビ 47		NHK教育 49	三重テレビ 59	メ~テレ 61	
	名張	東海テレビ 62		NHK総合 52		中部日本放送 60		中京テレビ 54		NHK教育 50	三重テレビ 58	メ~テレ 56	
滋賀	大津		NHK総合 28		毎日放送 36		朝日放送 38	京都テレビ 34	関西テレビ 40		読売テレビ 42	びわ湖放送 30	NHK教育 46
	彦根		NHK総合 52		毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62	びわ湖放送 56	NHK教育 50
京都	京都(宇治)		NHK総合 2	京都テレビ 34	毎日放送 4	テレビ大阪 19	朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
	舞鶴		NHK総合 51		毎日放送 53	京都テレビ 57	朝日放送 55		関西テレビ 59		読売テレビ 61		NHK教育 49
	福知山		NHK総合 50		毎日放送 54	京都テレビ 56	朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
大阪	大阪（池田・和泉・茨木・門真・河内長野・岸和田・堺・吹田・大東・高槻・豊中・富田林・寝屋川・羽曳野・東大阪・枚方・松原・守口・八尾）		NHK総合 2	サンテレビ 36	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8	テレビ大阪 19	読売テレビ 10		NHK教育 12
兵庫	神戸		NHK総合 28	サンテレビ 36	毎日放送 31		朝日放送 41		関西テレビ 43		読売テレビ 47	テレビ大阪 19	NHK教育 45
	神戸灘		NHK総合 52	サンテレビ 62	毎日放送 54		朝日放送 56		関西テレビ 58		読売テレビ 60	テレビ大阪 19	NHK教育 50
	川西		NHK総合 29	サンテレビ 33	毎日放送 35		朝日放送 37		関西テレビ 39		読売テレビ 41		NHK教育 31
	三木		NHK総合 44	サンテレビ 36	毎日放送 34		朝日放送 38		関西テレビ 40		読売テレビ 42		NHK教育 46
	姫路		NHK総合 50	サンテレビ 56	毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
	明石(加古川)		NHK総合 51	サンテレビ 55	毎日放送 53		朝日放送 57		関西テレビ 59		読売テレビ 61	テレビ大阪 19	NHK教育 49
奈良	奈良(橿原)		NHK総合 2	テレビ大阪 19	毎日放送 4	NHK奈良 51	朝日放送 6	京都テレビ 34	関西テレビ 8	サンテレビ 36	読売テレビ 10	奈良テレビ 55	NHK教育 12
	五條		NHK総合 43	奈良テレビ 41	毎日放送 33		朝日放送 35		関西テレビ 37		読売テレビ 39		NHK教育 45
和歌山	和歌山		NHK総合 32	テレビ和歌山30	毎日放送 42		朝日放送 44		関西テレビ 46		読売テレビ 48		NHK教育 26
	海南・田辺		NHK総合 50	テレビ和歌山56	毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
鳥取	鳥取	日本海テレビ 1		NHK総合 3	NHK教育 4				山陰中央 24		山陰放送 22		
島根	松江	日本海テレビ 30					NHK総合 6		山陰中央 34		山陰放送 10		NHK教育 12
	浜田		NHK総合 2	日本海テレビ 54		山陰放送 5			山陰中央 58	NHK教育 9			

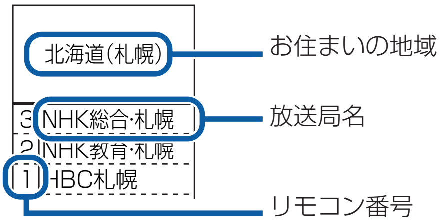
	地域名	放送局名・受信チャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
岡山	岡山(倉敷)	TVせとうち 23		NHK教育 3		NHK総合 5	瀬戸内海放送 25	岡山放送 35		西日本放送 9		山陽放送 11	
	津山		NHK総合 2		TVせとうち56		瀬戸内海放送 62	山陽放送 7		西日本放送 58		岡山放送 60	NHK教育 12
	笠岡1		NHK総合 2		NHK教育 4	TVせとうち 19	山陽放送 6			西日本放送 17	瀬戸内海放送 21	岡山放送 60	
	笠岡2		NHK総合 2		NHK教育 4	TVせとうち 22	山陽放送 6			西日本放送 34	瀬戸内海放送 55	岡山放送 60	
広島	広島	テレビ新広島 31		NHK総合 3	中国放送 4			NHK教育 7		広島ホームTV 35			広島テレビ 12
	福山	テレビ新広島 54		NHK教育 3		NHK総合 5		中国放送 7		広島ホームTV 57		広島テレビ 11	
	尾道	NHK総合 1			広島ホームTV 24			NHK教育 7	テレビ新広島 26		中国放送 10		広島テレビ 12
	呉	NHK教育 1			広島ホームTV 24	広島テレビ 5			テレビ新広島 26	中国放送 9		NHK総合 11	
山口	山口（徳山・防府）	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 38		NHK総合 9		山口放送 11	
	下関	NHK教育 41		TXN九州 23	山口放送 4	山口朝日 21		テレビ山口 33		NHK総合 39	テレビ西日本 10		
	宇部	NHK教育 55				山口朝日 24		テレビ山口 44		NHK総合 58	テレビ西日本 10	山口放送 61	
	岩国1	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 22		NHK総合 9		山口放送 11	
	岩国2	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 62		NHK総合 9		山口放送 11	
徳島	徳島	四国放送 1		NHK総合 3	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 38
香川	高松	TVせとうち 19		NHK教育 39		NHK総合 37	瀬戸内海放送 33	岡山放送 31		西日本放送 41		山陽放送 29	
	丸亀1	TVせとうち 16		NHK教育 40		NHK総合 44	瀬戸内海放送 42	岡山放送 22		西日本放送 20		山陽放送 18	
	丸亀2	TVせとうち 46		NHK教育 40		NHK総合 44	瀬戸内海放送 42	岡山放送 52		西日本放送 50		山陽放送 48	
愛媛	松山		NHK教育 2		あいテレビ 29		NHK総合 6		愛媛放送 37	愛媛朝日 25	南海放送 10	テレビ新広島31	広島ホームTV 35
	新居浜1		NHK総合 2		NHK教育 4		南海放送 6		愛媛放送 36	愛媛朝日 14		あいテレビ 27	
	新居浜2		NHK総合 2		NHK教育 4		南海放送 6		愛媛放送 36	愛媛朝日 14		あいテレビ 16	
	今治1		NHK教育 30		あいテレビ 27		NHK総合 32		愛媛放送 36	愛媛朝日 17	南海放送 34		
	今治2		NHK教育 55		あいテレビ 27		NHK総合 58		愛媛放送 36	愛媛朝日 17	南海放送 34		
	宇和島1	NHK教育 1			あいテレビ 34		NHK総合 6		愛媛放送 32	愛媛朝日 16	南海放送 10		
	宇和島2	NHK教育 1			あいテレビ 25		NHK総合 6		愛媛放送 27	愛媛朝日 16	南海放送 10		
高知	高知				NHK総合 4		NHK教育 6		高知放送 8		テレビ高知 38		高知さんさんテレビ 40
福岡	福岡	九州朝日 1		NHK総合 3	RKB毎日 4		NHK教育 6			テレビ西日本 9		TXN九州 19	福岡放送 37
	久留米	九州朝日 57		NHK総合 46	RKB毎日 48		NHK教育 54			テレビ西日本 60		TXN九州 14	福岡放送 52
	大牟田	九州朝日 58		NHK総合 53	RKB毎日 61		NHK教育 50			テレビ西日本 55		TXN九州 19	福岡放送 43
	北九州		九州朝日 2	TXN九州 23	福岡放送 35		NHK総合 6		RKB毎日 8		テレビ西日本 10		NHK教育 12
	行橋		九州朝日 57	TXN九州 19	福岡放送 43		NHK総合 49		RKB毎日 60		テレビ西日本 54		NHK教育 46
佐賀	佐賀1		NHK教育 40	九州朝日 57	RKB毎日 48	TXN九州 14		サガテレビ 36	テレビ西日本 60	NHK総合 38			福岡放送 52
	佐賀2		NHK教育 40	九州朝日 57	RKB毎日 48	TXN九州 14		サガテレビ 36	テレビ西日本 60	NHK総合 38		熊本放送 11	福岡放送 52
長崎	長崎	NHK教育 1		NHK総合 3		長崎放送 5		長崎国際 25		長崎文化 27		テレビ長崎 37	
	佐世保		NHK教育 2		長崎国際 17		長崎文化 31		NHK総合 8		長崎放送 10		テレビ長崎 35
	諫早1	NHK教育 45		NHK総合 47		長崎放送 49		長崎国際 20		長崎文化 24		テレビ長崎 42	
	諫早2	NHK教育 51		NHK総合 59		長崎放送 62		長崎国際 32		長崎文化 56		テレビ長崎 39	
熊本	熊本(八代)		NHK教育 2	熊本朝日 16		熊本県民 22		テレビ熊本 34		NHK総合 9		熊本放送 11	
大分	大分(別府)			NHK総合 3		大分放送 5		テレビ大分 36		大分朝日 24			NHK教育 12
	中津			NHK総合 48		大分放送 51		テレビ大分 37		大分朝日 17			NHK教育 45
宮崎	宮崎(都城)						テレビ宮崎 35		NHK総合 8		宮崎放送 10		NHK教育 12
	延岡		NHK教育 2		NHK総合 4		宮崎放送 6		テレビ宮崎 39				
鹿児島	鹿児島	南日本放送 1		NHK総合 3		NHK教育 5		鹿児島放送 32		鹿児島テレビ 38		鹿児島読売 30	
	阿久根		鹿児島読売 17		鹿児島放送 23		鹿児島テレビ 35		NHK総合 8		南日本放送 10		NHK教育 12
	鹿屋		NHK教育 2		NHK総合 4		南日本放送 6		鹿児島放送 31		鹿児島テレビ 33		鹿児島読売 25
沖縄	那覇(沖縄)		NHK総合 2			琉球朝日 28			沖縄テレビ 8		琉球放送 10		NHK教育 12

地上デジタルチャンネル表

お知らせ

- 「地上デジタル設定」、「地域設定」で選んだ地域の、地上デジタル放送局とチャンネル番号です。
  他の地域の放送局が受信されたときは、異なる場合があります。
- 地上デジタル放送が開始される時期は、地域により異なります。また、地上デジタル放送の開始時は、地上アナログ放送との混信を避けるため、非常に小さい出力で放送されます。そのため、受信できるエリアが限定されます。
- 放送局の名称や数、チャンネル番号などは変更される場合があります。

地上デジタルチャンネル表の見かた



(2005年9月現在)

お住まいの地域	北海道(札幌)	北海道(函館)	北海道(旭川)	北海道(帯広)	北海道(釧路)	北海道(北見)	北海道(室蘭)
放送局名	3 NHK総合·札幌	3 NHK総合·函館	3 NHK総合·旭川	3 NHK総合·帯広	3 NHK総合·釧路	3 NHK総合·北見	3 NHK総合·室蘭
	2 NHK教育·札幌	2 NHK教育·函館	2 NHK教育·旭川	2 NHK教育·帯広	2 NHK教育·釧路	2 NHK教育·北見	2 NHK教育·室蘭
	1 HBC札幌	1 HBC函館	1 HBC旭川	1 HBC帯広	1 HBC釧路	1 HBC北見	1 HBC室蘭
	5 STV札幌	5 STV函館	5 STV旭川	5 STV帯広	5 STV釧路	5 STV北見	5 STV室蘭
	6 HTB札幌	6 HTB函館	6 HTB旭川	6 HTB帯広	6 HTB釧路	6 HTB北見	6 HTB室蘭
	8 UHB札幌	8 UHB函館	8 UHB旭川	8 UHB帯広	8 UHB釧路	8 UHB北見	8 UHB室蘭
	7 TVH札幌	7 TVH函館	7 TVH旭川	7 TVH帯広	7 TVH釧路	7 TVH北見	7 TVH室蘭

お住まいの地域	宮城	秋田	山形	岩手	福島 NHK総合は県域' 21' 優先して割り当て	青森	東京
放送局名	3 NHK総合·仙台	1 NHK総合·秋田	1 NHK総合·山形	1 NHK総合·盛岡	1 NHK総合·福島	3 NHK総合·青森	1 NHK総合·東京
	2 NHK教育·仙台	2 NHK教育·秋田	2 NHK教育·山形	2 NHK教育·盛岡	2 NHK教育·福島	2 NHK教育·青森	2 NHK教育·東京
	1 TBCテレビ	4 ABS秋田放送	4 YBC山形放送	6 IBCテレビ	8 福島テレビ	1 RAB青森放送	4 日本テレビ
	8 仙台放送	8 AKT秋田テレビ	5 YTS山形テレビ	4 テレビ岩手	4 福島中央テレビ	6 ATV青森テレビ	6 TBS
	4 ミヤギテレビ	5 AAB秋田朝日放送	6 テレビユー山形	8 めんこいテレビ	5 KFB福島放送	5 青森朝日放送	8 フジテレビジョン
	5 KHB東日本放送		8 さくらんぼテレビ	5 岩手朝日テレビ	6 テレビユー福島		5 テレビ朝日
							7 テレビ東京
							9 東京MXテレビ
							12 放送大学

お住まいの地域	神奈川	群馬	茨城	千葉	栃木	埼玉	長野
放送局名	1 NHK総合·東京	1 NHK総合·東京	1 NHK総合·水戸	1 NHK総合·東京	1 NHK総合·東京	1 NHK総合·東京	1 NHK総合·長野
	2 NHK教育·東京	2 NHK教育·東京	2 NHK教育·東京	2 NHK教育·東京	2 NHK教育·東京	2 NHK教育·東京	2 NHK教育·長野
	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 テレビ信州
	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	5 ABN長野朝日放送
	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	6 SBC信越放送
	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	8 NBS長野放送
	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	
	3 TVKテレビ	3 群馬テレビ	12 放送大学	3 ちばテレビ	3 とちぎテレビ	3 テレビ埼玉	
	12 放送大学	12 放送大学		12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学	

お住まいの地域	新潟	山梨	大阪	京都	兵庫	和歌山	奈良
放送局名	1 NHK総合·新潟	1 NHK総合·甲府	1 NHK総合·大阪	1 NHK総合·京都	1 NHK総合·神戸	1 NHK総合·和歌山	1 NHK総合·奈良
	2 NHK教育·新潟	2 NHK教育·甲府	2 NHK教育·大阪	2 NHK教育·大阪	2 NHK教育·大阪	2 NHK教育·大阪	2 NHK教育·大阪
	6 BSN	4 YBS山梨放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送
	8 NST	6 UTY	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ
	4 TeNYテレビ新潟		8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ
	5 新潟テレビ21		10 よみうりテレビ	10 よみうりテレビ	10 よみうりテレビ	10 よみうりテレビ	10 よみうりテレビ
			7 テレビ大阪	5 KBS京都	3 サンテレビ	5 テレビ和歌山	9 奈良テレビ

（2005年9月現在）

お住まいの地域	滋賀		広島		岡山		香川		島根		鳥取		山口	
放送局名	1	NHK総合･大津	1	NHK総合･広島	1	NHK総合･岡山	1	NHK総合･高松	3	NHK総合･松江	3	NHK総合･鳥取	1	NHK総合･山口
	2	NHK教育･大阪	2	NHK教育･広島	2	NHK教育･岡山	2	NHK教育･高松	2	NHK教育･松江	2	NHK教育･鳥取	2	NHK教育･山口
	4	MBS毎日放送	3	RCCテレビ	4	RNC西日本テレビ	4	RNC西日本テレビ	8	山陰中央テレビ	8	山陰中央テレビ	4	KRY山口放送
	6	ABCテレビ	4	広島テレビ	5	KSB瀬戸内海放送	5	KSB瀬戸内海放送	6	BBSテレビ	6	BBSテレビ	3	TYSテレビ山口
	8	関西テレビ	5	広島ホームテレビ	6	RSKテレビ	6	RSKテレビ	1	日本海テレビ	1	日本海テレビ	5	YAB山口朝日
	10	よみうりテレビ	8	TSS	7	テレビせとうち	7	テレビせとうち						
	3	BBCびわ湖放送			8	OHKテレビ	8	OHKテレビ						

お住まいの地域	愛知		三重		岐阜		石川		静岡		福井		富山	
放送局名	3	NHK総合･名古屋	3	NHK総合･津	3	NHK総合･岐阜	1	NHK総合･金沢	1	NHK総合･静岡	1	NHK総合･福井	3	NHK総合･富山
	2	NHK教育･名古屋	2	NHK教育･名古屋	2	NHK教育･名古屋	2	NHK教育･金沢	2	NHK教育･静岡	2	NHK教育･福井	2	NHK教育･富山
	1	東海テレビ	1	東海テレビ	1	東海テレビ	4	テレビ金沢	6	SBS	7	FBCテレビ	1	KNB北日本放送
	5	CBC	5	CBC	5	CBC	5	北陸朝日放送	8	テレビ静岡	8	福井テレビ	8	BBT富山テレビ
	6	メ～テレ	6	メ～テレ	6	メ～テレ	6	MRO	4	静岡第一テレビ			6	チューリップテレビ
	4	中京テレビ	4	中京テレビ	4	中京テレビ	8	石川テレビ	5	静岡朝日テレビ				
	10	テレビ愛知	7	三重テレビ	8	岐阜テレビ								

お住まいの地域	愛媛		徳島		高知		福岡		熊本		長崎		鹿児島	
放送局名	1	NHK総合･松山	3	NHK総合･徳島	1	NHK総合･高知	3	NHK総合･福岡	1	NHK総合･熊本	1	NHK総合･長崎	3	NHK総合･鹿児島
	2	NHK教育･松山	2	NHK教育･徳島	2	NHK教育･高知	3	NHK総合･北九州	2	NHK教育･熊本	2	NHK教育･長崎	2	NHK教育･鹿児島
	4	南海放送	1	四国放送	4	高知放送	2	NHK教育･福岡	3	RKK熊本放送	3	NBC長崎放送	1	MBC南日本放送
	5	愛媛朝日			6	テレビ高知	2	NHK教育･北九州	8	TKUテレビ熊本	8	KTNテレビ長崎	8	KTS鹿児島テレビ
	6	あいテレビ			8	さんさんテレビ	1	KBC九州朝日放送	4	KKTくまもと県民	5	NCC長崎文化放送	5	KKB鹿児島放送
	8	テレビ愛媛					4	RKB毎日放送	5	KAB熊本朝日放送	4	NIB長崎国際テレビ	4	KYT鹿児島讀賣TV
							5	FBS福岡放送						
							7	TVQ九州放送						
							8	TNCテレビ西日本						

お住まいの地域	宮崎		大分		佐賀		沖縄							
放送局名	1	NHK総合･宮崎	1	NHK総合･大分	1	NHK総合･佐賀	1	NHK総合･那覇						
	2	NHK教育･宮崎	2	NHK教育･大分	2	NHK教育･佐賀	2	NHK教育･那覇						
	6	MRT宮崎放送	3	OBS大分放送	3	STSサガテレビ	3	RBCテレビ						
	3	UMKテレビ宮崎	4	TOSテレビ大分			5	QAB琉球朝日放送						
			5	OAB大分朝日放送			8	沖縄テレビ(OTV)						

放送局コード(GCN)一覧表

お知らせ

「地上アナログ設定」の「放送局名設定」を放送局コード(GCN：ガイドチャンネルナンバー)を入力して設定するには、こちらの一覧表をご覧ください。

放送局名は放送局コード(GCN)を入力しても設定できます。

1 「GCN」の行を選んでいるときに、**決定**ボタンを押す

2 1～10ボタンで入力する

3 **決定**ボタンを押す

地区	放送局名	GCN
北海道	NHK 総合札幌	0336
	NHK 教育札幌	0346
	HBC テレビ	0257
	STV テレビ	0261
	UHB テレビ	0283
	HTB テレビ	0291
	TVH	0273
青森	NHK 総合青森	0592
	NHK 教育青森	0602
	青森放送	0513
	青森テレビ	0294
	青森朝日放送	4386
秋田	NHK 総合秋田	1360
	NHK 教育秋田	1370
	秋田放送	0267
	秋田テレビ	0293
	秋田朝日放送	4383
岩手	NHK 総合岩手	0848
	NHK 教育岩手	0858
	IAT	0276
	テレビ岩手	0547
	IBC	0262
	岩手めんこい	4385
山形	NHK 総合山形	1616
	NHK 教育山形	1626
	山形放送	0266
	SAY	0286
	TVY	0292
	山形テレビ	0550
宮城	NHK 総合宮城	1104
	NHK 教育宮城	1114
	TBC	0769
	仙台放送	0268
	ミヤギテレビ	0546
	東日本放送	0288
福島	NHK 総合福島	1872
	NHK 教育福島	1882
	福島放送	0803
	福島中央テレビ	4641
	TVF	0543
	福島テレビ	0523
関東 東京	NHK 総合東京	2128
	NHK 教育東京	2138
	日本テレビ	0260
	TBS テレビ	0518
	フジテレビ	0264
	テレビ朝日	0522
	テレビ東京	0524
	MX テレビ	0270
埼玉	テレビ埼玉	0806
千葉	ちばテレビ	0302
神奈川	TVK テレビ	4394
群馬	群馬テレビ	0304
栃木	とちぎテレビ	4631
新潟	NHK 総合新潟	2384
	NHK 教育新潟	2394
	BSN	0517
	新潟総合テレビ	5155
	テレビ新潟	0285
	新潟テレビ 21	0533
長野	NHK 総合長野	2640
	NHK 教育長野	2650
	長野放送	1062
	長野朝日放送	4628
	テレビ信州	0542
	SBC	0779

地区	放送局名	GCN
山梨	NHK 総合山梨	2896
	NHK 教育山梨	2906
	山梨放送	0773
	UTY	0549
静岡	NHK 総合静岡	3920
	NHK 教育静岡	3930
	静岡放送	1291
	テレビ静岡	1315
	静岡朝日テレビ	5153
	静岡第一テレビ	4895
中部	NHK 総合名古屋	4176
	NHK 教育名古屋	4186
愛知	東海テレビ	1281
	CBC	1029
	メ～テレ	5643
	中京テレビ	1571
	テレビ愛知	0537
岐阜	岐阜放送	1061
三重	三重テレビ	1313
富山	NHK 総合富山	3152
	NHK 教育富山	3162
	チューリップ	4640
	北日本放送	1025
	富山テレビ	0802
石川	NHK 総合石川	3408
	NHK 教育石川	3418
	石川テレビ	0805
	テレビ金沢	0801
	北陸朝日放送	4377
	北陸放送	0774
福井	NHK 総合福井	3664
	NHK 教育福井	3674
	福井放送	1035
	福井テレビ	0295
関西 大阪	NHK 総合大阪	4432
	NHK 教育大阪	4442
	毎日放送	0516
	朝日放送	1030
	関西テレビ	0520
	読売テレビ	0778
	テレビ大阪	0275
京都	京都テレビ	1058
兵庫	サンテレビ	0548
奈良	奈良テレビ	0311
和歌山	テレビ和歌山	5150
滋賀	びわ湖放送	0798
岡山	NHK 総合岡山	5200
	NHK 教育岡山	5210
	RSK	1803
	OHK	1827
	テレビせとうち	4375
広島	NHK 総合広島	5456
	NHK 教育広島	5466
	RCC	0772
	広島テレビ	0780
	テレビ新広島	5151
	広島ホーム	2083
鳥取	NHK 総合鳥取	4688
	NHK 教育鳥取	4698
	日本海テレビ	5633
	RSS	1034
島根	NHK 総合島根	4944
	NHK 教育島根	4954
	山陰中央テレビ	5410
山口	NHK 総合山口	5712
	NHK 教育山口	5722
	山口放送	2059

地区	放送局名	GCN
山口	テレビ山口	1318
	山口朝日放送	4380
香川	NHK 総合高松	6224
	NHK 教育高松	6234
	西日本放送	0265
	KSB	1569
徳島	NHK 総合徳島	5968
	NHK 教育徳島	5978
	四国放送	1793
愛媛	NHK 総合愛媛	6480
	NHK 教育愛媛	6490
	南海放送	1290
	愛媛放送	1317
	あいテレビ	0541
	愛媛朝日テレビ	4889
高知	NHK 総合高知	6736
	NHK 教育高知	6746
	KSS	0296
	KUTV	1574
	高知放送	0776
福岡	NHK 総合福岡	6992
	NHK 教育福岡	7002
	KBC	2049
	RKB 毎日	1028
	TNC	0521
	FBS	1573
	TVQ	0531
佐賀	NHK 総合佐賀	7760
	NHK 教育佐賀	7770
	STS	0804
鹿児島	NHK 総合鹿児島	8528
	NHK 教育鹿児島	8538
	MBC	2305
	鹿児島テレビ	1830
	KTS	0800
	鹿児島読売	1310
宮崎	NHK 総合宮崎	8272
	NHK 教育宮崎	8282
	宮崎放送	1546
	テレビ宮崎	2339
大分	NHK 総合大分	8016
	NHK 教育大分	8026
	TOS	1060
	OAB	0280
	OBS	1541
熊本	NHK 総合熊本	7504
	NHK 教育熊本	7514
	熊本放送	2315
	熊本朝日放送	4624
	KKT	0278
	TKV	1570
長崎	NHK 総合長崎	7248
	NHK 教育長崎	7258
	長崎国際テレビ	5145
	長崎文化放送	4635
	テレビ長崎	1829
	NBC	1285
沖縄	NHK 総合沖縄	8784
	NHK 教育沖縄	8794
	RBC	1802
	OAB	0540
	OTV	1032
全国	放送大学	0272

Gガイド地域一覧表

お知らせ

- 受信できるできないに関わらず、選んだ地域に登録されている放送局のみが番組表に表示されます。
- 放送局の都合により変更になる場合があります。

お住まいの地域	札幌、小樽、旭川、名寄、稚内、室蘭、苫小牧、函館、釧路	帯広、網走、北見	青森、八戸、むつ	盛岡、釜石、二戸
番組表に表示される放送局	HBCテレビ	UHBテレビ	青森放送	NHK総合盛岡
	NHK総合札幌	NHK総合札幌	NHK総合青森	IBCテレビ
	STVテレビ	HBCテレビ	青森朝日放送	NHK教育盛岡
	UHBテレビ	HTBテレビ	NHK教育青森	テレビ岩手
	HTBテレビ	STVテレビ	青森テレビ	IATテレビ
	TV北海道	NHK教育札幌		めんこいテレビ
	NHK教育札幌			

お住まいの地域	仙台、石巻、気仙沼	秋田、大館、大曲	山形、鶴岡、米沢	福島、いわき、会津若松
番組表に表示される放送局	東北放送	NHK教育秋田	NHK教育山形	NHK教育福島
	NHK総合仙台	秋田朝日放送	テレビユー山形	テレビユー福島
	NHK教育仙台	NHK総合秋田	NHK総合山形	福島中央テレビ
	東日本放送	秋田放送	山形放送	NHK総合福島
	ミヤギテレビ	秋田テレビ	さくらんぼ	福島放送
	仙台放送		山形テレビ	福島テレビ

お住まいの地域	水戸、日立	宇都宮、矢板	前橋、桐生	さいたま
番組表に表示される放送局	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合東京
	NHK教育東京	NHK教育東京	NHK教育東京	MXテレビ
	日本テレビ	日本テレビ	日本テレビ	NHK教育東京
	TBSテレビ	TBSテレビ	TBSテレビ	日本テレビ
	フジテレビ	フジテレビ	フジテレビ	TBSテレビ
	テレビ朝日	テレビ朝日	テレビ朝日	フジテレビ
	テレビ東京	テレビ東京	群馬テレビ	テレビ朝日
	MXテレビ	とちぎテレビ	テレビ東京	テレビ埼玉
	ちばテレビ	MXテレビ	MXテレビ	テレビ東京
			テレビ埼玉	

お住まいの地域	熊谷、秩父	千葉	銚子	横浜、平塚、秦野、小田原
番組表に表示される放送局	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合東京
	NHK教育東京	MXテレビ	NHK教育東京	NHK教育東京
	日本テレビ	NHK教育東京	日本テレビ	日本テレビ
	TBSテレビ	日本テレビ	TBSテレビ	TBSテレビ
	フジテレビ	TBSテレビ	フジテレビ	フジテレビ
	テレビ朝日	フジテレビ	テレビ朝日	テレビ朝日
	テレビ埼玉	テレビ朝日	ちばテレビ	TVKテレビ
	テレビ東京	ちばテレビ	テレビ東京	テレビ東京
		テレビ東京	TVKテレビ	MXテレビ
		TVKテレビ		

お住まいの地域	23区、八王子、多摩	新潟、上越	甲府	長野、松本、飯田、岡谷・諏訪
番組表に表示される放送局	NHK総合東京	新潟テレビ21	NHK総合甲府	NHK総合長野
	MXテレビ	テレビ新潟	NHK教育甲府	長野朝日放送
	NHK教育東京	新潟放送	山梨放送	テレビ信州
	日本テレビ	NHK総合新潟	テレビ山梨	長野放送
	TBSテレビ	新潟総合テレビ		NHK教育長野
	テレビ埼玉	NHK教育新潟		信越放送
	フジテレビ			
	TVKテレビ			
	テレビ朝日			
	ちばテレビ			
	テレビ東京			

お住まいの地域	富山、高岡	金沢、七尾	福井、敦賀	岐阜、高山、中津川、名古屋、豊橋、豊田
番組表に表示される放送局	北日本放送	石川テレビ	NHK教育福井	東海テレビ
	NHK総合富山	NHK総合金沢	NHK総合福井	NHK総合名古屋
	富山テレビ	MROテレビ	福井放送	CBCテレビ
	NHK教育富山	NHK教育金沢	福井テレビ	中京テレビ
	チューリップ	テレビ金沢		NHK教育名古屋
		北陸朝日放送		岐阜テレビ
				メ～テレ
				テレビ愛知
				三重テレビ

お住まいの地域	静岡、浜松、富士、三島・沼津、島田、藤枝	津、伊勢、名張	京都、舞鶴、福知山、大阪	奈良、五條
番組表に表示される放送局	NHK教育静岡	東海テレビ	NHK総合大阪	NHK総合大阪
	静岡第一テレビ	NHK総合名古屋	京都テレビ	奈良テレビ
	静岡朝日テレビ	CBCテレビ	毎日放送	毎日放送
	テレビ静岡	中京テレビ	テレビ大阪	テレビ大阪
	NHK総合静岡	NHK教育名古屋	ABCテレビ	ABCテレビ
	SBSテレビ	三重テレビ	関西テレビ	関西テレビ
		メ～テレ	読売テレビ	サンテレビ
		テレビ愛知	NHK教育大阪	読売テレビ
			サンテレビ	NHK教育大阪
				京都テレビ

お住まいの地域	神戸、神戸灘、川西、三木、姫路、明石	大津、彦根	和歌山、海南・田辺	鳥取
番組表に表示される放送局	NHK総合大阪	NHK総合大阪	NHK総合大阪	日本海テレビ
	サンテレビ	毎日放送	テレビ和歌山	NHK総合鳥取
	毎日放送	ABCテレビ	毎日放送	NHK教育鳥取
	ABCテレビ	京都テレビ	ABCテレビ	山陰中央テレビ
	関西テレビ	関西テレビ	関西テレビ	山陰放送
	読売テレビ	読売テレビ	読売テレビ	
	テレビ大阪	びわ湖放送	NHK教育大阪	
	NHK教育大阪	NHK教育大阪		

お住まいの地域	松江、浜田	岡山、津山、笠岡	広島、福山、尾道、呉	山口、下関、宇部、岩国
番組表に表示される放送局	日本海テレビ	テレビ瀬戸内	テレビ新広島	NHK教育山口
	NHK総合松江	NHK教育岡山	NHK総合広島	山口朝日放送
	NHK教育松江	NHK総合岡山	中国放送	テレビ山口
	山陰中央テレビ	瀬戸内海放送	NHK教育広島	NHK総合山口
	山陰放送	OHKテレビ	広島ホーム	山口放送
		西日本放送	広島テレビ	
		山陽放送		

お住まいの地域	徳島	高松、丸亀	高知	松山、新居浜、今治、宇和島
番組表に表示される放送局	四国放送	テレビ瀬戸内	NHK総合高知	NHK教育松山
	NHK総合徳島	NHK教育高松	NHK教育高知	あいテレビ
	毎日放送	NHK総合高松	高知放送	NHK総合松山
	ABCテレビ	瀬戸内海放送	テレビ高知	愛媛放送
	関西テレビ	OHKテレビ	高知さんさん	愛媛朝日テレビ
	NHK教育徳島	西日本放送		南海放送
		山陽放送		

お住まいの地域	福岡、久留米、大牟田、北九州、行橋	佐賀1	佐賀2	熊本
番組表に表示される放送局	KBCテレビ	NHK教育佐賀	NHK教育佐賀	NHK教育熊本
	NHK総合福岡	KBCテレビ	KBCテレビ	熊本朝日放送
	RKB毎日放送	RKB毎日放送	TXN九州	KKTテレビ
	NHK教育福岡	TXN九州	サガテレビ	テレビ熊本
	テレビ西日本	サガテレビ	NHK総合佐賀	NHK総合熊本
	TXN九州	NHK総合佐賀	FBSテレビ	RKKテレビ
	FBSテレビ	FBSテレビ	RKKテレビ	

お住まいの地域	大分、中津	長崎、佐世保、諫早	鹿児島、阿久根、鹿屋	宮崎、延岡
番組表に表示される放送局	NHK総合大分	NHK教育長崎	南日本放送	テレビ宮崎
	大分放送	NHK総合長崎	NHK総合鹿児島	NHK総合宮崎
	テレビ大分	長崎放送	NHK教育鹿児島	宮崎放送
	大分朝日放送	長崎国際テレビ	鹿児島放送	NHK教育宮崎
	NHK教育大分	長崎文化放送	鹿児島テレビ	
		テレビ長崎	鹿児島読売	

お住まいの地域	沖縄			
番組表に表示される放送局	NHK総合沖縄			
	琉球朝日放送			
	沖縄テレビ			
	琉球放送			
	NHK教育沖縄			

アイコン一覧

本機はアイコン(各種の情報を簡単に表したマーク)によってさまざまな情報を表示します。主なアイコンとその内容は次の通りです。

お知らせ

- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。
- 「コピー 1」のアイコンが出ない番組でも、録画機器によってはダビングができない場合があります。

		内容		内容
番組情報関連	¥ 有料	有料の信号を含む番組 (ペイ・パー・ビュー番組)	D コピー1	1回のみデジタルコピーが可能な番組
	1125i 16:9	番組の映像信号情報 (上:信号方式、下:アスペクト比)	サラウンド	サラウンド音声の番組
	D コピー	デジタルコピーガードがかかっている番組	モノラル	モノラル音声の番組
	A コピー	アナログコピーガードがかかっている番組	主+副	二重音声信号がある番組
	20才~	視聴年齢制限がある番組(表示される年齢は4～20才まであります)	ステレオ	ステレオ音声の番組
	字幕	番組の中の字幕(日本語/英語)の情報が含まれている番組	D 出力	デジタル音声出力禁止の番組
放送メール関連		お客様がまだ読まれてない放送メール(未読メール)		お客様が既に読まれた放送メール(既読メール)
予約一覧関連	視聴	視聴予約している番組	i.LINK	i.LINK接続した機器で設定した録画予約(デジタル録画)
	調節済	録画予約の開始時刻や終了時刻が調節された予約	非連動	ビデオリモートコントローラーを使用しない録画予約をした場合
	IR	ビデオリモートコントローラーで録画予約を設定している番組	月-金 月-土 毎日 毎週	プログラム予約で「曜日指定」「毎日」「毎週」での予約
	リレー	「イベントリレー」を「する」に設定して予約した、イベントリレー対応の番組		

保証とアフターサービス

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期限

当社はカラーテレビの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」にお問い合わせください。(☞104ページ)

修理を依頼されるときは

86〜90ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店及び、ビクターサービスが修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	ビクター 地上・BS・110度CSデジタル ハイビジョンプロジェクションテレビ
型　名	HD-70MH700 / HD-61MH700 / HD-56MH700
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	(　　)　　―

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器設備費、一般管理費が含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検　●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！

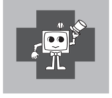
熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	
	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。

→

ご使用を中止	
	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

ちょっとした心づかいでテレビの安全



お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記の通り、お取り扱いいたします。

- ●お客様の個人情報は、お問合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- ●お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
- ●次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  - ①上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  - ②法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- ●お客様の個人情報に関するお問合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

サービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011) 898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166) 61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157) 25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154) 24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155) 24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138) 52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森 S.C.	(017) 723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178) 44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172) 28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019) 637-0121	盛岡市津志田西2-3-20
	水沢 S.S.	(0197) 22-2773	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018) 824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186) 43-0980	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182) 32-8873	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022) 287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.C.	(023) 642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234) 26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024) 952-6331	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246) 27-7991	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
関東・甲信越			
群馬	前橋 S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第二棟1F
栃木	宇都宮 S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸 S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 202-0263	千葉市中央区中央3-9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏 S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	練馬 S.C.	(03) 3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03) 3727-9385	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426) 46-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03) 5631-2235	墨田区八広5丁目11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048) 553-5105	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045) 651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	平塚 S.C.	(0463) 36-2160	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	横浜 T.C.	(046) 234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	甲府 S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	新潟 S.C.	(025) 242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258) 24-8391	長岡市下下条2-1366-1
長野	長野 S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21
東海			
静岡	静岡 S.C.	(054) 282-4141	静岡市駿河区中田本町62-31 中田ビル1階
	沼津 S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564) 25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058) 274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593) 52-0841	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059) 229-7780	津市大字藤方485-18

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北陸			
富山	富山 S.S.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776) 53-6916	福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773) 22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.S.	(0742) 35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072) 254-2881	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792) 34-3833	姫路市中地南町11-1
中国			
岡山	岡山 S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083) 973-3708	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834) 27-1331	周南市野上町2-35
島根	松江 S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	鳥取 S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松 S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088) 622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895) 20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄			
福岡佐賀	福岡 S.C.	(092) 431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942) 39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097) 543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982) 35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0705

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

主な仕様

システム

- **受信方式**　NTSC(VHF/UHF/CATV)
- **受信チャンネル**
  VHF 1～12、UHF 13～ 62、CATV C13～C38
  地上デジタル放送のチャンネルに対応　001～999
  BSデジタル放送のチャンネルに対応　001～999
  110度CSデジタル放送のチャンネルに対応　001～999
  • CATVパススルー(全帯域)に対応
- **画面寸法(幅X高さX対角)**
  HD-70MH700 155 cm x 87.2 cm x 177.8 cm
  HD-61MH700 135 cm x 76 cm x 155 cm
  HD-56MH700 124 cm x 69.8 cm x 142.3 cm
- **表示画素数**　水平:1920 垂直:1080
- **スピーカー**　10.0 cm丸型、2個
- **音声出力**　10 W + 10 W

入出力端子

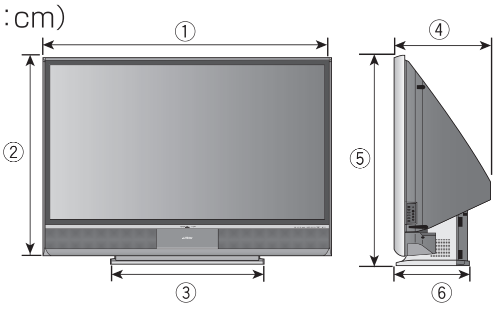
- **アンテナ端子**
  VHF/UHF:75Ω、F型
  UHF(地上デジタル):75 Ω、F型
  BS・110度CS:75Ω、F型
  (BS・110度CSコンバーター用電源DC15V 4W 重畳)
- **ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3、ビデオ4入力端子**
  S1映像(S映像) (ビデオ2を除く) :
  Y:1 V(p-p)、75 Ω、同期負
  C:0.286 V(p-p) (バースト信号)、75 Ω
  映像: 1 V(p-p)、75 Ω、同期負
  音声: 0.5 V(rms)、ハイインピーダンス
- **ビデオ2コンポーネント映像入力端子**
  (1125i)　Y :1 V(p-p)、75 Ω
  同期信号分±0.30 V(p-p)、3値同期
  Pb 、Pr:±0.35 V(p-p)、75 Ω±20%
  (750p/525p/525i)
  Y :1 V(p-p)、75 Ω、同期負
  Cb 、Cr:0.7 V(p-p)、75 Ω±20%
- **D4映像入力(ビデオ1)端子**　映像: D端子(D4)
- **PC入力(ビデオ3)端子**　映像: D-sub 15 pin
- **HDMI1、HDMI2入力端子**
  HDCP対応
  映像:　1125i/750p/525p/525i
  音声:　2CH PCM
- **モニター /録画出力端子**
  S1映像: Y 1 V(p-p)、75 Ω、同期負
  C:0.286 V(p-p) (バースト信号)、75 Ω
  映像: 1 V(p-p)、75 Ω、同期負
  音声: 0.5 V(rms)、ローインピーダンス
- **AVコンピュリンクⅢ端子**
  直径 3.5 mm、ミニジャック
- **センターチャンネル入力端子**
  音声: 0.5 V(rms)、ハイインピーダンス
- **オーディオ出力(固定)端子**
  音声: 0.5 V(rms)、ローインピーダンス
- **i.LINK入力端子(2系統)** 4ピン S400
- **光デジタル音声出力端子**
  -18 dBm、660 nm
  メニュー設定によりMPEG2 AACとPCMを切り換えて出力
- **電話回線端子**
  2Pモジュラージャック、モデム伝送レート 2400 bps
- **ビデオリモートコントローラー出力端子**　ミニジャック
- **ヘッドホン端子**　直径 3.5 mm、ステレオミニジャック
- **LAN端子**　(10 BASE-T/100 BASE-TX)

電源部・その他

- 使用電源　AC 100 V、50/60 Hz
- 消費電力
  HD-70MH700:
  221 W(待機時0.5 W)
  BS・110度CSデジタルチューナー部動作時(機能待機時)
  27 W(BS・110度CSコンバーター最大4 Wを除く)
  HD-61MH700:
  217 W(待機時0.5 W)
  BS・110度CSデジタルチューナー部動作時(機能待機時)
  26 W(BS・110度CSコンバーター最大4 Wを除く)
  HD-56MH700:
  217 W(待機時0.5 W)
  BS・110度CSデジタルチューナー部動作時(機能待機時)
  26 W(BS・110度CSコンバーター最大4 Wを除く)
- **質量(重さ)**
  HD-70MH700 : 72 kg　**HD-61MH700** : 47 kg
  HD-56MH700 : 43 kg
- **付属品**　4ページ参照

外形寸法

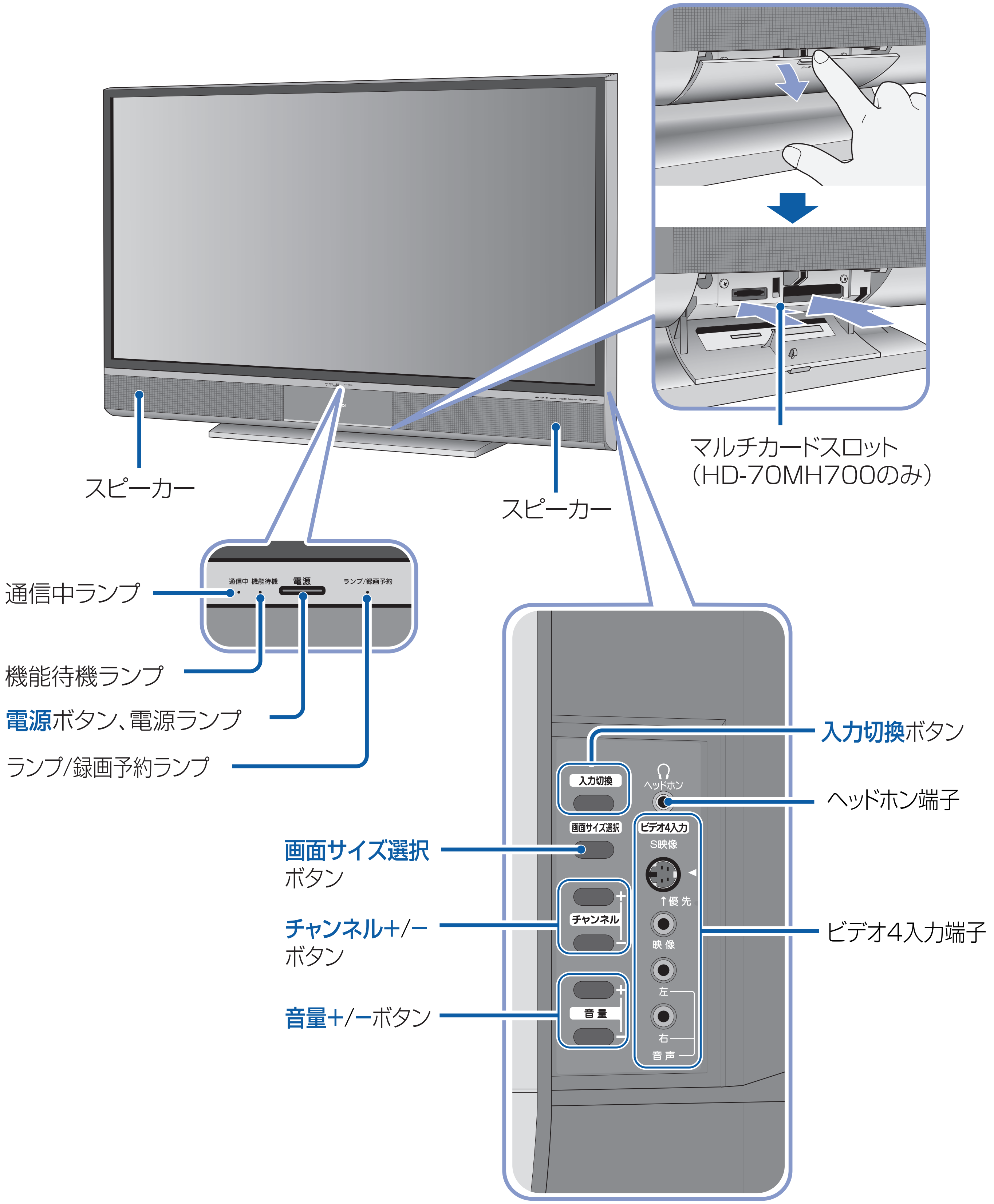
HD-70MH700:
①162.6 ②111.9 ③88 ④51.9 ⑤116.8 ⑥39.5
HD-61MH700:
①145.6 ②100.4 ③88 ④46.7 ⑤104.3 ⑥39.5
HD-56MH700:
①131.8 ②91.8 ③88 ④43.4 ⑤96.7 ⑥39.5
(単位:cm)



※ このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用できません。
This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
※ 仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。
※ テレビのV型(70V型、61V型、56V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした目安です。
※ 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。
※ 電源を切っていても番組表データが取得できるまでは、機能待機時と同様の消費電力となります。
※ 本機は「JIS C61000-3-2適合品」です。

各部のなまえ

本体


スピーカー
スピーカー
マルチカードスロット
（HD-70MH700のみ）
通信中ランプ
機能待機ランプ
電源ボタン、電源ランプ
ランプ/録画予約ランプ
通信中
機能待機
電源
ランプ/録画予約
入力切換ボタン
ヘッドホン端子
画面サイズ選択
ボタン
チャンネル+/−
ボタン
音量+/−ボタン
ビデオ4入力端子
入力切換
ヘッドホン
画面サイズ選択
ビデオ4入力
S映像
↑優先
チャンネル
映像
左
右
音声
音量

リモコン

送信部

HDMIボタン（☞34ページ）

ゆっくりボタン（☞30ページ）

はっきりボタン（☞30ページ）

地上アナログ/**地上デジタル**/**BS**/**CS1**/**CS2**ボタン（☞28ページ）

チャンネル数字(**1**〜**12**)ボタン

番号入力ボタン（☞32ページ）

チャンネル+/**−**ボタン

Tナビボタン

番組表ボタン（☞36ページ）

番組内容ボタン（☞31ページ）

▲▼◀▶ボタン、**決定**ボタン

メニューボタン

機器操作ボタン

連動データボタン（☞35ページ）

−12H/**+12H**、**青**/**赤**/**緑**/**黄**ボタン

サウンド効果ボタン（☞53ページ）

画面サイズボタン（☞54ページ）

音声切換ボタン（☞53ページ）

信号切換ボタン（☞52ページ）

電源ボタン（☞28ページ）

入力切換ボタン（☞34ページ）

画面表示ボタン（☞31、34ページ）

音量+/**−**ボタン（☞29ページ）

消音ボタン（☞29ページ）

ホームメニューボタン（☞31、40、60ページ）

サービス切換ボタン（☞35ページ）

選局ガイドボタン（☞33ページ）

戻るボタン

オンエアボタン

字幕ボタン（☞52ページ）

ネット操作ボタン（☞取扱説明書 Tナビ編）

文字クリアボタン

文字切換ボタン

映像選択ボタン（☞52ページ）

2画面ボタン（☞55ページ）

オフタイマーボタン（☞29ページ）

αサウンドボタン（☞53ページ）

著作権とご注意

■ 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

■ あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■ 本機から電話回線を使用して通信を行う場合、フリーダイヤル(通話料金無料)でないかぎり、電話料金はお客様の負担になります。

■ 本機は電波産業界(ARIB)規格に基づいた仕様になっております。将来規格の変更があった際は、本機の仕様を変更する場合があります。

■ この製品に使用されているソフトウェアに関する情報については、メニューボタンを押して、「初期設定」→「デジタル放送共通設定」→「自動ダウンロードの設定」画面を表示中に黄色(情報表示)ボタンを押すと本機のソフトウエアに関する情報が表示されます。

■ 有料番組のなかには、その製作者によって「視聴すること」のみ許可されている場合があります。これらのプログラムは著作権保護されており、いかなる目的といえども、著作権者の文書により命じされた許可がない限り、コピーまたは再生できません。

■ i.LINKは、IEEE(Institute of Electrical and ElectronicsEngineers)1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴはソニー株式会社の商標です。

■ xD-ピクチャーカードは冨士写真フィルム(株)の商標です。

■ “メモリースティック”“メモリースティック PRO”及び MEMORY STICK ™ は、ソニー株式会社の商標です。

MEMORY STICK ™

- Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc.の日本国内における登録商標です。
- Gガイドは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
- 米 Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

DTLAの説明

著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。

このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像/音声/データを、i.LINKを使ってデジタルコピーできない場合があります。

また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、i.LINKでデジタルの映像/音声/データのやりとりができない場合があります。

■ 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

MPEG2 AACに関する使用特許番号の表示

本機において、MPEG2 AACに関する下記番号の特許(出願中も含む)を使用しています。

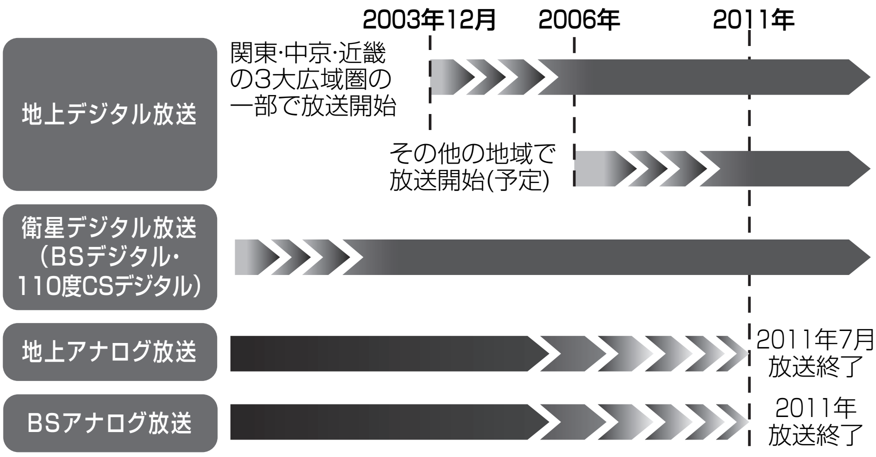
特許番号(出願番号)

5,848,391　5,291,557　5,451,954　5,400,433　5,222,189　5,357,594　5,752,225　5,394,473
5,583,962　5,274,740　5,633,981　5,297,236　4,914,701　5,235,671　07/640,550　5,579,430
98/03037　97/02875　97/02874　98/03036　5,227,788　5,285,498　5,481,614　5,592,584
5,781,888　08/039,478　08/211,547　5,703,999　08/557,046　08/894,844　5,299,238　5,299,239
5,299,240　5,197,087　5,490,170　5,264,846　5,268,685　5,375,189　5,581,654　5,548,574
08/506,729　08/576,495　5,717,821　08/392,756

デジタル放送への移行スケジュール

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。



用語解説

エーエーシー
AAC
MPEG2の新しい音声方式。
衛星デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド・オーディオ・コーディング」の略で、音声のビットレートを原音の約1/12まで圧縮。CD並みの音質でモノラルから5.1chなどのマルチチャンネルまで聴くことができます。

ビーキャス
B-CASカード
視聴者の色々な情報を管理しているカード。

ビーエス
BSデジタル放送
2000年12月から開始された、すべてデジタル方式のBS放送。

ディー
D4映像端子
コンポーネント映像を1本のコードで接続できる端子。数字は扱える信号を意味しています。本機（D4）ではハイビジョン(1125i)・プログレッシブ(750p、525p)・従来の信号(525i)が扱えます。対応信号は下記の通りです。

	映像信号フォーマット			
対応する映像出力	1125i	750p	525p	525i
D4	○	○	○	○
D3	○	－	○	○
D2	－	－	○	○
D1	－	－	－	○

DCF
デジタルカメラ用画像フォーマット。フォルダ構造やメモリへの記録様式などを定義し、異機種間での互換性を保証しています。DCFに対応したデジタルカメラ同士なら、メーカーや機種が異なっていても画像を交換でき、記録メディアを対応プリンタに接続するだけでパソコンを介さずに印刷することができます。また、DCF形式の画像ファイルには撮影機種や撮影日、サムネイルなどの情報も格納されています。

D-ILA
高輝度と高精細化の両立が図れることで次世代のプロジェクターデバイスとして注目されている反射型液晶デバイス‘LCOS’(Liquid Crystal on Silicon)の代表的なモデルです。

エイチディーエムアイ
HDMI
1本のケーブルで、デジタル信号(映像・音声)と制御信号を同時に伝送する次世代デジタルオーディオ/ビデオインターフェイス規格です。

アイリンク
i.LINK
i.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータの双方向通信を行ったり、接続した機器を操作したりできるシリアル転送方式のインターフェース。

アイアール
Irシステム
本機からの録画予約を実行するためのシステム。録画開始の時刻になると、設定されたリモコン信号を、ビデオリモートコントローラーから録画機器へ送ります。

ピーシーエム
PCM
アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の一つ。「パルス・コード・モジュレーション：パルス符号変調」の略で、手軽にデジタル音声が楽しめます。

エス
S1映像信号
S映像信号にフルモード（縦長の映像）を自動判別するための識別信号を重畳させた信号。画面サイズが16:9のテレビでは識別信号を検出して自動的に画面サイズを「フル」に切り換えます。

エス
S映像信号
映像信号を輝度信号と色信号に分離した信号。鮮明で色にじみの少ない映像が楽しめます。

110度CSデジタルチューナー
現行のハイビジョンテレビやBSまたはCS受信機で110度CSデジタル放送を見るときに接続する機器。
本機は110度CSデジタルチューナーを内蔵しています。

110度CSデジタル放送
CSデジタル放送の中でも特に、東経110度に打ち上げられた新衛星からの放送。2002年3月より放送開始されました。

525i/525p/1125i/750p/1125p
デジタル放送の各種映像信号の走査線数と走査方式を表した呼称。本機は525i/525p/1125i/750pの4方式に対応しています。(数字は走査線数、「i」は「インターレース」、「p」は「プログレッシブ」を表します。)

アイコン
各種の情報を簡単な図などで、シンボルとして表示。

暗証番号
視聴年齢制限のかかった番組を視聴するときや、ペイ・パー・ビュー番組を購入する際などに使用する番号。最初の設定を行う際に、登録します。

インターレース
従来の映像方式。半分の走査線を交互に表示することによって映像を再現します。

衛星デジタルチューナー
現行のハイビジョンテレビや衛星放送受信機で衛星デジタル放送を見るときに接続する機器。
本機は衛星(BS・110度CS)デジタルチューナーを内蔵しています。

共聴(共同受信)
集合住宅で、一カ所のアンテナで受信した電波を各家庭に配るしくみ。

ゴースト
地上アナログ放送で映像が2重3重に映る現象。放送局からの電波が地上波アンテナに届く前に、建物や地形に反射することで主電波より遅れて届くために起こる現象です。

コピーガード
著作権保護のため、録画ができないようにするための機能。

コンポーネント映像端子
映像信号を輝度信号(Y)と色差信号(Cb/Pb、Cr/Pr)の3つのコンポーネント(構成要素)に分離して伝送する接続方法。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード(コンポーネントコード)を用います。
通常の映像端子に比べ、色のキレがよく、ちらつきのない画質が得られます。

サンプリングレートコンバーター
本機は、3つのサンプリング周波数(32kHz、44.1kHz、48kHz)を使用しています。しかし、MDレコーダーには44.1kHzのサンプリング周波数でしか録音できません。そこで、32kHzや、48kHzのサンプリング周波数のデジタル音声を録音するためにはそれらのサンプリング周波数を44.1kHzに変換する必要があります。その変換機能をサンプリングレートコンバーターといいます。

視聴年齢制限
大人向けの番組などで、視聴できる年齢を制限する機能。

信号切換
複数の映像・音声・データを切り換える機能。

用語解説（つづき）

ダウンロード
衛星から送られてきたダウンロードデータをチューナーに取り込む(ダウンロードする)ことにより、チューナー自体のソフトウェア(制御プログラム)を書き替える機能です。このダウンロード機能によりチューナー自体の機能向上や性能改善が行われます。

地上デジタルチューナー
地上デジタル放送を見るときに接続する機器。
本機は地上デジタルチューナーを内蔵しています。

地上デジタル放送
2003年12月から関東・中京・近畿の三大都市圏で新たに開始された全てデジタル方式の地上波放送。

デジタルテレビ放送
デジタル放送の１つ。標準画質放送と、デジタルハイビジョン放送がある。マルチチャンネル放送、連動型データ放送といった特長があります。

デジタルデータ放送
デジタル放送の１つ。独立データ放送と(番組)連動データ放送があります。

デジタルラジオ放送
主に衛星デジタル放送で行なわれているデジタル放送の１つ。音声だけではなく、データ放送形式で映像や、付加情報などがある番組も放送されています。

内線発信番号
外に電話をかけるときに、相手の電話番号の前につける番号。

番組表(電子番組ガイド / EPG(イー・ピー・ジー))
地上波放送と衛星デジタル放送のデータとして送られてくる番組の情報を、見やすくまとめて表示する機能。番組を探したり、予約したりできます。

ビデオリモートコントローラー
録画予約時に、Irシステムによるリモコン信号を録画機器に送り、操作する機器。リモコンの送信部に相当します。

プログレッシブ(750p、525p)
一度にすべての走査線で表示（インターレースではその半分）しているため、従来より高精細な映像方式。

物理チャンネル
地上デジタル放送はUHFの電波を使って行なわれています。この電波は放送局ごとに割り当てられています(13〜62ch)。このチャンネルを物理チャンネルといいます。

ブロードバンドルーター
複数の機器を同時にインターネットに接続するための機器。

ペイ・パー・デイ(PPD)
１日単位で料金を払うシステム。

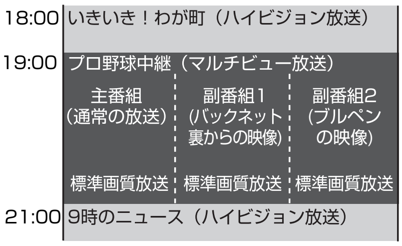
ペイ・パー・ビュー（PPV）
見た分だけ料金を支払うシステム。

放送メール
放送局から送られる個人あての手紙。
本機からのメッセージもメールとして扱われる場合があります。

ボード
放送局から送られる受信者あてのお知らせ。

マルチチャンネル放送
デジタル放送の特長の１つ。情報を圧縮することによって、1チャンネルで最大3チャンネルの放送が可能です（標準画質放送時）。これらの映像を切り換えて楽しめます。

マルチビュー放送の例



視聴予約
予約の1つ。予約した時間になると、その番組に切り換わります。

録画予約
予約の1つ。予約した時間になると、録画が始まります。

索引

アルファベット／数字

AACデコーダー .... 73、82
ADSL 18
B-CASカード .... 19、61、70、71、109
CATV選局方式 24
DCC 63
DVDプレーヤー .... 72、79、84
DVDレコーダー .... 42、48、72、73、74、80
D-VHSビデオデッキ .... 45、49、72、73、76、78、80
D4映像入力端子 .... 72、74、76
Gガイド受信確認 69
Gガイド地域一覧表 101
HDDレコーダー .... 73、76、78
HDMI .... 34、55、67、72、73、74、80、81、109
i.LINK .... 34、44、48、67、70、73、76、77、78、84、87、109
i.LINK自動切換 67
i.LINK待機 .... 70、77
Irシステム .... 74、75、109
MDレコーダー 83
MPEG NR 63
SDカード 56
VGA .... 67、81、85
VHF/UHFアンテナ 16
2CHリニアPCM .... 70、83
2画面 .... 55、73、87
12ボタン方式 .... 25、87、88

ア行

アイコン……102、109
暗証番号……70、109
アンプ……72、73、82、84
アンテナ設定……69
アンテナ電源……22、69
アンテナの接続……16
アンテナレベル……22、27、69
イベントリレー……51、102
色温度……63
インテリジェントガンマ……63
インフォメーション……60、61
衛星アンテナ……17、22、69
映像(画質)選択……52、63
映像調節……62、63
枝番号……32
オートピクチャー……63
お知らせ音……70
オフタイマー……29
音声調節……64、65
音声入力(HDMI兼用)端子……72、80

カ行

簡単設定ウィザード……69
外部映像入力設定……67
画面サイズ選択……54
画面表示……25、31、34
画面メッセージ……91
機器操作……78、87
キーワード検索……40、41
クィック録画……36、42、48
ゲーム機……79
県域設定……22、70
購入履歴……61
個人情報消去……71
コンポーネント映像入力端子……72、73、79

サ行

サウンド効果……53、65
サービス切換……35
シアタープロ……63
視聴年齢制限……70、109
自動ダウンロード設定……70
字幕……52、54、102
人名検索……40、41
視聴予約……36、37、38、39、47、48、102、110
ジャンル検索……40、41
省エネ設定……64、65
消音……29、82
信号切換……52、110
数字入力方式……25、87、88
スピーカー……62、83
接続録画機器の設定……70、75
設定項目リセット……70、71
選局ガイド……33、69

タ行

ダウンロード……70
地域設定……20、27、69
地域チャンネル合わせ……24、25
地域チャンネル表……95
地上アナログチャンネル設定……20、24
地上デジタルアンテナ……17
地上デジタルチャンネル設定……23、27
地上デジタルチャンネル表……98
チャンネルスキャン……21、27
チャンネル設定……27、69
データ放送……35、69、88、110
デジタル音声出力……73、82、83
デジタル音声予約録画連動……70、83
テレビ消し忘れ防止設定……65
電話会社設定……71
電話回線……18、22、70
電話設定……18、70、71
電話テスト……22、71
独立データ放送……35
トピックス……60、61
トーン検出……71

ナ行

ナチュラルシネマ……67
入力切換……34、67
入力スキップ設定……67

ハ行

はっきりトーク……30
発信者番号通知……71
パソコン……72、85
番組追従……51
番組内容……31
番組表……36
ビデオカメラ……79
ビデオデッキ……72、74、76
ビデオ入力接続設定……67、81
ビデオリモートコントローラー……4、42、72、74、75
ビデオ1入力のモニター出力……67
プログラム予約……46
ペイ・パー・ビュー……36、61
放送局コード(GCN)一覧表……100
放送局名……21、25
放送メール……61
ボード……61
ホームメニュー……31、40、60

マ行

マイラインプラス……71
マルチビュー放送……52
メール……61
無信号電源オートオフ……65
文字スーパー……70

ヤ行

郵便番号……23、70
有料番組……36、61
ゆっくりトーク……30
予約一覧……49
予約変更……49
予約取り消し……48
予約方式……38、43、45、47
予約の優先順位……48

ラ行

リモコン信号……75
連動データ放送……35
録画機器……42、44、74、76
録画モード……42、44
録画予約……42、44、46、48、74、75、76、77

製品についてのご相談や修理のご依頼は
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記のご相談窓口にご相談ください。
ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、103ページをご覧ください。

修理に関するご相談	お買い物情報や全般的なご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社 **104ページをご覧ください。**	**お客様ご相談センター** フリーダイヤル **0120−2828−17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は **電話 (045) 450−8950** **FAX (045) 450−2275** 〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV&マルチメディアカンパニー
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

© 2005 Victor Company of Japan, Limited

0905HHH-MW-VP